

速報値版（2026年3月11日修正）

第4次朝霞市生涯学習計画 策定のための基礎調査

調査結果報告書

令和8年3月
朝霞市

◇目次◇

第1章 調査実施概要.....	1
(1) 調査の目的.....	1
(2) 実施概要.....	1
(3) 回収結果.....	2
(4) 報告書をみるにあたっての注意点.....	2
第2章 調査結果概要.....	3
第3章 一般調査の結果.....	4
(1) 回答者自身について.....	4
(2) 生涯学習活動の状況について.....	8
(3) 今後の生涯学習活動に関する意向について.....	31
(4) 「地域や社会における教育」について.....	38
(5) 企業・事業所との関係について.....	40
(6) 子どもの教育について.....	42
(7) 朝霞市の施設について.....	44
(8) 「人とのつながりに関する活動」について.....	45
(9) 市への要望などについて.....	49
第4章 生涯学習団体調査の結果.....	54
(1) 日ごろの活動について.....	54
(2) 今後の活動について.....	60
第5章 事業所調査の結果.....	64
(1) 事業所について.....	64
(2) 事業所における生涯学習活動の状況等について.....	66
(3) 従業員と生涯学習活動について.....	68
(4) 朝霞市との連携について.....	70
第6章 小中学生調査の結果.....	72
(1) 回答者自身について.....	72
(2) ふだんの過ごし方や生涯学習活動に関する状況について.....	74
第7章 施設利用者調査の結果.....	85
(1) 回答者自身について.....	85
(2) 生涯学習活動の状況等について.....	87

第1章 調査実施概要

(1) 調査の目的

本調査は、令和8年度に「第4次朝霞市生涯学習計画」を策定するにあたっての基礎資料として、市民や団体等の生涯学習ニーズを把握するために実施しました。

(2) 実施概要

一般	
調査地域	朝霞市
調査期間	令和7年12月5日～令和8年1月16日
調査方法	郵送配付/朝霞市電子申請・届出サービスによる回答
調査対象者	朝霞市在住の17歳及び満20歳以上の市民 1,100名

生涯学習団体	
調査地域	朝霞市
調査期間	令和7年12月12日～令和7年12月26日
調査方法	公民館配付/朝霞市電子申請・届出サービスによる回答
調査対象者	朝霞市内で生涯学習活動を行う団体 75団体

事業所	
調査地域	朝霞市
調査期間	令和8年1月5日～令和8年1月29日
調査方法	郵送配付/朝霞市電子申請・届出サービスによる回答
調査対象者	朝霞市商工会加盟事業所 75社

小中学生	
調査地域	朝霞市内の小・中学校
調査期間	令和7年12月10日～令和8年1月23日
調査方法	学校配付/朝霞市電子申請・届出サービスによる回答
調査対象者	朝霞市在住の小学5年生及び中学2年生 900名

施設利用者	
調査地域	朝霞市内の公共施設
調査期間	令和7年12月11日～令和7年12月23日
調査方法	市職員によるヒアリング
調査対象者	公共施設への来訪者 43名
調査対象施設	7施設

(3) 回収結果

調査対象者	配布数	有効回収数	有効回収率
一般	1,100件	296件	26.9%
生涯学習団体	75件	70件	93.3%
事業所	75件	25件	33.3%
小中学生	900件	702件	78.0%
施設利用者	43件	43件	100.0%

(4) 報告書をみるにあたっての注意点

- ◇図表中の「n」とは、その設問の回答者数を表しています。
- ◇調査結果の比率は、その設問の回答者数を基数として、小数点第2位を四捨五入して小数点第1位までを示しています。そのため、合計値が100.0%にならない場合があります。
- ◇複数回答の設問の場合、回答比率の合計値が100.0%を超える場合があります。
- ◇図表中「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていないものです。
- ◇選択肢の語句が長い場合、本文及びグラフ中では省略した表現を用いている場合があります。
- ◇「不明・無回答」を除き、**1番目**と**2番目**に回答が多かったものには網掛けをしています。
- ◇クロス集計の結果の記載にあたり、分析軸となる項目において、回答者数が少ない選択肢（10件未満）や、「不明・無回答」は省略しています。そのため、分析軸となる項目の回答者数の合計は、全体の数と一致しない場合があります。
- ◇本文中、調査結果を比較するために「前回調査」や「国調査」と表記している箇所があります。これらの調査概要は次の通りです。

調査	内容
前回調査	朝霞市「第3次朝霞市生涯学習計画策定のための基礎調査」（平成27年11月～12月実施）
前々回調査	朝霞市「第2次朝霞市生涯学習計画後期基本計画策定のための市民意識調査」（平成22年10月～11月実施）
国調査	内閣府「生涯学習に関する世論調査」（令和4年7月調査）
県調査	埼玉県教育委員会「第217回簡易アンケート 生涯学習活動について」（令和4年12月実施）

分析中

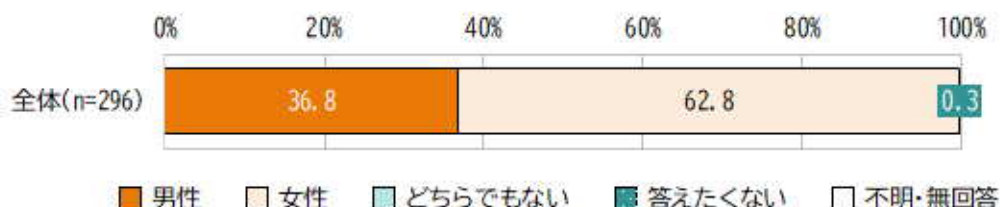
第3章 一般調査の結果

(1) 回答者自身について

問1 あなたの性別をお答えください。

(単数回答)

性別についてみると、「男性」が36.8%、「女性」が62.8%、「答えたくない」が0.3%となっています。

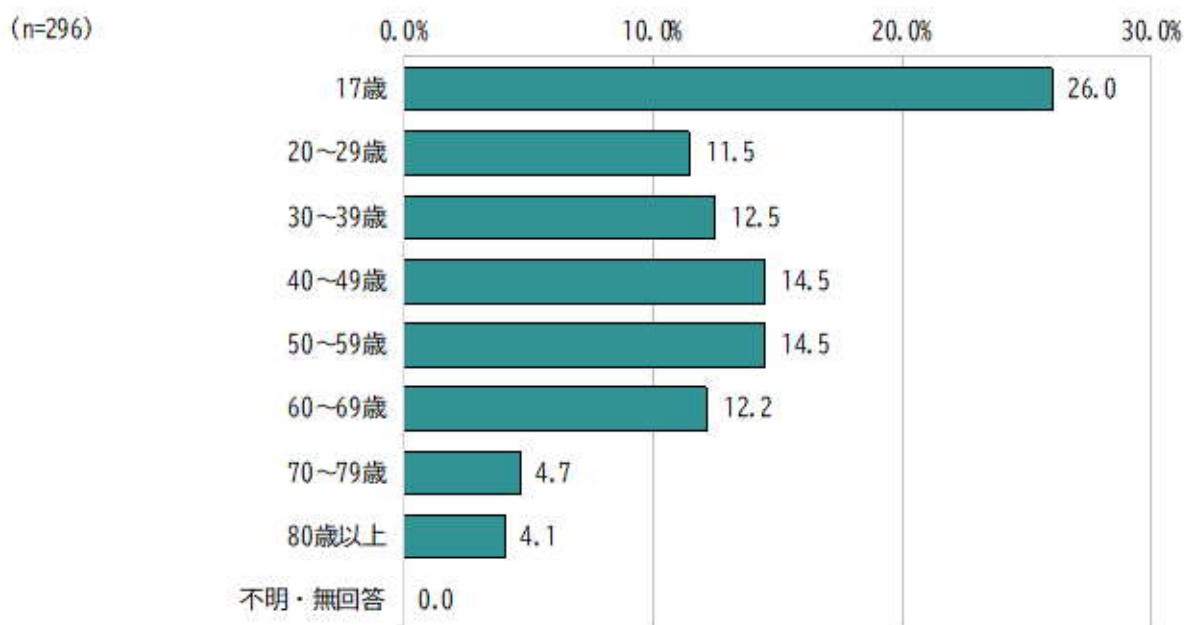


※「どちらでもない」と「不明・無回答」は0.0%

問2 あなたの年齢をお答えください。

(単数回答)

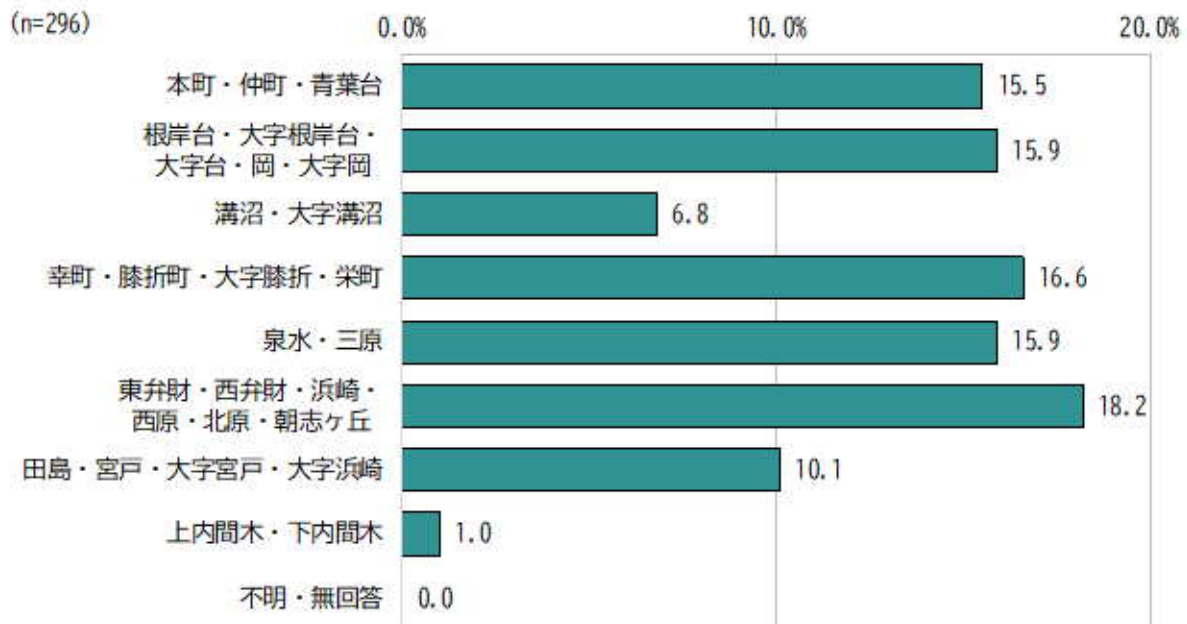
年齢についてみると、「17歳」が26.0%と最も多く、次いで「40～49歳」が14.5%、「50～59歳」が14.5%となっています。



問3 あなたのお住まいの地区をお答えください。

(単数回答)

住んでいる地区についてみると、「東弁財・西弁財・浜崎・西原・北原・朝志ヶ丘」が18.2%と最も多く、次いで「幸町・膝折町・大字膝折・栄町」が16.6%、「根岸台・大字根岸台・大字台・岡・大字岡」「泉水・三原」が15.9%となっています。



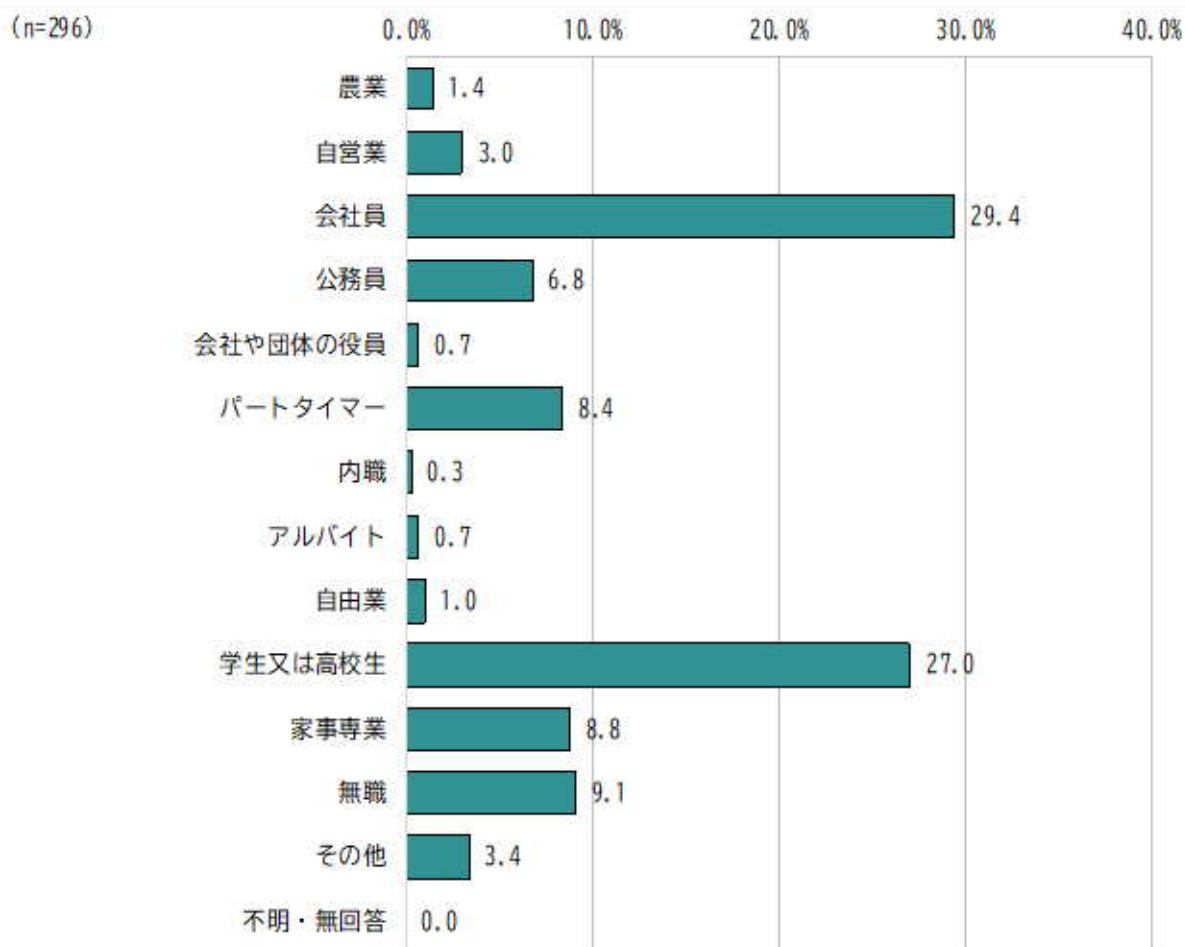
年齢別にみると、〈17歳〉では、「幸町・膝折町・大字膝折・栄町」、〈20～29歳〉では、「本町・仲町・青葉台」「根岸台・大字根岸台・大字台・岡・大字岡」「溝沼・大字溝沼」「泉水・三原」、〈30～39歳〉では、「泉水・三原」、〈40～49歳〉では、「本町・仲町・青葉台」「根岸台・大字根岸台・大字台・岡・大字岡」、〈50～59歳〉〈60～69歳〉では、「東弁財・西弁財・浜崎・西原・北原・朝志ヶ丘」、〈70～79歳〉では、「本町・仲町・青葉台」、〈80歳以上〉では、「東弁財・西弁財・浜崎・西原・北原・朝志ヶ丘」「田島・宮戸・大字宮戸・大字浜崎」が最も多くなっています。

単位：%	本町・仲町・青葉台	根岸台・大字根岸台・大字台・岡・大字岡	溝沼・大字溝沼	幸町・膝折町・大字膝折・栄町	泉水・三原	朝志ヶ丘・西原・北原・東弁財・西弁財	田島・宮戸・大字宮戸・大字浜崎	上内間木・下内間木	不明・無回答	
	全体(n=296)	15.5	15.9	6.8	16.6	15.9	18.2	10.1	1.0	0.0
年齢別	17歳 (n=77)	13.0	19.5	3.9	23.4	14.3	14.3	9.1	2.6	0.0
	20～29歳 (n=34)	17.6	17.6	17.6	8.8	17.6	14.7	5.9	0.0	0.0
	30～39歳 (n=37)	16.2	16.2	5.4	13.5	18.9	13.5	16.2	0.0	0.0
	40～49歳 (n=43)	18.6	18.6	9.3	14.0	16.3	14.0	9.3	0.0	0.0
	50～59歳 (n=43)	11.6	20.9	4.7	16.3	11.6	23.3	9.3	2.3	0.0
	60～69歳 (n=36)	16.7	0.0	5.6	16.7	16.7	36.1	8.3	0.0	0.0
	70～79歳 (n=14)	35.7	7.1	7.1	14.3	21.4	7.1	7.1	0.0	0.0
	80歳以上 (n=12)	0.0	16.7	0.0	16.7	16.7	25.0	25.0	0.0	0.0

問4 あなたの現在の職業などは、次のどれにあてはまりますか。

(単数回答)

職業などについてみると、「会社員」が29.4%と最も多く、次いで「学生又は高校生」が27.0%、「無職」が9.1%となっています。



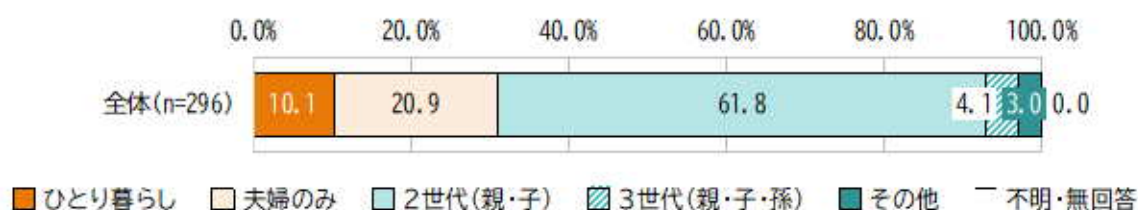
年齢別にみると、〈17歳〉では、「学生又は高校生」、〈20～29歳〉〈30～39歳〉〈40～49歳〉〈50～59歳〉〈60～69歳〉では、「会社員」、〈70～79歳〉〈80歳以上〉では、「無職」が最も多くなっています。また、〈50～59歳〉では、「自営業」、〈70～79歳〉では、「家事専業」が、それぞれ他の年齢に比べて多くなっています。

単位：%	農業	自営業	会社員	公務員	会社 の社 役員 員団	イバ マー ト タ	内職	トアル バイ	自由業	高学 校生 又は
全体(n=296)	1.4	3.0	29.4	6.8	0.7	8.4	0.3	0.7	1.0	27.0
年齢別	17歳 (n=77)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	98.7
	20～29歳 (n=34)	0.0	0.0	38.2	17.6	2.9	0.0	0.0	2.9	11.8
	30～39歳 (n=37)	0.0	0.0	67.6	10.8	0.0	8.1	0.0	0.0	0.0
	40～49歳 (n=43)	0.0	0.0	51.2	11.6	0.0	16.3	0.0	0.0	2.3
	50～59歳 (n=43)	0.0	16.3	41.9	7.0	2.3	18.6	0.0	0.0	0.0
	60～69歳 (n=36)	2.8	5.6	25.0	5.6	0.0	19.4	2.8	2.8	5.6
	70～79歳 (n=14)	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	80歳以上 (n=12)	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

単位：%	家事 専業	無職	その他	回不 答明 ・無
全体(n=296)	8.8	9.1	3.4	0.0
年齢別	17歳 (n=77)	0.0	1.3	0.0
	20～29歳 (n=34)	5.9	11.8	8.8
	30～39歳 (n=37)	10.8	0.0	2.7
	40～49歳 (n=43)	16.3	0.0	2.3
	50～59歳 (n=43)	9.3	2.3	2.3
	60～69歳 (n=36)	11.1	11.1	8.3
	70～79歳 (n=14)	28.6	64.3	0.0
	80歳以上 (n=12)	8.3	66.7	8.3

問5 あなたの現在の世帯の家族構成をお答えください。 (単数回答)

世帯の家族構成についてみると、「2世代(親・子)」が61.8%と最も多く、次いで「夫婦のみ」が20.9%、「ひとり暮らし」が10.1%となっています。



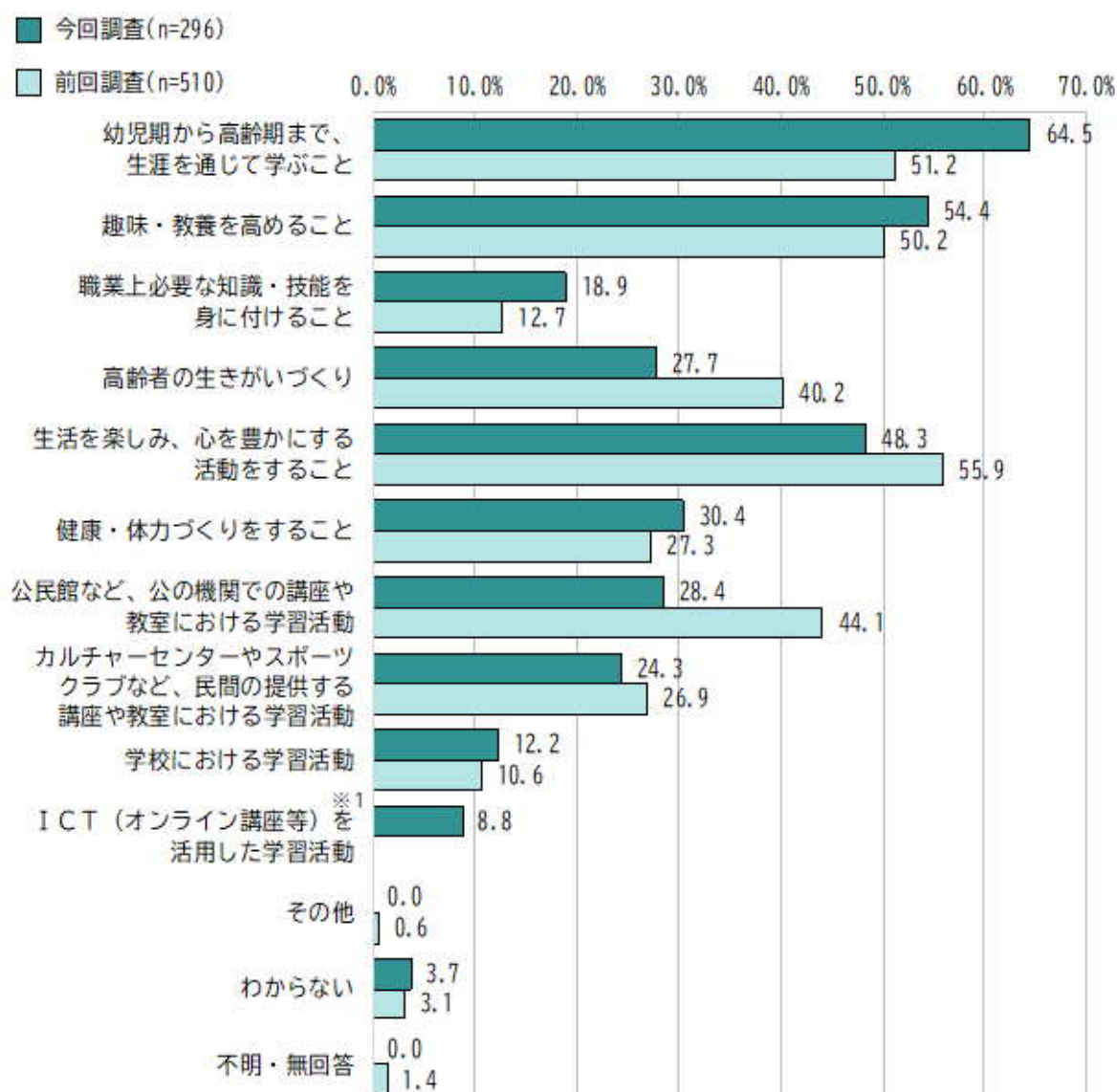
(2) 生涯学習活動の状況について

問6 生涯学習という言葉から、どのようなイメージを持ちますか。

(複数回答)

生涯学習という言葉のイメージについてみると、「幼児期から高齢期まで、生涯を通じて学ぶこと」が64.5%と最も多く、次いで「趣味・教養を高めること」が54.4%、「生活を楽しみ、心を豊かにする活動をする事」が48.3%となっています。

前回調査と比べると、「幼児期から高齢期まで、生涯を通じて学ぶこと」が13.3ポイント増加しており、「高齢者の生きがいづくり」「公民館など、公の機関での講座や教室における学習活動」が減少しています。



※1：今回調査の新規設問

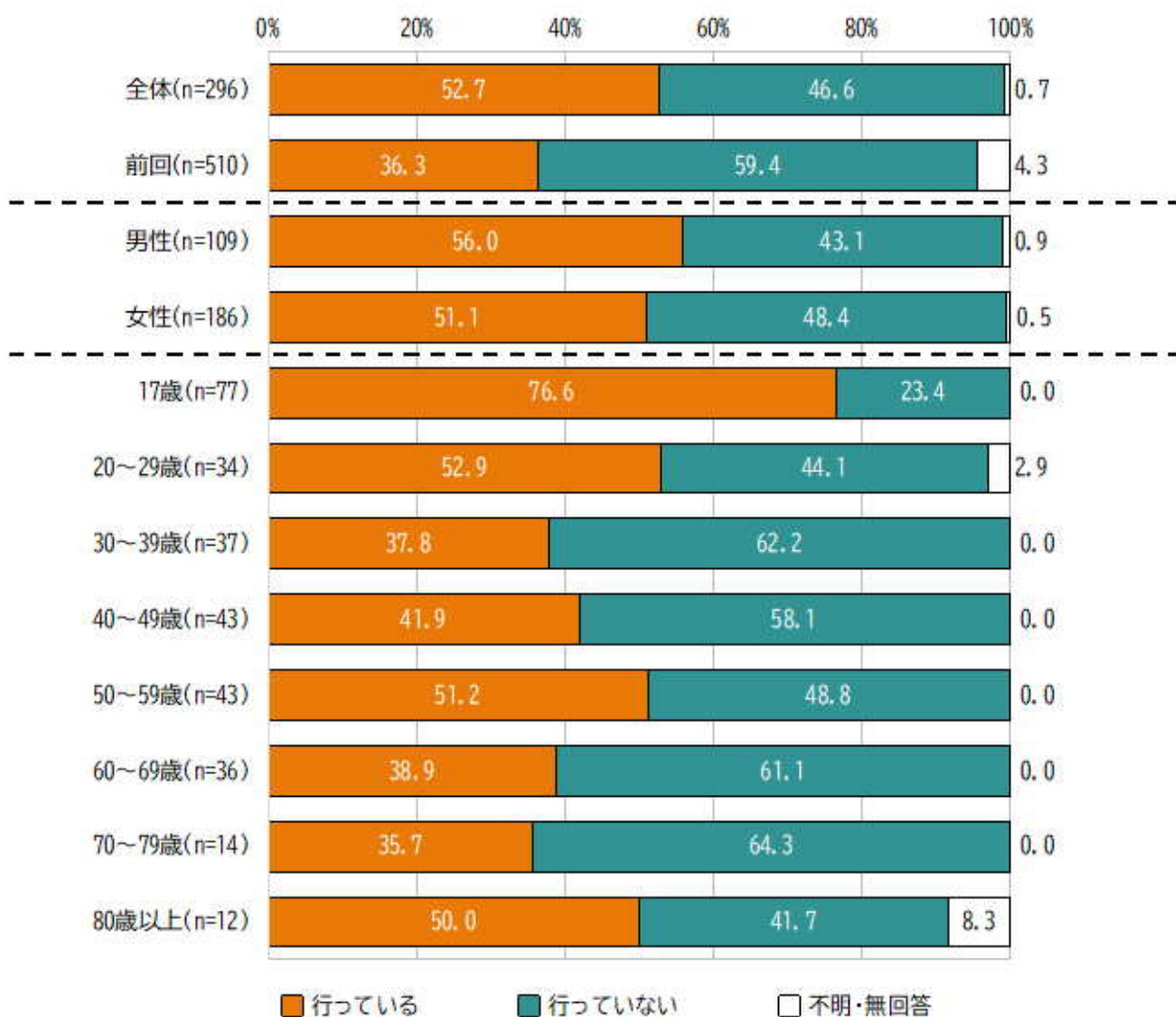
問7 この1年くらいの間に、「生涯学習活動」を行いましたか。学生の場合、学校での授業は除きますが、学校の部活動やサークル活動は含まれます。(単数回答)

この1年間に「生涯学習活動」を行っているかについて見ると、「行っている」が52.7%、「行っていない」が46.6%となっています。

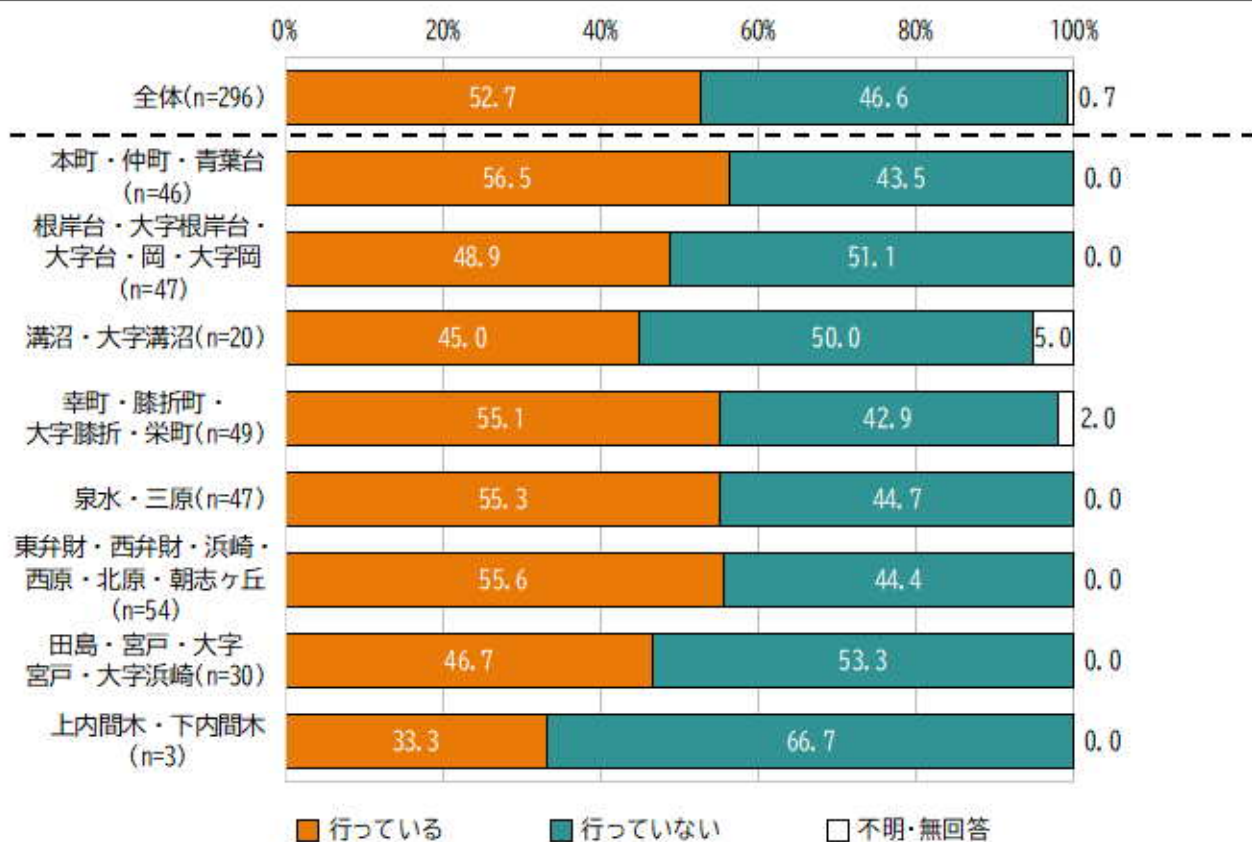
前回調査と比べると、「行っている」が16.4ポイント増加しています。

性別にみると、大きな差はみられません。

年齢別にみると、〈17歳〉〈20～29歳〉〈50～59歳〉〈80歳以上〉では、「行っている」、〈30～39歳〉〈40～49歳〉〈60～69歳〉〈70～79歳〉では、「行っていない」が最も多くなっています。



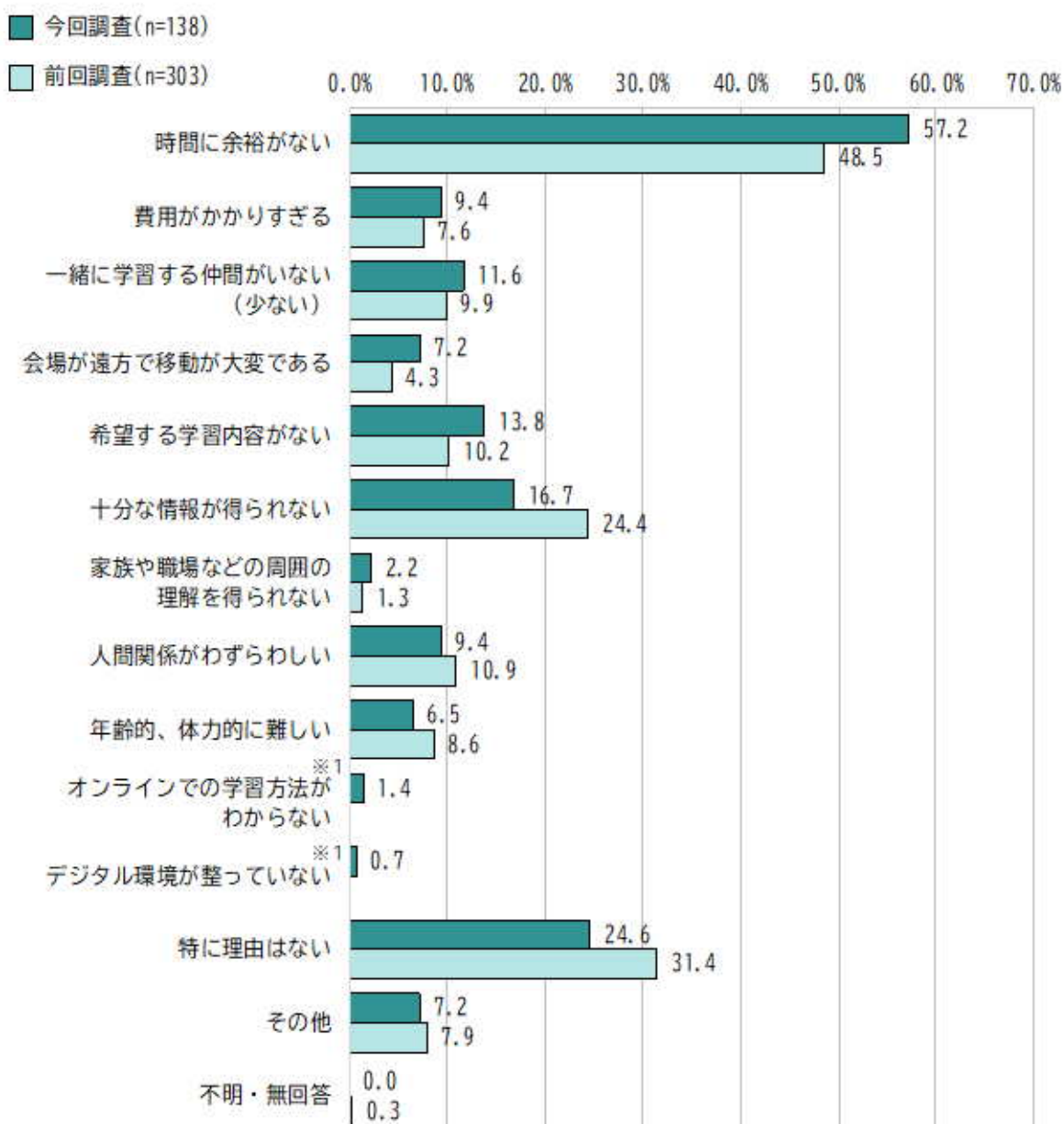
地区別にみると、〈本町・仲町・青葉台〉〈幸町・膝折町・大字膝折・栄町〉〈泉水・三原〉〈東弁財・西弁財・浜崎・西原・北原・朝志ヶ丘〉では、「行っている」、〈根岸台・大字根岸台・大字台・岡・大字岡〉〈溝沼・大字溝沼〉〈田島・宮戸・大字宮戸・大字浜崎〉〈上内間木・下内間木〉では、「行っていない」が最も多くなっています。



問7で「行っていない」と回答した方におたずねします。

問8 生涯学習活動を行っていない理由は何ですか。 (複数回答)

生涯学習活動を行っていない理由についてみると、「時間に余裕がない」が57.2%と最も多く、次いで「特に理由はない」が24.6%、「十分な情報が得られない」が16.7%となっています。



※1：今回調査の新規設問

性別にみると、「時間に余裕がない」では、18.6ポイント女性が男性を上回っています。また、「特に理由はない」では、10.8ポイント男性が女性を上回っています。

年齢別にみると、〈17歳〉では、「特に理由はない」、〈20～29歳〉〈30～39歳〉〈40～49歳〉〈50～59歳〉〈60～69歳〉では、「時間に余裕がない」、〈70～79歳〉では、「会場が遠方で移動が大変である」、〈80歳以上〉では、「年齢的・体力的に難しい」が最も多くなっています。また、〈60～69歳〉では、「十分な情報が得られない」が他の年齢に比べて多くなっています。

単位：%		余時間が ない	費用が すぎる	仲間が 少ない (学習する に)	会場が遠 方で移動 が大変	学習内容 がない	十分な情 報が	得られ ない	家族や職 場の理 解など	周囲の	人間関係 が	年齢的・ 体力的 に	難しい	学習方法 が	オンライン での	デジタル 環境が
全体(n=138)		57.2	9.4	11.6	7.2	13.8	16.7	2.2	9.4	6.5	1.4	0.7				
性別	男性(n=47)	44.7	10.6	8.5	6.4	14.9	12.8	4.3	12.8	10.6	2.1	0.0				
	女性(n=90)	63.3	8.9	13.3	7.8	13.3	18.9	1.1	7.8	4.4	1.1	1.1				
年齢別	17歳(n=18)	27.8	5.6	11.1	0.0	5.6	11.1	0.0	11.1	11.1	0.0	0.0				
	20～29歳(n=15)	53.3	20.0	20.0	0.0	6.7	0.0	6.7	13.3	0.0	0.0	0.0				
	30～39歳(n=23)	69.6	8.7	8.7	8.7	17.4	21.7	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0				
	40～49歳(n=25)	88.0	4.0	16.0	8.0	8.0	20.0	0.0	8.0	0.0	0.0	4.0				
	50～59歳(n=21)	57.1	19.0	14.3	9.5	23.8	9.5	0.0	14.3	4.8	0.0	0.0				
	60～69歳(n=22)	72.7	9.1	9.1	0.0	18.2	40.9	4.5	9.1	4.5	4.5	0.0				
	70～79歳(n=9)	0.0	0.0	0.0	33.3	22.2	0.0	0.0	11.1	22.2	11.1	0.0				
	80歳以上(n=5)	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0	60.0	0.0	0.0				

単位：%		特に理由 はない	その他	不明・ 無回答
全体(n=138)		24.6	7.2	0.0
性別	男性(n=47)	31.9	6.4	0.0
	女性(n=90)	21.1	7.8	0.0
年齢別	17歳(n=18)	72.2	0.0	0.0
	20～29歳(n=15)	26.7	13.3	0.0
	30～39歳(n=23)	17.4	4.3	0.0
	40～49歳(n=25)	4.0	4.0	0.0
	50～59歳(n=21)	19.0	9.5	0.0
	60～69歳(n=22)	18.2	9.1	0.0
	70～79歳(n=9)	22.2	11.1	0.0
	80歳以上(n=5)	40.0	20.0	0.0

【参考】国調査と県調査との比較※

国調査では、「特に必要がない」が45.5%と最も多く、次いで「きっかけがつかめない」が29.1%、「仕事が忙しくて時間がない」が27.5%、県調査では、「仕事が忙しくて時間がない」が35.6%と最も多く、次いで「家事・育児・介護などが忙しくて時間がない」が22.7%、「きっかけがつかめない」が20.3%となっています。

国調査・県調査と市調査を比べると、いずれの調査においても時間的な制約が上位となっています。また、「希望する学習内容がない」「十分な情報が得られない」では、市調査が国調査を上回っています。

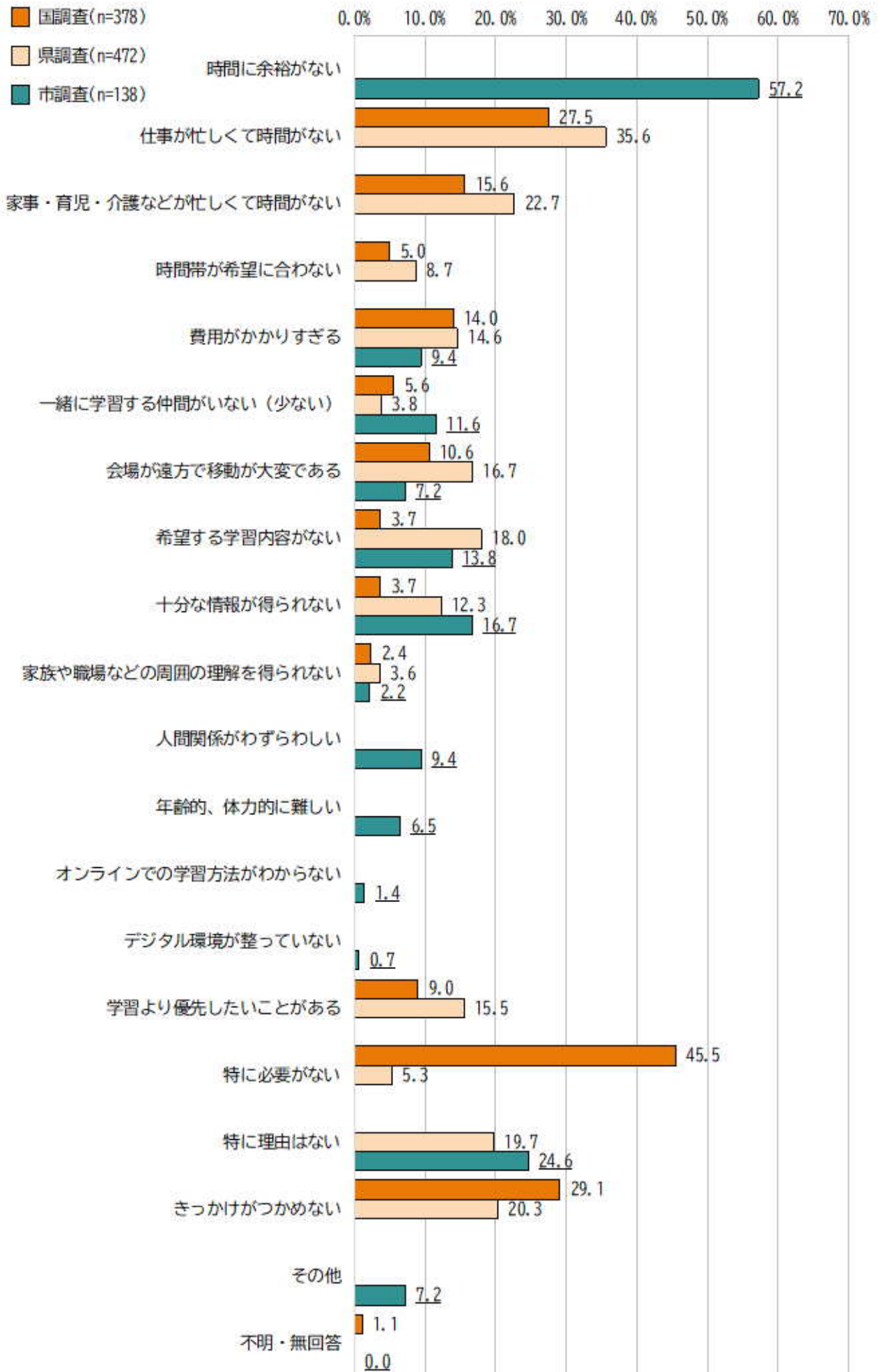
グラフは次ページに掲載しています。

※国調査・県調査で、市調査と類似の選択肢を同じ選択肢として比較しています。
国調査・県調査の選択肢は下記のとおりです。

【参考】国・県の設定・選択肢

(国)	学習していない理由は何ですか。	(複数回答)
選択肢	<ul style="list-style-type: none"> ・特に必要がない ・きっかけがつかめない ・仕事が忙しくて時間がない ・家事・育児・介護などが忙しくて時間がない ・学習するための費用がかかる ・身近なところに学習する場がない ・学習より優先したいことがある ・一緒に学習する仲間がいない ・時間帯が希望に合わない ・学習したい内容の講座が開設されていない ・学習するのに必要な情報が入手できない ・学習しても職場などから評価されない 	

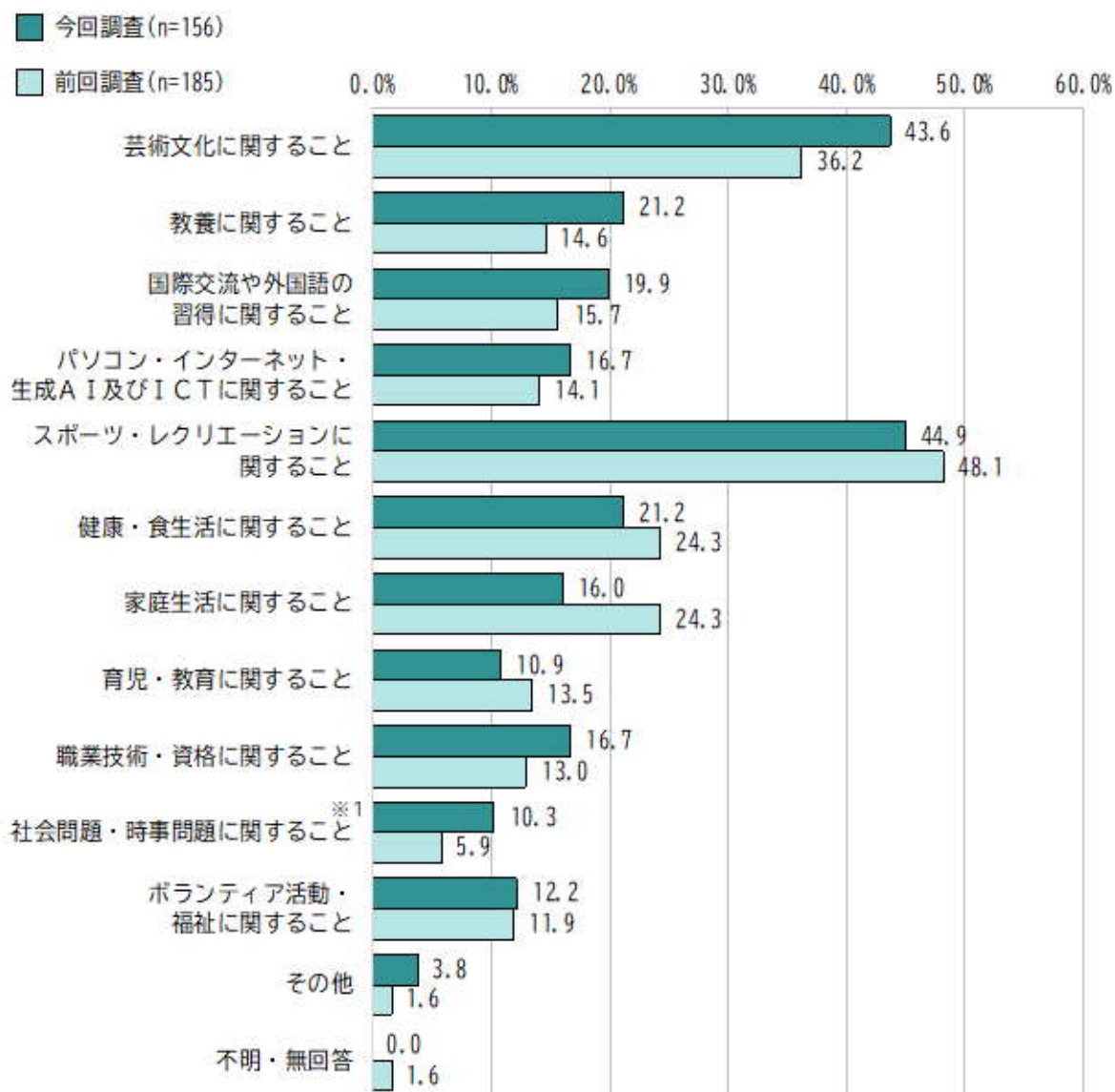
(県)	あなたがこの1年くらいの間に生涯学習活動をしなかった理由は何ですか。	(複数回答)
選択肢	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事が忙しくて時間がない ・家事・育児・介護などが忙しくて時間がない ・きっかけがつかめない ・学習したい内容が見つからない ・身近なところに学習する場・環境がない ・他に優先したいことがある ・学習するための費用がかかる ・学習するのに必要な情報（内容・場所・時間・費用など）が入手できない ・時間帯が希望に合わない ・生涯学習活動をする必要がない ・一緒に学習する仲間がいない ・学習しても職場などから評価されない ・その他 ・理由は特になし 	



問9～問16は、問7で「行っている」と回答した方におたずねします。

問9 この1年くらいの間に、どのような生涯学習をしたことがありますか。 (複数回答)

1年間にどのような生涯学習をしたかについてみると、「スポーツ・レクリエーションに関する事」が44.9%と最も多く、次いで「芸術文化に関する事(音楽・美術・華道・園芸・舞踊・書道・短歌・囲碁・将棋など)」が43.6%、「教養に関する事(文学・歴史・郷土史・文化財など)」が21.2%となっています。



※1：前回調査は「地域の社会問題・時事問題に関する事」

年齢別にみると、〈17歳〉〈50～59歳〉〈60～69歳〉では、「芸術文化に関すること（音楽・美術・華道・園芸・舞踊・書道・短歌・囲碁・将棋など）」、〈20～29歳〉では、「スポーツ・レクリエーションに関すること」「職業技術・資格に関すること」、〈30～39歳〉では、「パソコン・インターネット・生成AI及びICTに関すること」「スポーツ・レクリエーションに関すること」「健康・食生活に関すること」、〈40～49歳〉〈70～79歳〉では、「スポーツ・レクリエーションに関すること」、〈80歳以上〉では、「健康・食生活に関すること」が最も多くなっています。また、〈70～79歳〉では、「ボランティア活動・福祉に関すること」が他の年齢に比べて多くなっています。

単位：%		芸術文化に関すること	教養に関すること	国際交流や外国語の習得に関すること	ICTに関すること及び生成AI	パソコン・インターネット・レクリエーションに関すること	健康・食生活に関すること	家庭生活に関すること	育児・教育に関すること	職業技術・資格に関すること	社会問題・時事問題に関すること	ボランティア活動・福祉に関すること	
全体(n=156)		43.6	21.2	19.9	16.7	44.9	21.2	16.0	10.9	16.7	10.3	12.2	
年齢別	17歳 (n=59)	52.5	18.6	22.0	18.6	44.1	11.9	16.9	8.5	13.6	13.6	13.6	
	20～29歳 (n=18)	27.8	33.3	11.1	22.2	38.9	33.3	22.2	5.6	38.9	16.7	5.6	
	30～39歳 (n=14)	28.6	35.7	28.6	42.9	42.9	42.9	28.6	21.4	21.4	7.1	7.1	
	40～49歳 (n=18)	33.3	11.1	27.8	0.0	50.0	22.2	11.1	11.1	27.8	0.0	5.6	
	50～59歳 (n=22)	59.1	4.5	9.1	9.1	50.0	9.1	9.1	18.2	9.1	9.1	22.7	
	60～69歳 (n=14)	42.9	28.6	28.6	7.1	35.7	28.6	14.3	14.3	7.1	7.1	0.0	
	70～79歳 (n=5)	0.0	20.0	0.0	20.0	80.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0	
	80歳以上 (n=6)	50.0	50.0	16.7	16.7	33.3	66.7	16.7	0.0	0.0	16.7	16.7	
単位：%		その他	不明・無回答										
全体(n=156)		3.8	0.0										
年齢別	17歳 (n=59)	3.4	0.0										
	20～29歳 (n=18)	11.1	0.0										
	30～39歳 (n=14)	7.1	0.0										
	40～49歳 (n=18)	0.0	0.0										
	50～59歳 (n=22)	4.5	0.0										
	60～69歳 (n=14)	0.0	0.0										
	70～79歳 (n=5)	0.0	0.0										
	80歳以上 (n=6)	0.0	0.0										

【参考】国調査と県調査との比較※

国調査では、「職業技術・資格に関すること」が40.1%と最も多く、次いで「健康やスポーツに関すること」が31.3%、「家庭生活に関すること」が23.1%、県調査では、「趣味に関するもの」が37.5%と最も多く、次いで「健康やスポーツに関すること」が32.7%、「教養に関すること」が32.6%となっています。また、活動を行わなかった割合は、国調査で24.3%、県調査で24.0%となっています。

国調査・県調査と市調査を比べると、「芸術文化に関すること」では、国調査・県調査を上回っていますが、「教養に関すること」では県調査を、「職業技術・資格に関すること」では国調査を下回っています。

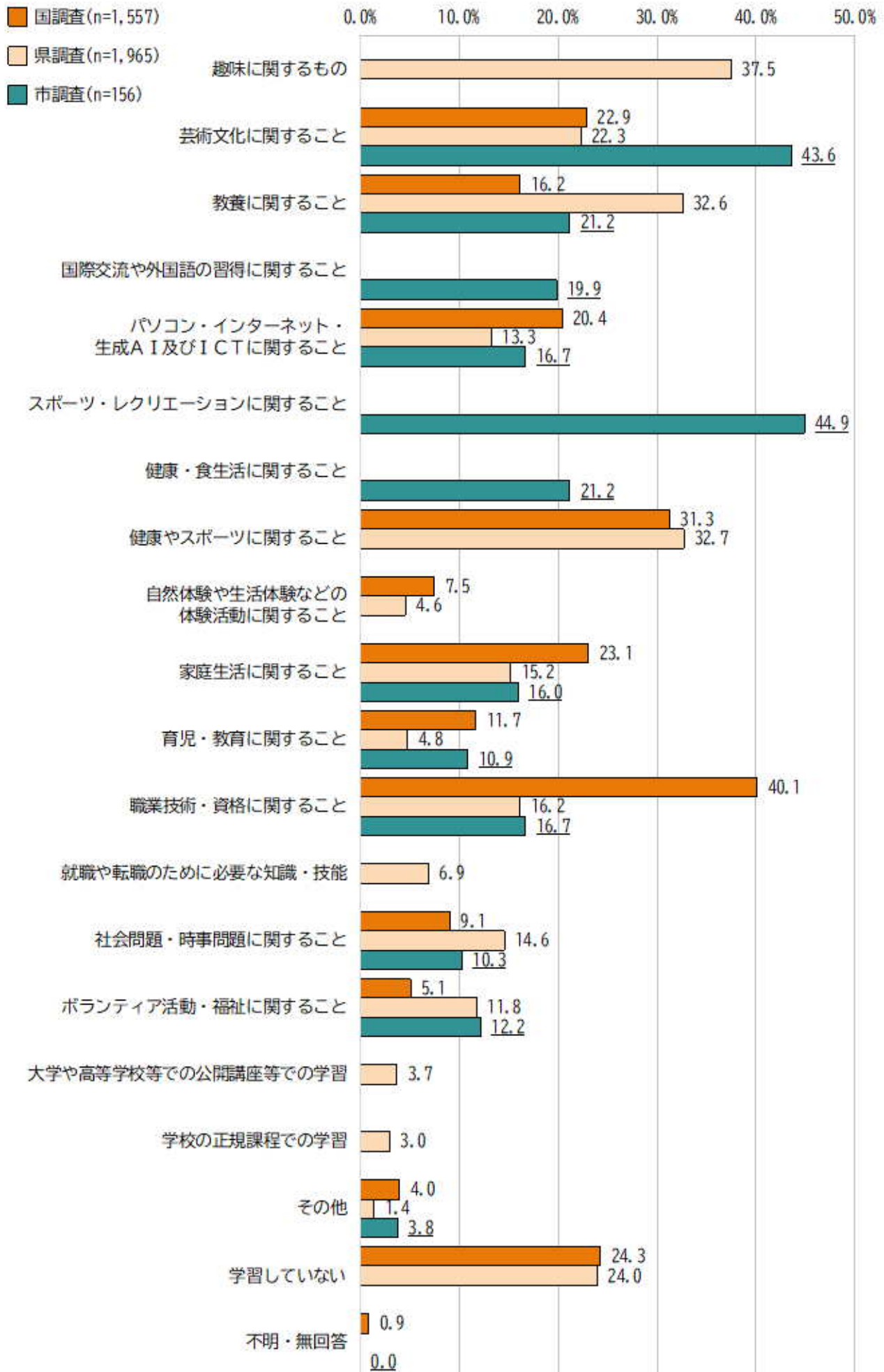
グラフは次ページに掲載しています。

※国調査・県調査で、市調査と類似の選択肢を同じ選択肢として比較しています。
国調査・県調査の選択肢は下記のとおりです。

【参考】国・県の設問・選択肢

(国)	あなたは、この1年くらいの間に、月に1日以上どのようなことを学習しましたか。(複数回答)
選択肢	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事に必要な知識・技能や資格に関すること ・健康やスポーツに関すること ・料理や裁縫などの家庭生活に関すること ・音楽や美術、レク活動などの趣味に関すること ・インターネットの知識・技能に関すること ・文学や歴史、語学などの教養に関すること ・育児や教育に関すること ・人口減少や地球温暖化などの社会問題に関すること ・自然体験や生活体験などの体験活動に関すること ・ボランティア活動に必要な知識・技能に関すること ・その他 ・学習していない

(県)	あなたは、この1年くらいの間にどのような生涯学習活動をしましたか。(複数回答)
選択肢	<ul style="list-style-type: none"> ・趣味に関するもの(映画鑑賞、音楽鑑賞、スポーツ観戦、読書など) ・スポーツ・健康に関するもの(各種スポーツ、ジョギング、水泳、ダンス、健康法、医学、栄養など) ・教養的なもの(文学、歴史、科学、語学など) ・芸術・文化に関するもの(音楽、美術、華道、茶道、書道など) ・職業において必要な知識・技能(仕事に関係のある知識の習得や資格の取得など) ・家庭生活に関するもの(料理、洋裁、和裁、編み物、園芸など) ・社会問題に関するもの(社会・時事、国際、環境など) ・パソコン・インターネットに関するもの(パソコン教室、パソコン関連教室など) ・ボランティアに関するもの(ボランティア活動、ボランティア活動に向けた学習など) ・就職や転職のために必要な知識・技能(就職や転職に関係のある知識の習得や資格の取得など) ・育児・教育に関するもの(家庭教育、幼児教育、教育問題など) ・自然体験や生活体験に関するもの(キャンプ、野外炊飯などの体験活動) ・大学や高等学校等での公開講座等での学習 ・学校の正規課程での学習(高等・専修・各種学校、大学、大学院での講義・調査・研究など) ・生涯学習活動(上記のような活動)をしなかった ・その他

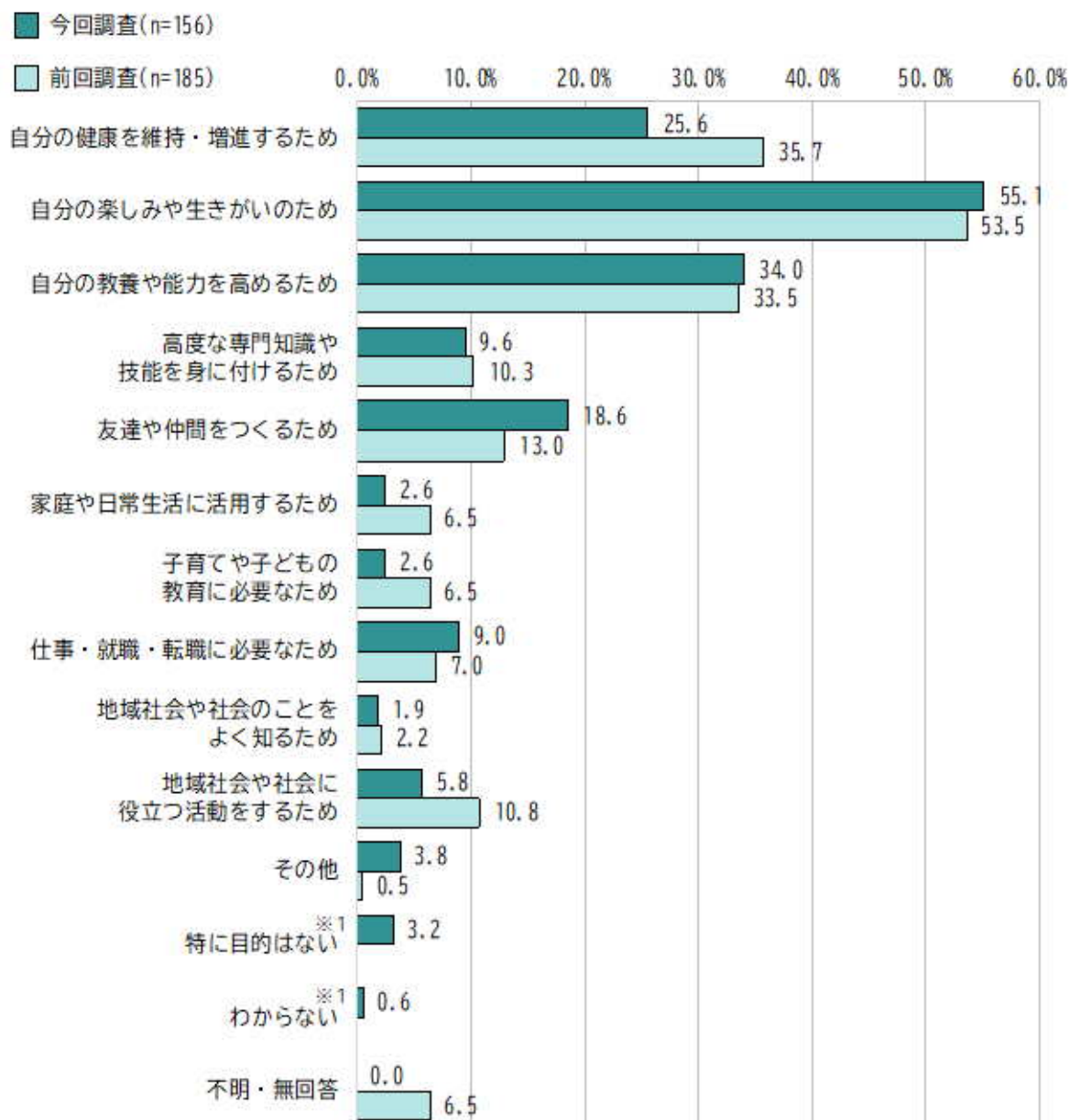


問 10 生涯学習をはじめた目的は何ですか。

(複数回答)

生涯学習をはじめた目的についてみると、「自分の楽しみや生きがいのため」が55.1%と最も多く、次いで「自分の教養や能力を高めるため」が34.0%、「自分の健康を維持・増進するため」が25.6%となっています。

前回調査と比べると、「自分の健康を維持・増進するため」が10.1ポイント減少しています。



※1：今回調査の新規設問

性別にみると、「自分の健康を維持・増進するため」では、14.5ポイント男性が女性を上回っています。また、「自分の楽しみや生きがいのため」では、12.5ポイント女性が男性を上回っています。

年齢別にみると、〈17歳〉〈40～49歳〉〈50～59歳〉〈60～69歳〉〈80歳以上〉では、「自分の楽しみや生きがいのため」、〈20～29歳〉〈30～39歳〉では、「自分の教養や能力を高めるため」、〈70～79歳〉では、「自分の健康を維持・増進するため」が最も多くなっています。また、〈20～29歳〉では、「自分の楽しみや生きがいのため」が他の年齢に比べて少なくなっています。

単位：%		自分の健康を維持・増進するため	自分の楽しみや生きがいのため	自分の教養や能力を高めるため	高度な専門知識や技能を身に付けるため	友達や仲間をつくるため	家庭や日常生活に活用するため	子育てや必要などのため	仕事・就職・転職に必要なため	社会のことに知るため	地域社会や活動をするため	その他
全体(n=156)		25.6	55.1	34.0	9.6	18.6	2.6	2.6	9.0	1.9	5.8	3.8
性別	男性(n=61)	34.4	47.5	32.8	11.5	21.3	1.6	1.6	8.2	1.6	8.2	0.0
	女性(n=95)	20.0	60.0	34.7	8.4	16.8	3.2	3.2	9.5	2.1	4.2	6.3
年齢別	17歳(n=59)	11.9	52.5	25.4	5.1	28.8	1.7	0.0	10.2	3.4	6.8	6.8
	20～29歳(n=18)	22.2	27.8	44.4	27.8	11.1	5.6	0.0	16.7	5.6	11.1	5.6
	30～39歳(n=14)	28.6	42.9	57.1	21.4	7.1	7.1	7.1	14.3	0.0	0.0	0.0
	40～49歳(n=18)	38.9	72.2	27.8	11.1	16.7	5.6	11.1	11.1	0.0	0.0	0.0
	50～59歳(n=22)	40.9	59.1	40.9	9.1	13.6	0.0	4.5	4.5	0.0	4.5	0.0
	60～69歳(n=14)	14.3	78.6	35.7	0.0	21.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1
	70～79歳(n=5)	80.0	60.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0
	80歳以上(n=6)	50.0	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0

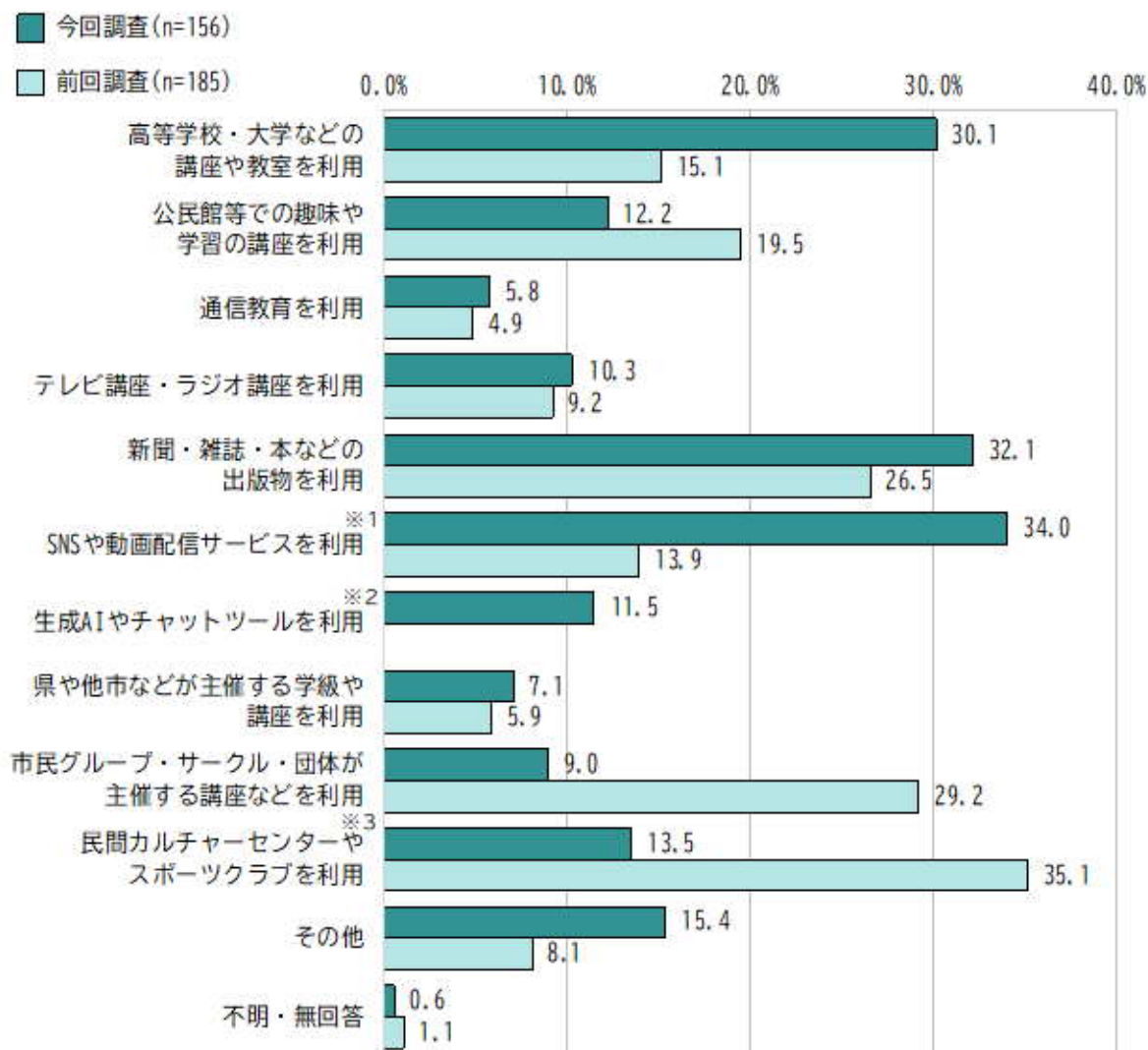
単位：%		特に目的はない	わからない	不明・無回答
全体(n=156)		3.2	0.6	0.0
性別	男性(n=61)	3.3	1.6	0.0
	女性(n=95)	3.2	0.0	0.0
年齢別	17歳(n=59)	8.5	1.7	0.0
	20～29歳(n=18)	0.0	0.0	0.0
	30～39歳(n=14)	0.0	0.0	0.0
	40～49歳(n=18)	0.0	0.0	0.0
	50～59歳(n=22)	0.0	0.0	0.0
	60～69歳(n=14)	0.0	0.0	0.0
	70～79歳(n=5)	0.0	0.0	0.0
	80歳以上(n=6)	0.0	0.0	0.0

問 11 どのような手段・方法で学習していますか。

(複数回答)

学習の手段・方法についてみると、「SNSや動画配信サービスを利用 (YouTube 講座など)」が 34.0%と最も多く、次いで「新聞・雑誌・本などの出版物を利用」が 32.1%、「高等学校・大学などの講座や教室を利用」が 30.1%となっています。

前回調査と比べると、「高等学校・大学などの講座や教室を利用」「SNSや動画配信サービスを利用 (YouTube 講座など)」が増加しており、「市民グループ・サークル・団体が主催する講座などを利用」「民間カルチャーセンターやスポーツクラブを利用 (個人指導を含む)」が減少しています。



※1：前回調査は「インターネットを利用」

※2：前回調査はなし

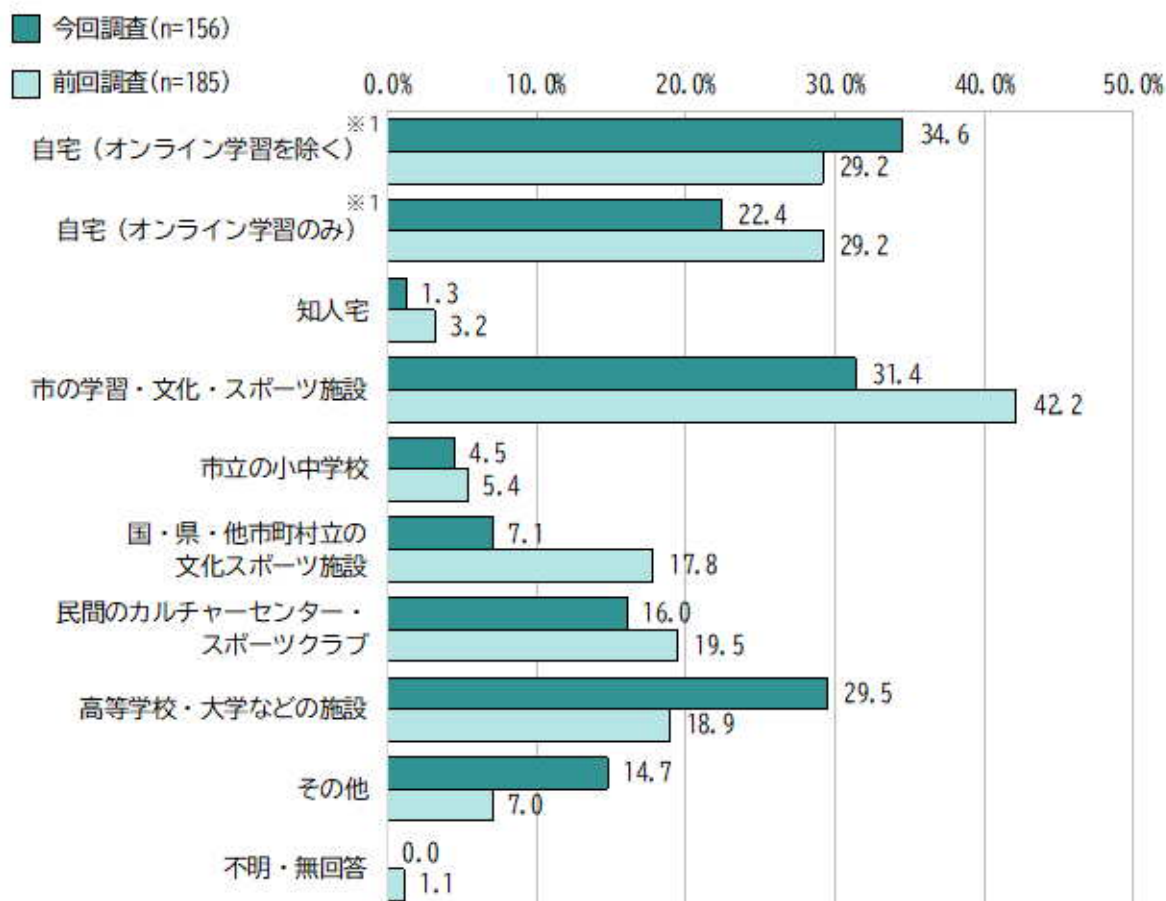
※3：前回調査は「民間カルチャーセンター・スポーツクラブを利用」「個人による指導を利用」の合算

問 12 生涯学習でよく利用している場所はどこですか。

(複数回答)

生涯学習でよく利用している場所についてみると、「自宅（オンライン学習を除く）」が34.6%と最も多く、次いで「市の学習・文化・スポーツ施設（公民館・博物館・図書館・総合体育館）」が31.4%、「高等学校・大学などの施設」が29.5%となっています。

前回調査と比べると、「高等学校・大学などの施設」が10.6ポイント増加しており、「市の学習・文化・スポーツ施設（公民館・博物館・図書館・総合体育館）」「国・県・他市町村立の文化スポーツ施設」が減少しています。



※1：前回調査は「自宅」

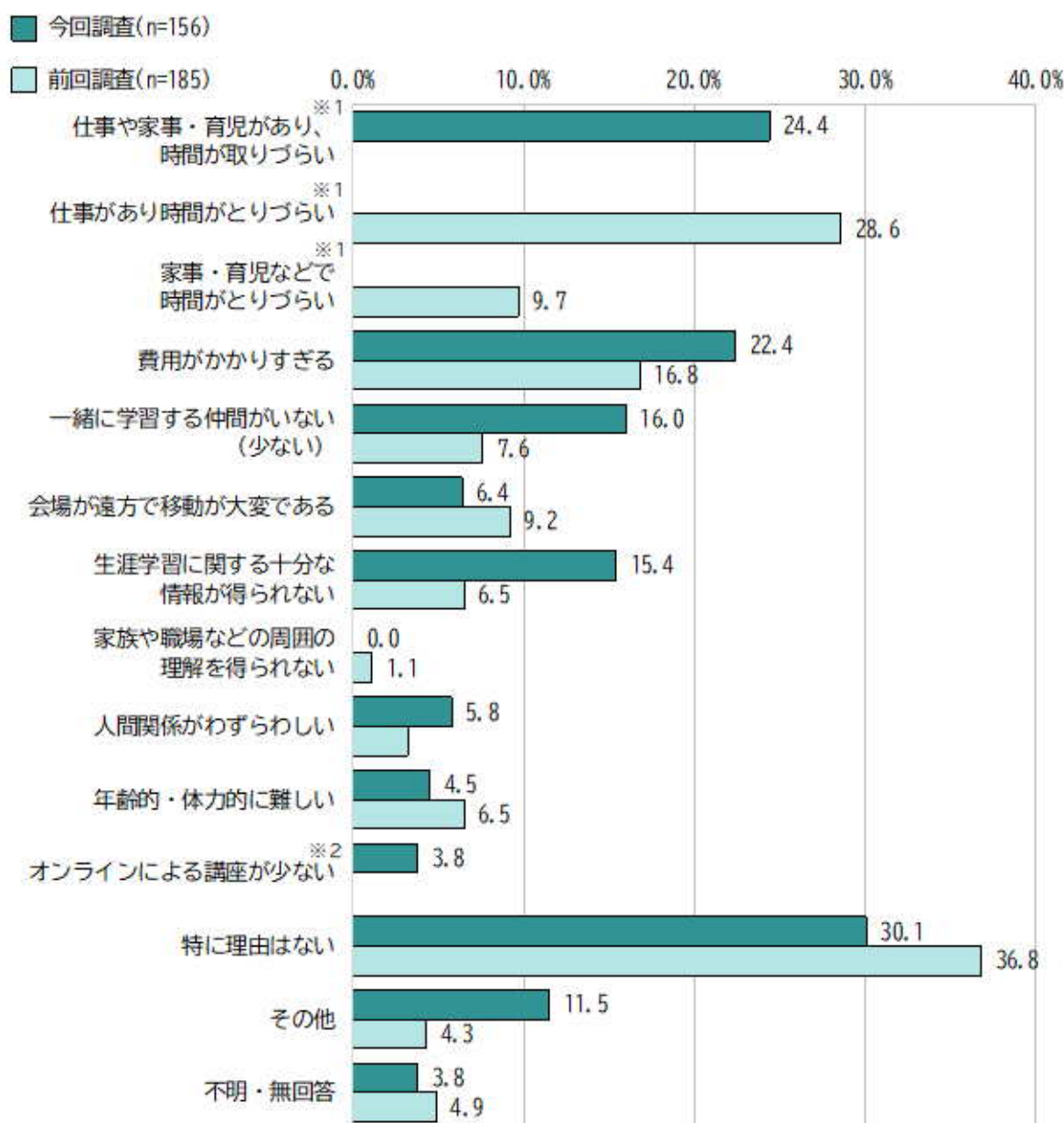
年齢別にみると、〈17歳〉では、「高等学校・大学などの施設」、〈20～29歳〉〈30～39歳〉では、「自宅（オンライン学習を除く）」「自宅（オンライン学習のみ）」、〈40～49歳〉では、「自宅（オンライン学習を除く）」、〈50～59歳〉〈60～69歳〉〈70～79歳〉では、「市の学習・文化・スポーツ施設（公民館・博物館・図書館・総合体育館）」、〈80歳以上〉では、「自宅（オンライン学習を除く）」「市の学習・文化・スポーツ施設（公民館・博物館・図書館・総合体育館）」が最も多くなっています。また、〈30～39歳〉では、「その他」、〈40～49歳〉では、「市内の小中学校」「民間のカルチャーセンター・スポーツクラブ（個人指導者先）」が、それぞれ他の年齢に比べて多くなっています。

単位：%		学自 習を 除く （オン ライ ン）	学自 習の み （オン ライ ン）	知 人 宅	ス ポ ー ツ 施 設 ・ 文 化 ・	市 立 の 小 中 学 校	文 化 市 ・ ス ポ ー ツ 立 の 施 設	国 ・ 市 ・ 村 ・ 立 の 施 設	ス ポ ー ツ ・ ク ラ ブ	セ ン タ ー ・ カ ル チ ャ ー	民 間 の カ ル チ ャ ー	高 等 学 校 ・ 大 学 な ど の 施 設	そ の 他	不 明 ・ 無 回 答
全体(n=156)		34.6	22.4	1.3	31.4	4.5	7.1	16.0	29.5	14.7	0.0			
年 齢 別	17歳 (n=59)	35.6	8.5	1.7	10.2	5.1	6.8	6.8	69.5	5.1	0.0			
	20～29歳 (n=18)	44.4	44.4	0.0	33.3	0.0	5.6	11.1	16.7	22.2	0.0			
	30～39歳 (n=14)	50.0	50.0	0.0	28.6	0.0	7.1	21.4	0.0	35.7	0.0			
	40～49歳 (n=18)	44.4	27.8	0.0	27.8	16.7	5.6	33.3	0.0	22.2	0.0			
	50～59歳 (n=22)	22.7	31.8	4.5	54.5	4.5	9.1	22.7	9.1	18.2	0.0			
	60～69歳 (n=14)	7.1	14.3	0.0	64.3	0.0	14.3	21.4	0.0	14.3	0.0			
	70～79歳 (n=5)	20.0	0.0	0.0	80.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0			
	80歳以上 (n=6)	50.0	16.7	0.0	50.0	0.0	0.0	16.7	0.0	16.7	0.0			

問 13 生涯学習活動を行ううえで、困っていることはありますか。

(複数回答)

生涯学習活動を行ううえで困っていることについてみると、「特に理由はない」が30.1%と最も多く、次いで「仕事や家事・育児があり、時間が取りづらい」が24.4%、「費用がかかりすぎる」が22.4%となっています。



※1：前回調査と今回調査で選択肢が異なるため分けて掲載
 ※2：今回調査の新規設問

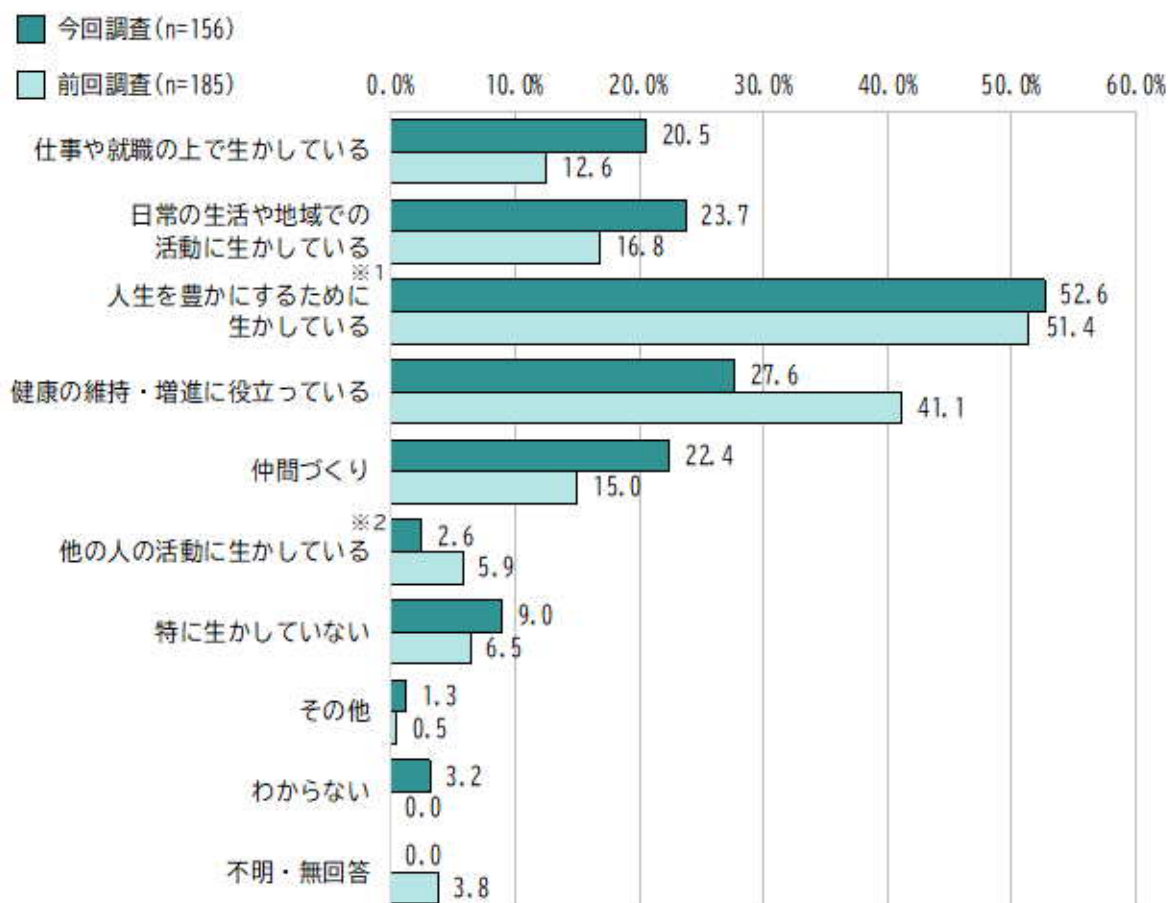
年齢別にみると、〈17歳〉〈60～69歳〉〈80歳以上〉では、「特に理由はない」、〈20～29歳〉〈50～59歳〉では、「費用がかかりすぎる」、〈30～39歳〉〈40～49歳〉では、「仕事や家事・育児があり、時間が取りづらい」、〈70～79歳〉では、「費用がかかりすぎる」「生涯学習に関する十分な情報が得られない」「年齢的・体力的に難しい」「オンラインによる講座が少ない」「特に理由はない」が最も多くなっています。また、〈80歳以上〉では、「会場が遠方で移動が大変である」が他の年齢に比べて多くなっており、〈50～59歳〉では、「特に理由はない」が他の年齢に比べて少なくなっています。

単位：%		仕事や家事・育児が取りづら いあり	費用がかかりすぎる	一緒に学習する仲間が いない（少ない）	会場が遠方で移動が大 変である	十分な情報が 得られない	生涯学習に関する 十分な情報が 得られない	家族や職場などの 周囲の理解を 得られない	人間関係が わずらわしい	年齢的・体力的に 難しい	講座が少ない オンラインによる	特に理由はない	その他	不明・無回答
全体(n=156)		24.4	22.4	16.0	6.4	15.4	0.0	5.8	4.5	3.8	30.1	11.5	3.8	
年齢別	17歳 (n=59)	13.6	10.2	11.9	5.1	8.5	0.0	8.5	1.7	1.7	37.3	13.6	6.8	
	20～29歳 (n=18)	27.8	38.9	27.8	5.6	22.2	0.0	0.0	0.0	5.6	22.2	11.1	0.0	
	30～39歳 (n=14)	64.3	35.7	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1	7.1	28.6	0.0	0.0	
	40～49歳 (n=18)	50.0	16.7	16.7	0.0	16.7	0.0	11.1	11.1	0.0	22.2	16.7	0.0	
	50～59歳 (n=22)	27.3	40.9	13.6	18.2	31.8	0.0	4.5	0.0	9.1	9.1	9.1	0.0	
	60～69歳 (n=14)	7.1	21.4	21.4	0.0	14.3	0.0	0.0	7.1	0.0	50.0	21.4	7.1	
	70～79歳 (n=5)	0.0	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	20.0	20.0	20.0	0.0	20.0	
	80歳以上 (n=6)	0.0	16.7	33.3	33.3	33.3	0.0	16.7	16.7	0.0	50.0	0.0	0.0	

問 14 生涯学習活動で身につけた知識、技能や経験をどのように生かしていますか。（複数回答）

生涯学習活動で身につけた知識、技能や経験をどのように生かしているかについてみると、「人生を豊かにするために生かしている」が52.6%と最も多く、次いで「健康の維持・増進に役立っている」が27.6%、「日常生活や地域での活動に生かしている」が23.7%となっています。

前回調査と比べると、「健康の維持・増進に役立っている」が13.5ポイント減少しています。



※1：前回調査は「自分の人生の充実に向けて活かしている」

※2：前回調査は「他の人の指導に活かしている」

年齢別にみると、〈17歳〉〈50～59歳〉〈60～69歳〉〈80歳以上〉では、「人生を豊かにするために生かしている」、〈20～29歳〉では、「仕事や就職の上で生かしている」、〈30～39歳〉では、「人生を豊かにするために生かしている」「健康の維持・増進に役立っている」、〈40～49歳〉〈70～79歳〉では、「健康の維持・増進に役立っている」が最も多くなっています。また、〈70～79歳〉では、「仲間づくり」が他の年齢に比べて多く、「人生を豊かにするために生かしている」が他の年齢に比べて少なくなっています。

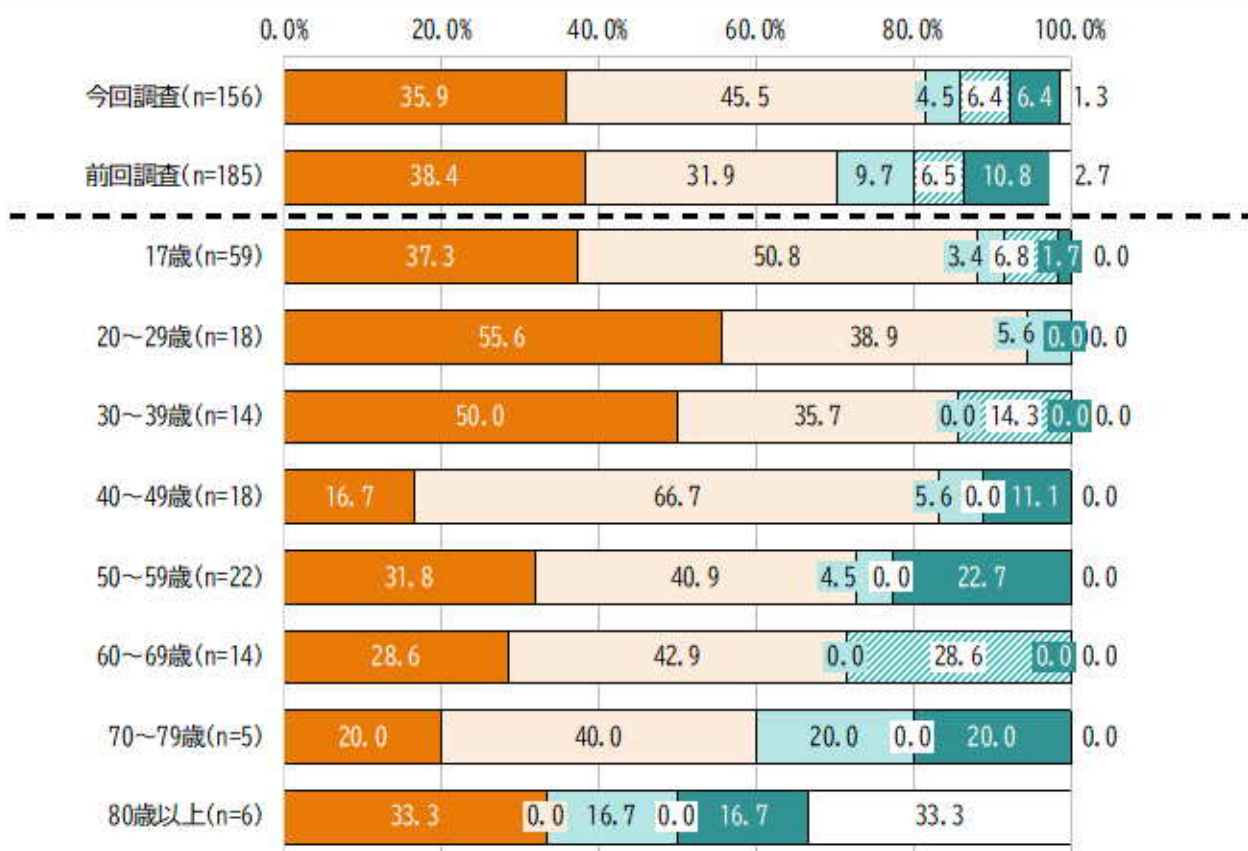
単位：%		仕事や就職の上で生かしている	日常の生活や地域での活動に生かしている	人生を豊かにするために生かしている	健康の維持・増進に役立っている	仲間づくり	他の人の活動に生かしている	特に生かしていない	その他	わからない	不明・無回答
全体(n=156)		20.5	23.7	52.6	27.6	22.4	2.6	9.0	1.3	3.2	0.0
年齢別	17歳 (n=59)	10.2	25.4	57.6	11.9	28.8	1.7	8.5	1.7	8.5	0.0
	20～29歳 (n=18)	50.0	33.3	44.4	16.7	16.7	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0
	30～39歳 (n=14)	35.7	21.4	50.0	50.0	0.0	7.1	7.1	0.0	0.0	0.0
	40～49歳 (n=18)	16.7	11.1	33.3	50.0	27.8	0.0	22.2	5.6	0.0	0.0
	50～59歳 (n=22)	27.3	40.9	59.1	31.8	22.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	60～69歳 (n=14)	21.4	7.1	64.3	21.4	21.4	0.0	21.4	0.0	0.0	0.0
	70～79歳 (n=5)	0.0	20.0	20.0	80.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	80歳以上 (n=6)	0.0	0.0	66.7	50.0	0.0	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0

問 15 生涯学習を通じて身につけた知識、技能や経験を、仕事や地域活動に生かしたいと思いますか。
(単数回答)

生涯学習を通じて身につけた知識、技能や経験を、仕事や地域活動に生かしたいと思うかについてみると、「どちらかといえば思う」が45.5%と最も多く、次いで「思う」が35.9%、「思わない」が6.4%となっています。

前回調査と比べると、「思う」と「どちらかといえば思う」を合わせた『思う』が11.1ポイント増加しています。

年齢別にみると、〈17歳〉〈40～49歳〉〈50～59歳〉〈60～69歳〉〈70～79歳〉では、「どちらかといえば思う」、〈20～29歳〉〈30～39歳〉〈80歳以上〉では、「思う」が最も多くなっており、いずれの年齢においても、「思う」または「どちらかといえば思う」が最も多くなっています。また、〈60～69歳〉では、「思わない」が他の年齢に比べて多くなっています。

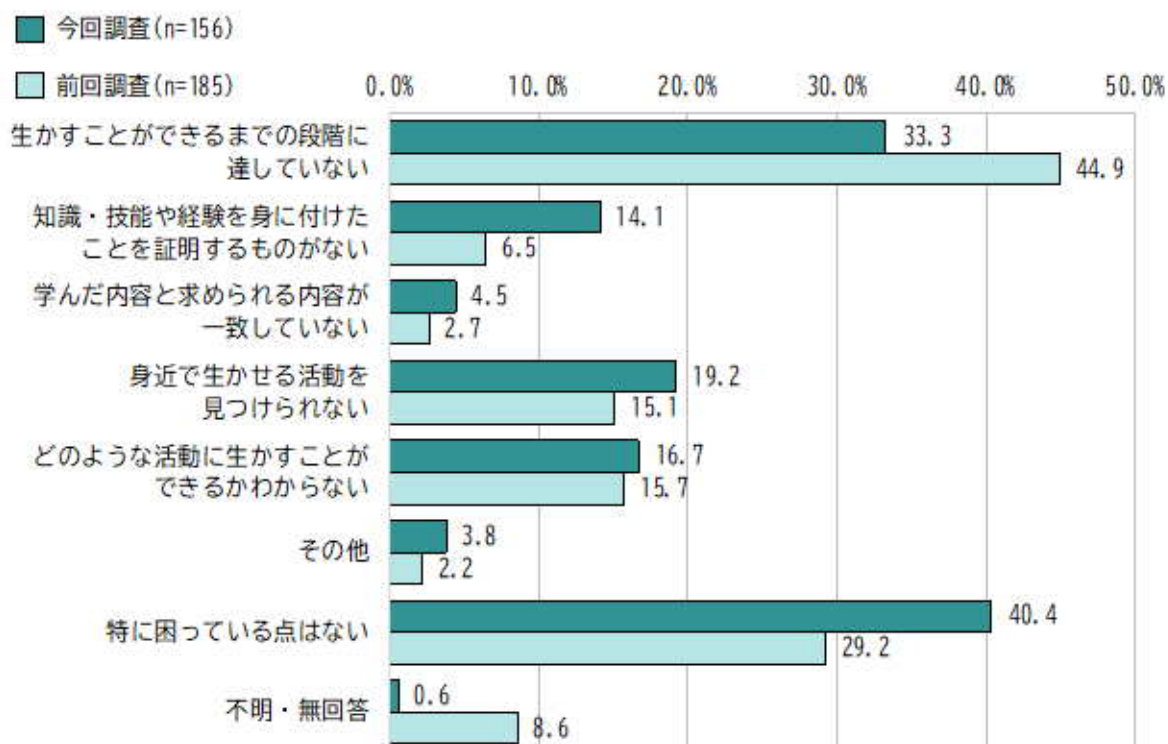


■ 思う □ どちらかといえば思う □ どちらかといえば思わない ▨ 思わない ■ わからない — 不明・無回答

問 16 生涯学習を通じて身につけた知識や経験を、仕事や地域活動に生かすにあたってお困りの点は何ですか。
(複数回答)

生涯学習を通じて身につけた知識や経験を、仕事や地域活動に生かすにあたって困っていることについてみると、「特に困っている点はない」が40.4%と最も多く、次いで「生かすことができるまでの段階に達していない」が33.3%、「身近で生かせる活動を見つけられない」が19.2%となっています。

前回調査と比べると、「特に困っている点はない」が11.6ポイント増加しており、「生かすことができるまでの段階に達していない」が11.2ポイント減少しています。



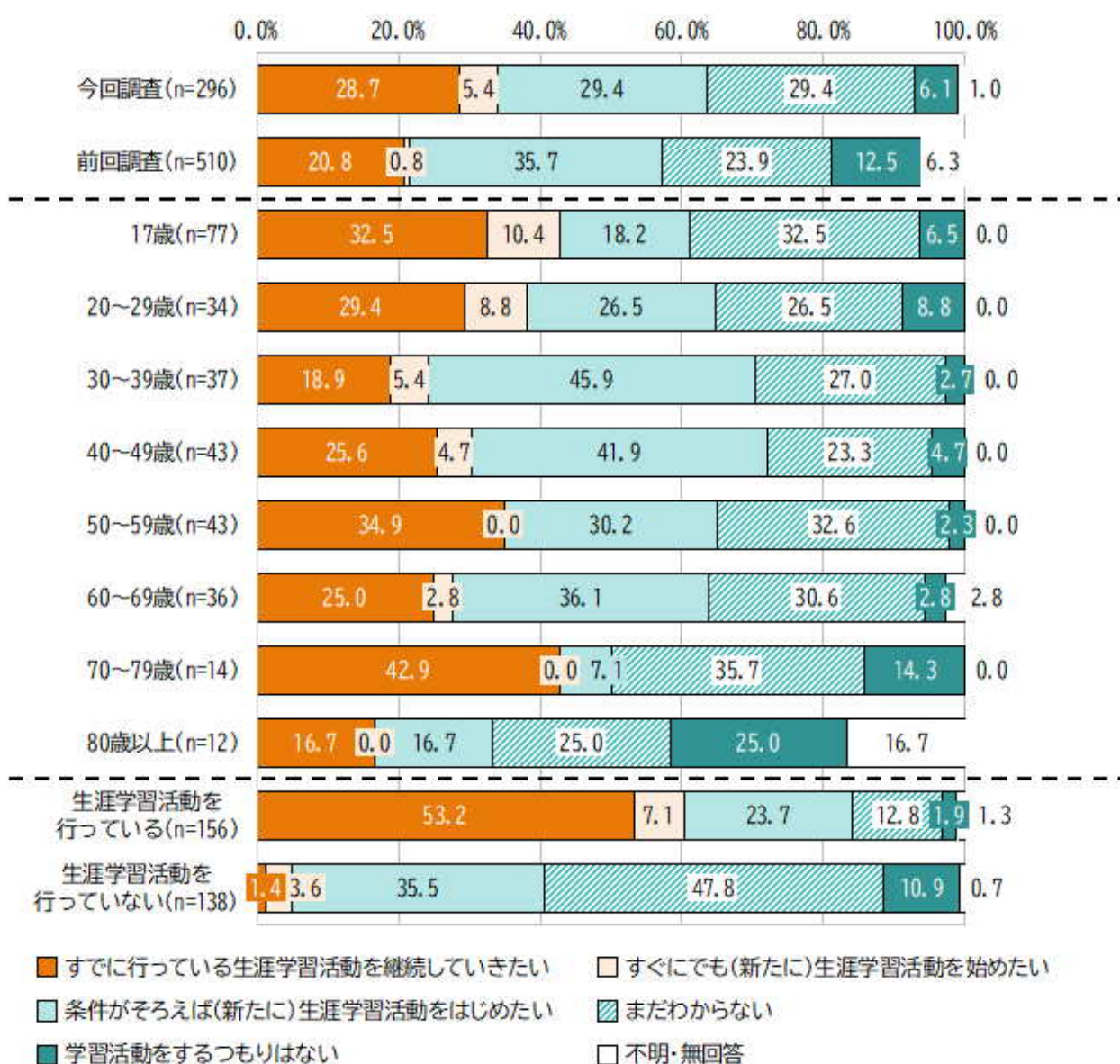
(3) 今後の生涯学習活動に関する意向について

問 17 今後の生涯学習活動に関するあなたのご意向をうかがいます。あなたの考えに近いものは次のうちどれですか。(単数回答)

今後の生涯学習活動に関する意向についてみると、「条件がそろえば(新たに)生涯学習活動をはじめたい」「まだわからない」が29.4%と最も多く、次いで「すでに行っている生涯学習活動を継続していきたい」が28.7%、「学習活動をするつもりはない」が6.1%となっています。

年齢別にみると、〈17歳〉では、「すでに行っている生涯学習活動を継続していきたい」「まだわからない」、〈20～29歳〉〈50～59歳〉〈70～79歳〉では、「すでに行っている生涯学習活動を継続していきたい」、〈30～39歳〉〈40～49歳〉〈60～69歳〉では、「条件がそろえば(新たに)生涯学習活動をはじめたい」、〈80歳以上〉では、「まだわからない」「学習活動をするつもりはない」が最も多くなっています。

生涯学習活動の活動状況別にみると、〈行っている〉では、「すでに行っている生涯学習活動を継続していきたい」が53.2%と最も多く、次いで「条件がそろえば(新たに)生涯学習活動をはじめたい」が23.7%、「まだわからない」が12.0%、〈行っていない〉では、「まだわからない」が47.0%と最も多く、次いで「条件がそろえば(新たに)生涯学習活動をはじめたい」が35.5%、「学習活動をするつもりはない」が10.9%となっています。

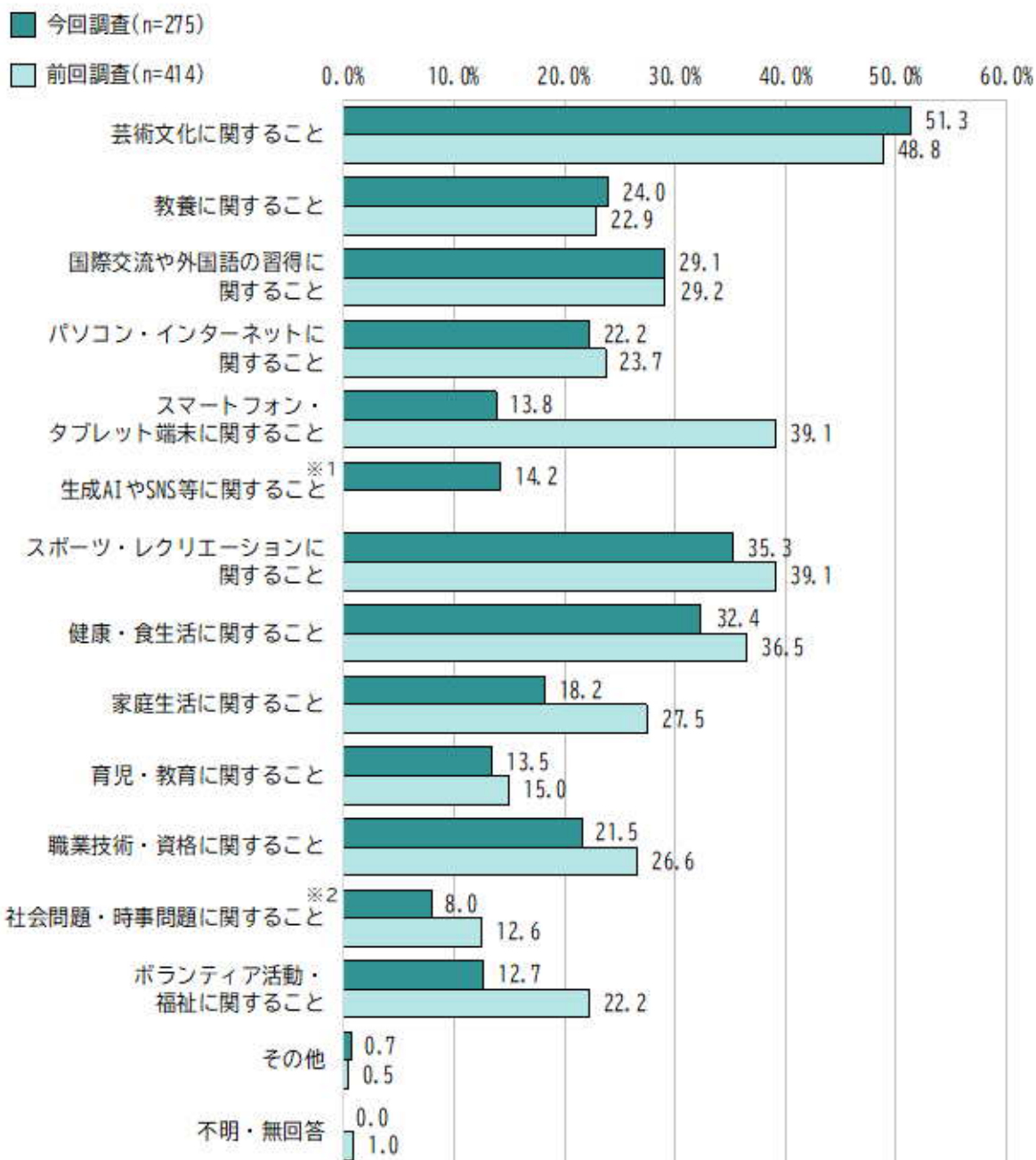


問18・問19は、問17で「学習活動をするつもりはない」以外を選択した方におたずねします。

問 18 生涯学習活動をする場合、今後、あなたの希望する分野は次のうちどれにあたりますか。
(複数回答)

今後希望する分野についてみると、「芸術文化に関すること（音楽・美術・華道・園芸・舞踊・書道・短歌・囲碁・将棋など）」が51.3%と最も多く、次いで「スポーツ・レクリエーションに関すること」が35.3%、「健康・食生活に関すること」が32.4%となっています。

前回調査と比べると、「スマートフォン・タブレット端末に関すること」が25.3ポイント減少しています。



※1：今回調査の新規設問

※2：前回調査は「地域の社会問題・時事問題に関すること」

年齢別にみると、〈17歳〉〈20～29歳〉〈30～39歳〉〈40～49歳〉〈50～59歳〉〈60～69歳〉では、「芸術文化に関すること」、〈70～79歳〉では、「スポーツ、レクリエーションに関すること」、〈80歳以上〉では、「芸術文化に関すること」「健康・食生活に関すること」が最も多くなっています。また、〈30～39歳〉では、「育児・教育に関すること」、〈80歳以上〉では、「スマートフォン・タブレット端末に関すること」が、それぞれ他の年齢に比べて多くなっています。

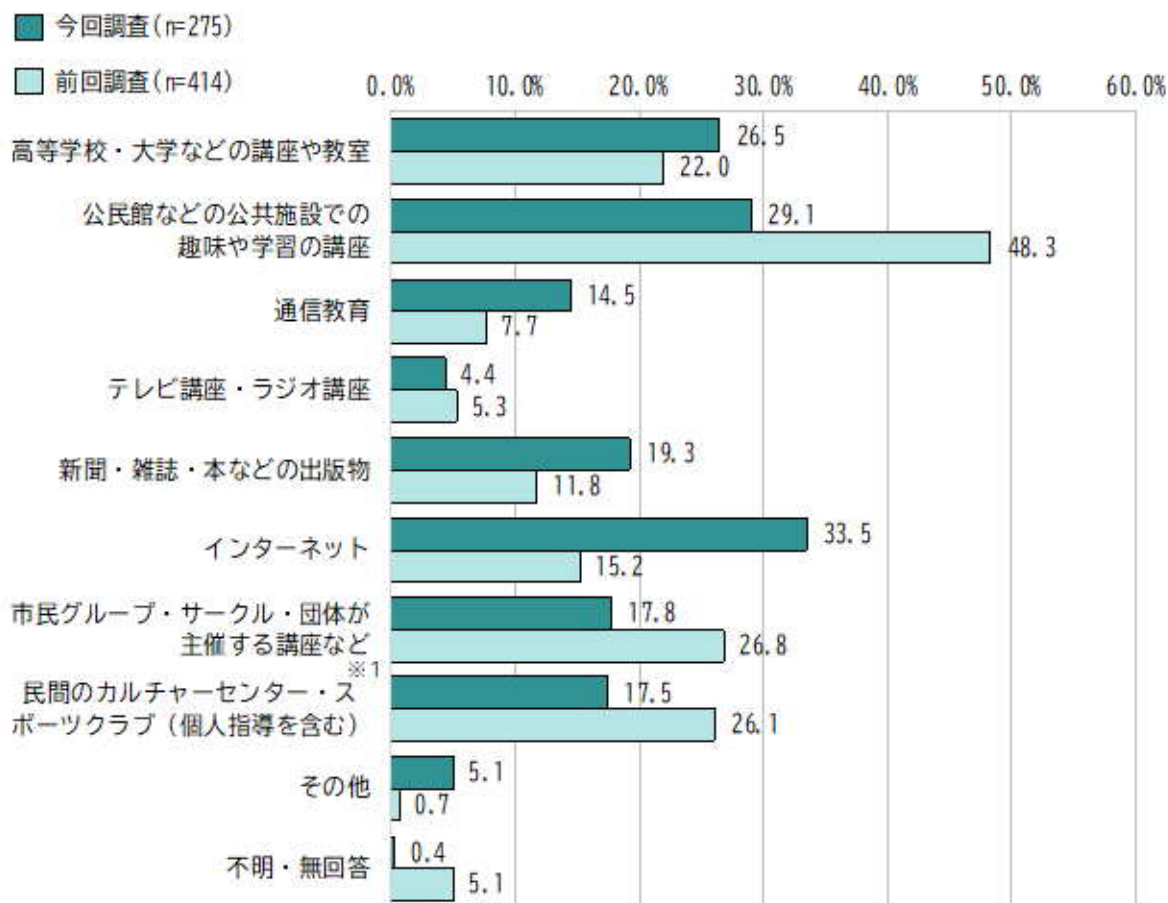
単位：%		芸術文化に関すること	教養に関すること	国際交流や外国語の習得に関すること	ネット・パソコンに関すること	スマートフォン・タブレット端末に関すること	スマートフォン・タブレット端末に関すること	生成AIやSNS等に関すること	スポーツ・レクリエーションに関すること	健康・食生活に関すること	家庭生活に関すること	育児・教育に関すること	職業技術・資格に関すること
全体(n=275)		51.3	24.0	29.1	22.2	13.8	14.2	35.3	32.4	18.2	13.5	21.5	
性別	男性(n=101)	44.6	26.7	23.8	22.8	21.8	20.8	35.6	31.7	4.0	9.9	21.8	
	女性(n=173)	55.5	22.5	31.8	22.0	9.2	10.4	35.3	32.9	26.6	15.6	20.8	
年齢別	17歳(n=72)	45.8	22.2	22.2	19.4	18.1	16.7	23.6	19.4	12.5	13.9	26.4	
	20～29歳(n=31)	48.4	29.0	32.3	29.0	16.1	25.8	32.3	19.4	9.7	9.7	38.7	
	30～39歳(n=36)	52.8	27.8	44.4	27.8	8.3	19.4	38.9	47.2	36.1	36.1	25.0	
	40～49歳(n=41)	56.1	24.4	36.6	14.6	7.3	4.9	34.1	29.3	26.8	17.1	31.7	
	50～59歳(n=42)	57.1	19.0	33.3	28.6	9.5	11.9	54.8	50.0	16.7	9.5	9.5	
	60～69歳(n=34)	58.8	26.5	23.5	26.5	17.6	8.8	35.3	38.2	17.6	0.0	5.9	
	70～79歳(n=12)	25.0	16.7	0.0	8.3	16.7	8.3	50.0	16.7	8.3	0.0	0.0	
	80歳以上(n=7)	57.1	28.6	14.3	0.0	28.6	14.3	14.3	57.1	0.0	0.0	0.0	

単位：%		社会問題・時事問題に関すること	ボランティアに関する活動	その他	不明・無回答
全体(n=275)		8.0	12.7	0.7	0.0
性別	男性(n=101)	10.9	7.9	0.0	0.0
	女性(n=173)	6.4	15.6	1.2	0.0
年齢別	17歳(n=72)	8.3	9.7	0.0	0.0
	20～29歳(n=31)	9.7	6.5	3.2	0.0
	30～39歳(n=36)	16.7	5.6	2.8	0.0
	40～49歳(n=41)	2.4	19.5	0.0	0.0
	50～59歳(n=42)	4.8	21.4	0.0	0.0
	60～69歳(n=34)	5.9	14.7	0.0	0.0
	70～79歳(n=12)	8.3	16.7	0.0	0.0
	80歳以上(n=7)	14.3	0.0	0.0	0.0

問 19 生涯学習活動をする場合、今後あなたはどのような手段、方法を希望しますか。(複数回答)

希望する手段、方法についてみると、「インターネット（ライブ配信やアーカイブ配信等）」が33.5%と最も多く、次いで「公民館などの公共施設での趣味や学習の講座」が29.1%、「高等学校・大学などの講座や教室」が26.5%となっています。

前回調査と比べると、「インターネット（ライブ配信やアーカイブ配信等）」が18.3ポイント増加しており、「公民館などの公共施設での趣味や学習の講座」が19.2ポイント減少しています。



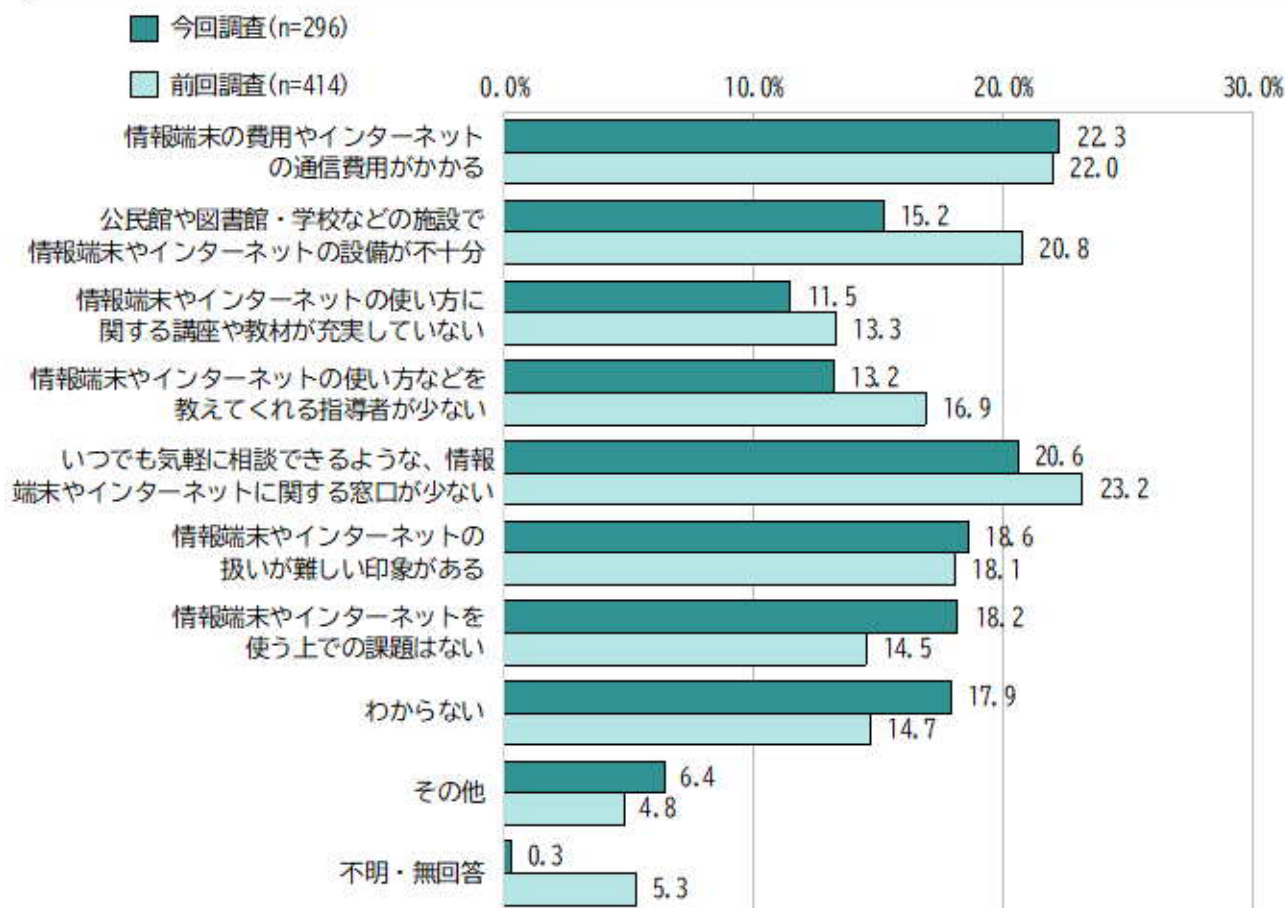
※前回調査は「民間カルチャーセンター・スポーツクラブ」「個人による指導」の合算

年齢別にみると、〈17歳〉では、「高等学校・大学などの講座や教室」、〈20～29歳〉〈30～39歳〉では、「インターネット（ライブ配信やアーカイブ配信等）」、〈40～49歳〉では、「民間のカルチャーセンター・スポーツクラブ（個人指導を含む）」、〈50～59歳〉〈60～69歳〉〈70～79歳〉では、「公民館などの公共施設での趣味や学習の講座」、〈80歳以上〉では、「新聞・雑誌・本などの出版物」が最も多くなっています。また、〈30～39歳〉では、「通信教育」、〈70～79歳〉では、「市民グループ・サークル・団体が主催する講座など」が、それぞれ他の年齢に比べて多くなっています。

単位：%		高等学校・大学などの講座や教室	公民館などの趣味や学習の公共施設	通信教育	テレビ講座・ラジオ講座	新聞・雑誌・本などの出版物	インターネット	市民グループ・サークル・団体が主催する講座など	民間のカルチャーセンター（個人指導を含む）	その他	不明・無回答
全体(n=275)		26.5	29.1	14.5	4.4	19.3	33.5	17.8	17.5	5.1	0.4
年齢別	17歳 (n=72)	62.5	12.5	9.7	2.8	16.7	33.3	9.7	6.9	5.6	0.0
	20～29歳 (n=31)	19.4	9.7	12.9	6.5	29.0	54.8	6.5	12.9	9.7	0.0
	30～39歳 (n=36)	13.9	30.6	27.8	2.8	33.3	52.8	13.9	11.1	0.0	0.0
	40～49歳 (n=41)	14.6	29.3	17.1	2.4	17.1	19.5	19.5	41.5	7.3	2.4
	50～59歳 (n=42)	14.3	35.7	11.9	7.1	11.9	33.3	31.0	21.4	4.8	0.0
	60～69歳 (n=34)	14.7	61.8	11.8	5.9	11.8	17.6	20.6	20.6	5.9	0.0
	70～79歳 (n=12)	0.0	58.3	16.7	0.0	8.3	25.0	41.7	8.3	0.0	0.0
	80歳以上 (n=7)	0.0	28.6	14.3	14.3	42.9	14.3	28.6	14.3	0.0	0.0

問 20 情報端末やインターネット（オンライン配信等）による生涯学習には、どのような課題があるとおもいますか。（複数回答）

情報端末やインターネットによる生涯学習における課題についてみると、「情報端末の費用やインターネットの通信費用がかかる」が22.3%と最も多く、次いで「いつでも気軽に相談できるような、情報端末やインターネットに関する窓口が少ない」が20.6%、「情報端末やインターネットの扱いが難しい印象がある」が18.6%となっています。

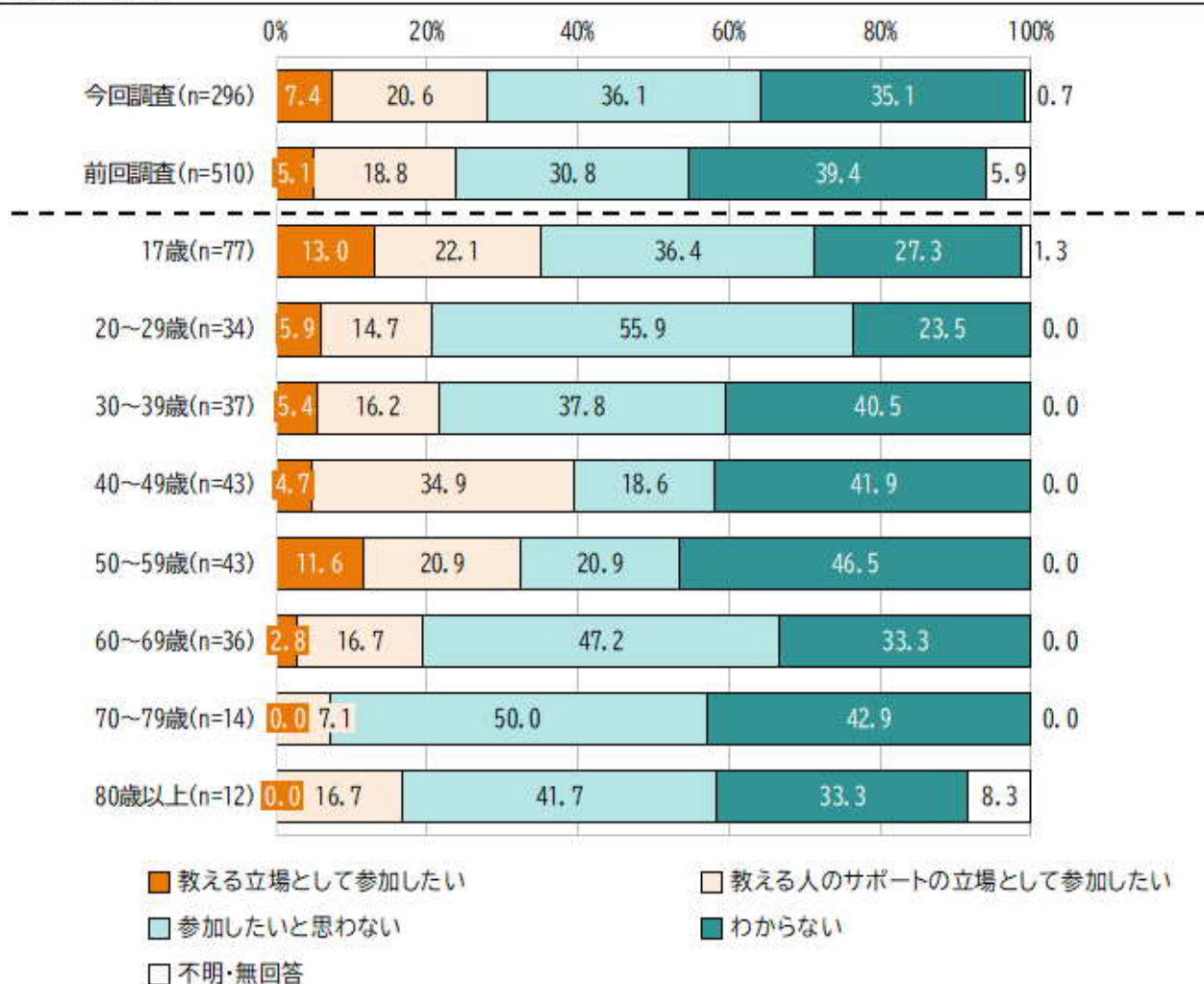


(4)「地域や社会における教育」について

問 21 あなたは、「地域や社会における教育」の支援や指導に参加してみたいですか。(単数回答)

「地域や社会における教育」の支援や指導についてみると、「参加したいと思わない」が36.1%が最も多く、次いで「わからない」が35.1%、「教える人のサポート（運営・進行補助など）の立場として参加したい」が20.6%となっています。

年齢別にみると、〈17歳〉〈20～29歳〉〈60～69歳〉〈70～79歳〉〈80歳以上〉では、「参加したいと思わない」、〈30～39歳〉〈40～49歳〉〈50～59歳〉では、「わからない」が最も多くなっています。また、〈40～49歳〉では、「教える人のサポートの立場として参加したい」が他の年齢に比べて多くなっています。

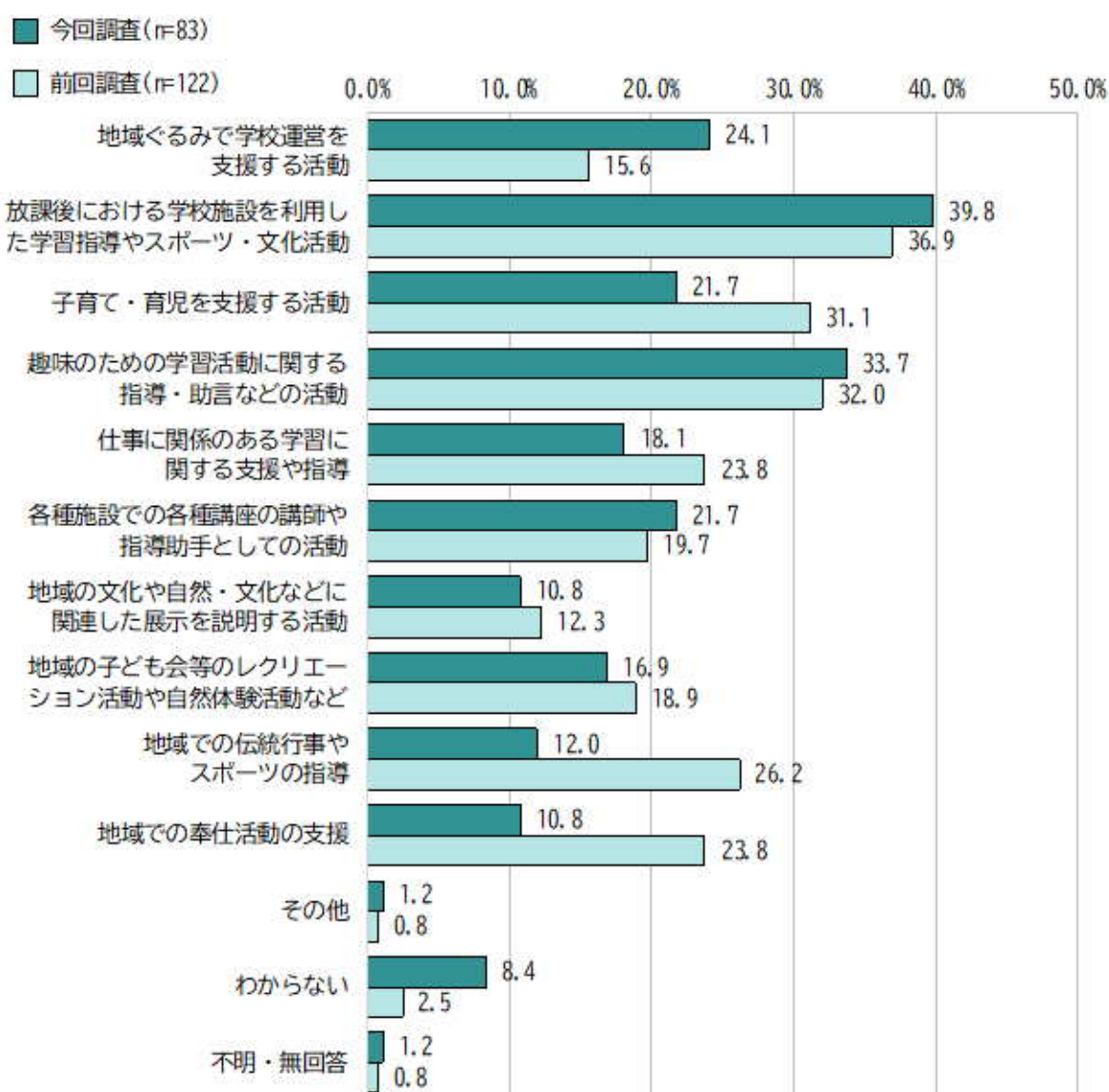


問21で「教える立場として参加したい」「教える人のサポートの立場として参加したい」と回答した方におたずねします。

問22 「地域や社会における教育」のどのような支援や指導に参加してみたいと思いますか。
(複数回答)

参加してみたい「地域や社会における教育」の支援や指導についてみると、「放課後における学校施設を利用した学習指導やスポーツ・文化活動」が39.8%と最も多く、次いで「趣味のための学習活動に関する指導・助言などの活動」が33.7%、「地域ぐるみで学校運営を支援する活動」が24.1%となっています。

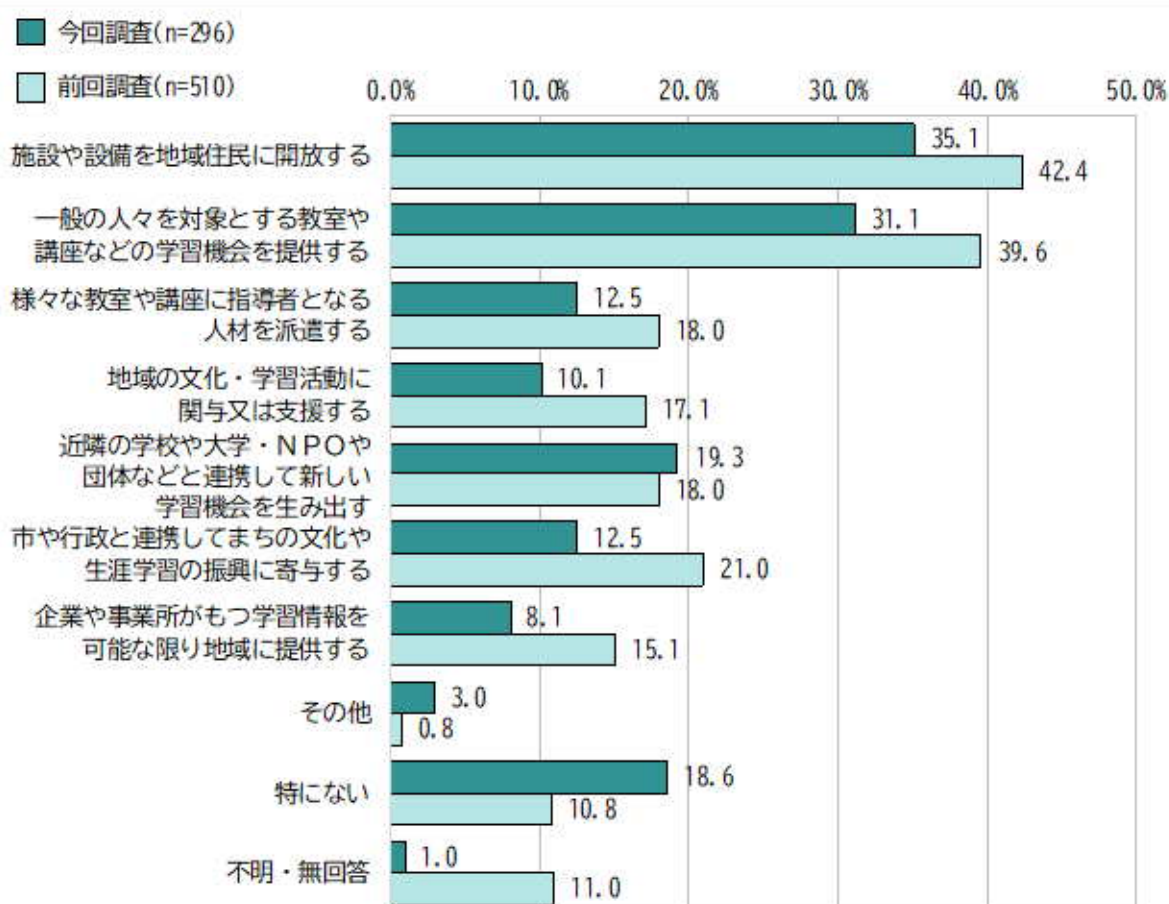
前回調査と比べると、「地域での伝統行事やスポーツの指導」「地域での奉仕活動の支援」が減少しています。



(5) 企業・事業所との関係について

問 23 人々の学習をさらに盛んにしていくために、市内に所在する企業や事業所にどのようなことを期待しますか。
(複数回答)

人々の学習をさらに盛んにしていくために、市内に所在する企業や事業所に期待することについてみると、「施設や設備を地域住民に開放する」が35.1%と最も多く、次いで「一般の人々を対象とする教室や講座などの学習機会を提供する」が31.1%、「近隣の学校や大学、NPOや団体などと連携して新しい学習機会を生み出す」が19.3%となっています。



年齢別にみると、〈17歳〉〈20～29歳〉〈40～49歳〉では、「施設や設備を地域住民に開放する」、〈30～39歳〉〈50～59歳〉では、「一般の人々を対象とする教室や講座などの学習機会を提供する」、〈60～69歳〉では、「一般の人々を対象とする教室や講座などの学習機会を提供する」「近隣の学校や大学・NPOや団体などと連携して新しい学習機会を生み出す」、〈70～79歳〉〈80歳以上〉では、「特にない」が最も多くなっています。また、〈80歳以上〉では、「一般の人々を対象とする教室や講座などの学習機会を提供する」が他の年齢に比べて少なくなっています。

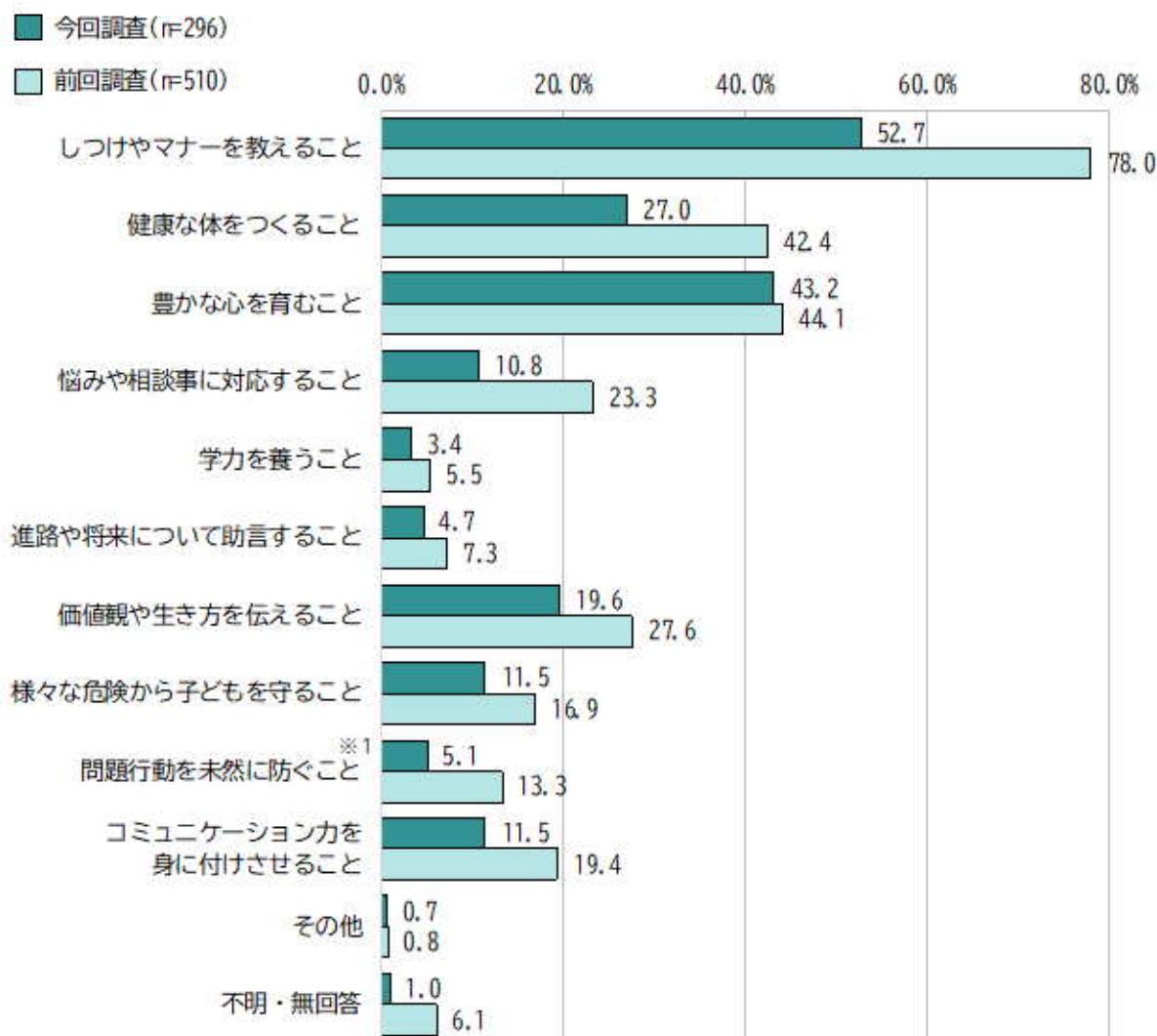
単位：%	施設や設備を地域住民に開放する	一般の人々を対象とする教室や講座などの学習機会を提供する	様々な教室や講座に指導者となる人材を派遣する	地域の文化・学習活動に関与又は支援する	近隣の学校や大学・NPOや団体などと連携して新しい学習機会を生み出す	市や行政と連携してまちの文化や生涯学習の振興に寄与する	企業や事業所がもつ学習情報を可能な限り地域に提供	その他	特にない	不明・無回答
全体(n=296)	35.1	31.1	12.5	10.1	19.3	12.5	8.1	3.0	18.6	1.0
年齢別	17歳 (n=77)	41.6	24.7	6.5	13.0	7.8	5.2	3.9	27.3	0.0
	20～29歳 (n=34)	47.1	32.4	17.6	11.8	5.9	11.8	5.9	2.9	11.8
	30～39歳 (n=37)	29.7	48.6	16.2	8.1	18.9	10.8	16.2	8.1	2.7
	40～49歳 (n=43)	44.2	30.2	4.7	9.3	23.3	20.9	11.6	2.3	9.3
	50～59歳 (n=43)	32.6	37.2	18.6	9.3	20.9	11.6	4.7	0.0	18.6
	60～69歳 (n=36)	19.4	30.6	25.0	11.1	30.6	19.4	8.3	2.8	11.1
	70～79歳 (n=14)	21.4	21.4	7.1	7.1	7.1	14.3	0.0	0.0	42.9
	80歳以上 (n=12)	16.7	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	41.7

(6) 子どもの教育について

問 24 子どもの教育において、家庭が担う役割で重要なことは、どのようなことだと思いますか。
(複数回答)

子どもの教育において、家庭が担う役割で重要なことについてみると、「しつけやマナーを教えること」が52.7%と最も多く、次いで「豊かな心を育むこと」が43.2%、「健康な体をつくること」が27.0%となっています。

前回調査と比べると、「しつけやマナーを教えること」「健康な体をつくること」「悩みや相談事に対応すること」が減少しています。

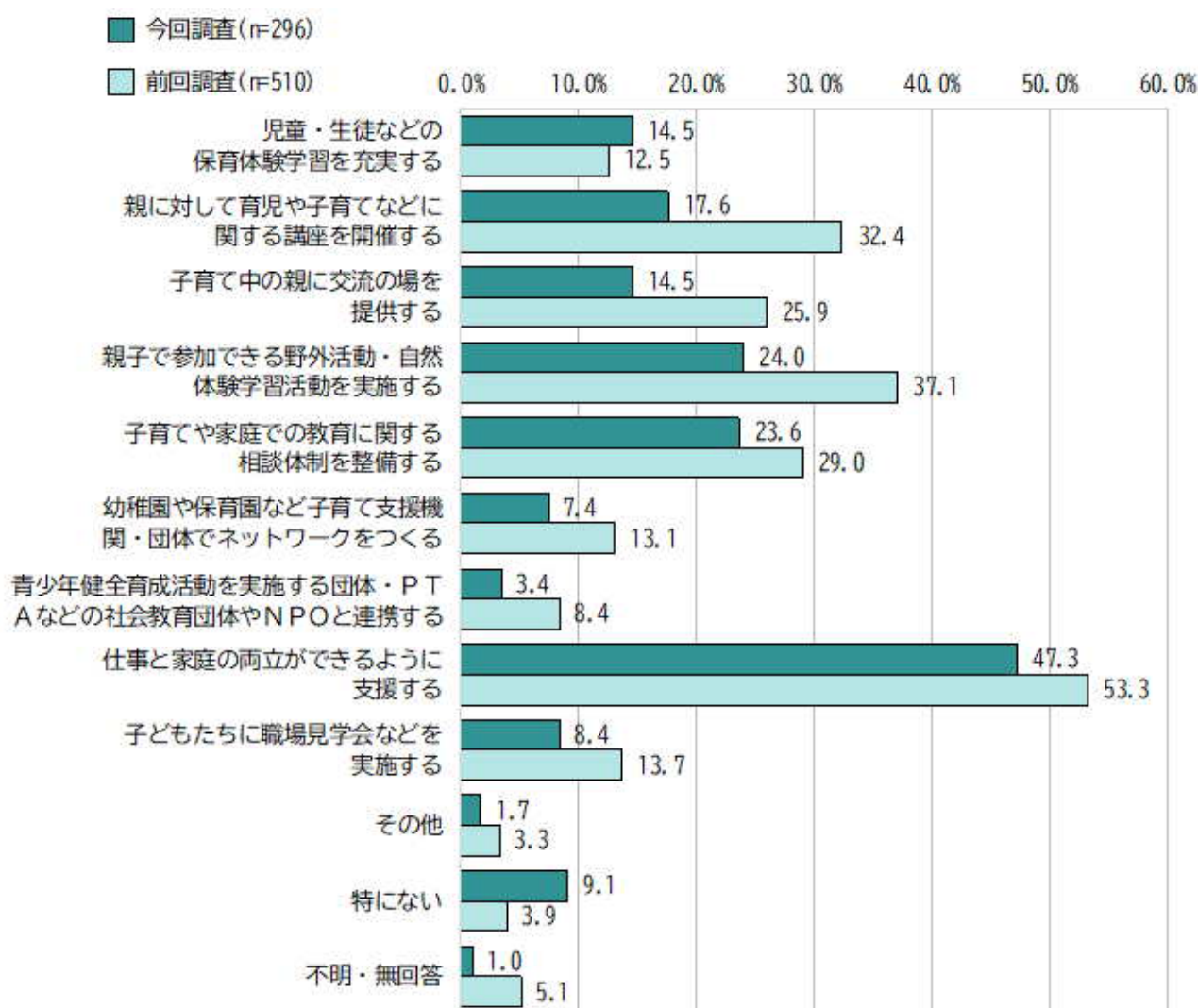


※1：前回調査は「非行や問題行動を未然に防ぐこと」

問 25 家庭の教育力を向上させるために、市はどのような点に力を入れるとよいと思いますか。
(複数回答)

家庭の教育力を向上させるために、市が力を入れるべき点についてみると、「仕事と家庭の両立ができるように支援する」が47.3%と最も多く、次いで「親子で参加できる野外活動、自然体験学習活動を実施する」が24.0%、「子育てや家庭での教育に関する相談体制を整備する」が23.6%となっています。

前回調査と比べると、「親に対して育児や子育てなどに関する講座を開催する」「子育て中の親に交流の場を提供する」「親子で参加できる野外活動・自然体験学習活動を実施する」が減少しています。

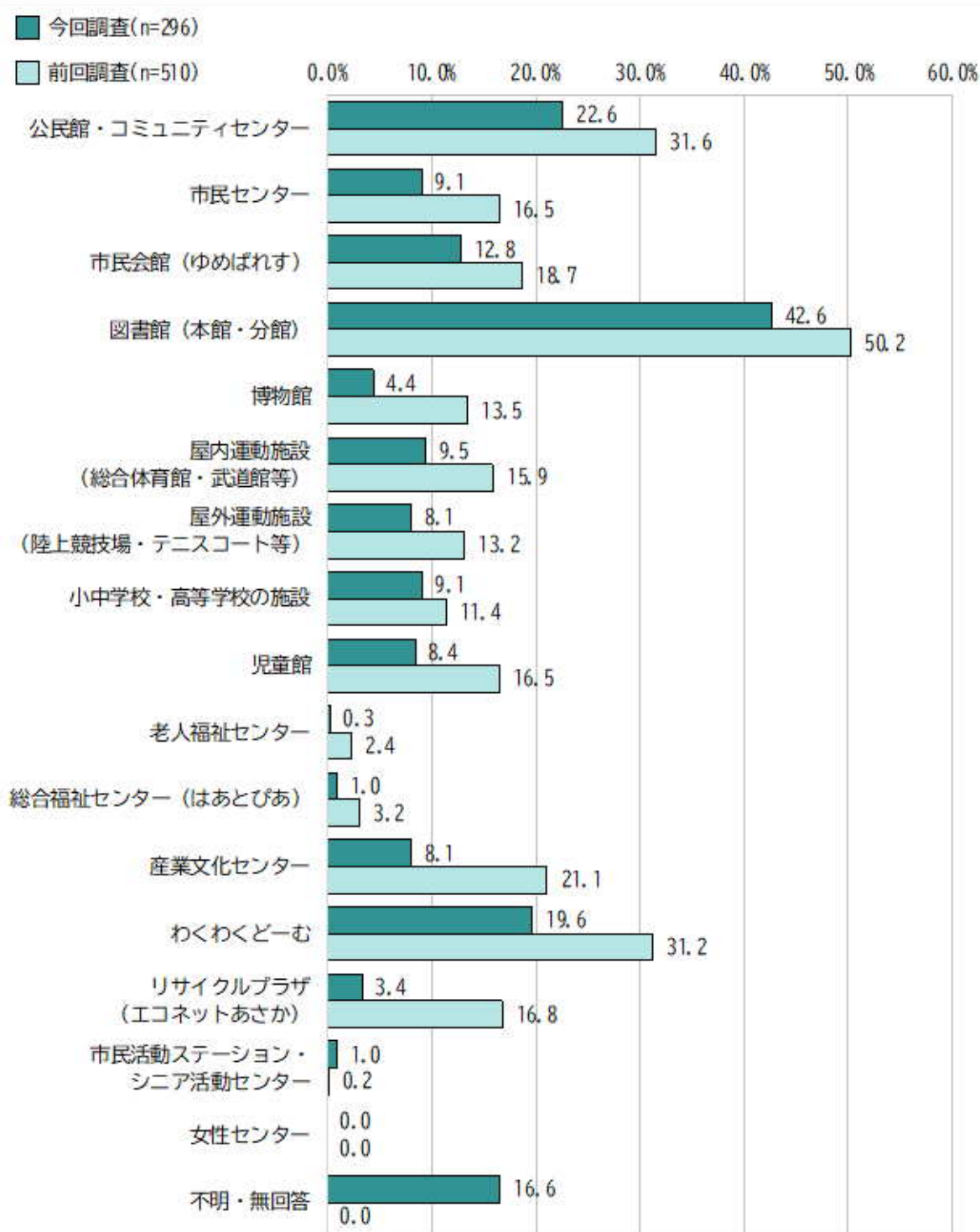


(7) 朝霞市の施設について

問 26 朝霞市には、市民の生涯学習の場として、次の施設があります。よく利用する施設はどれですか。
(複数回答)

よく利用する施設についてみると、「図書館（本館・分館）」が42.6%と最も多く、次いで「公民館・コミュニティセンター」が22.6%、「わくわくどーむ」が19.6%となっています。

前回調査と比べると、「産業文化センター」「わくわくどーむ」「リサイクルプラザ（エコネットあさか）」が減少しています。



※前回調査は「よく利用する」「時々利用する」の合算

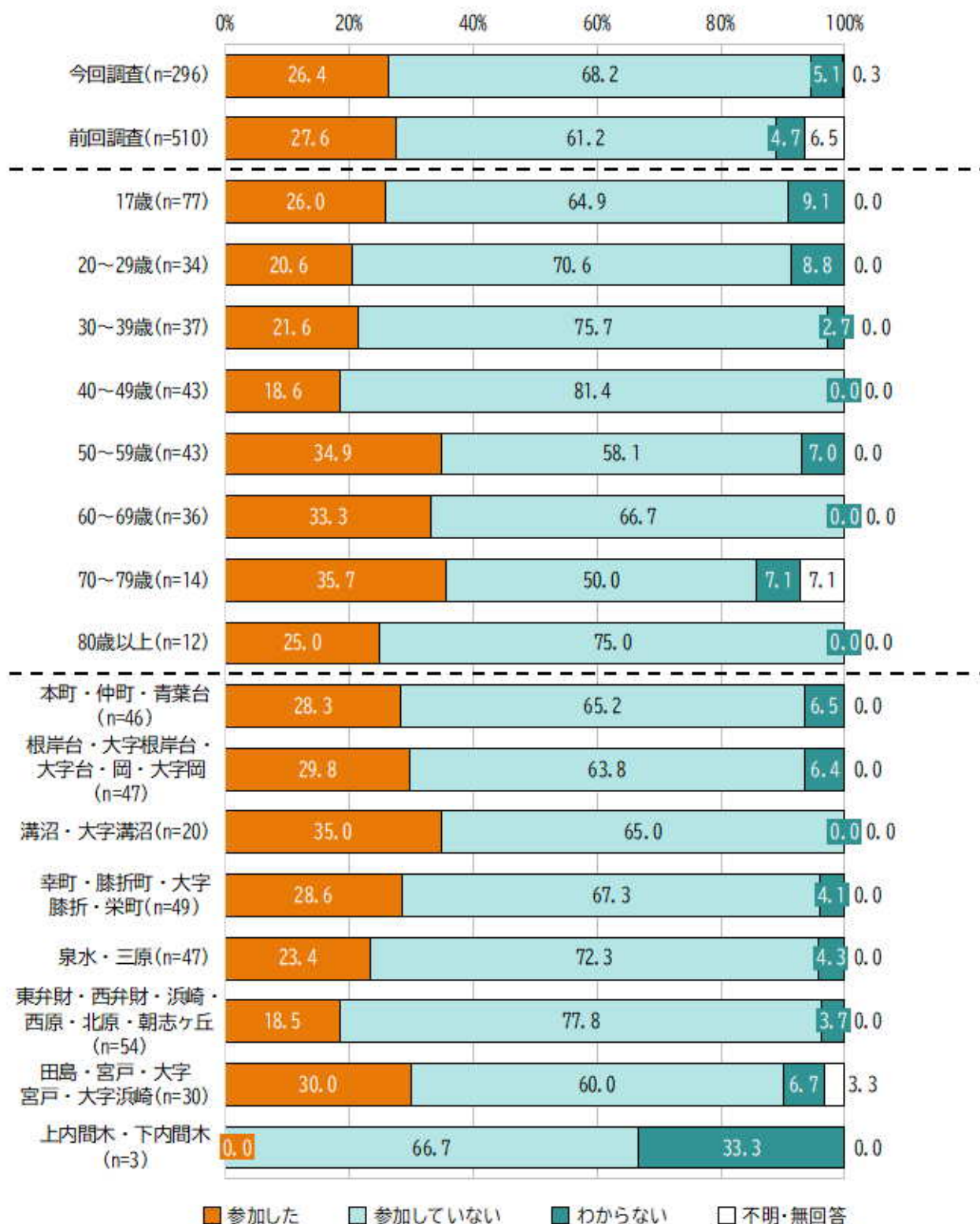
(8)「人とのつながりに関する活動」について

問 27 この1年くらいの間に「人とのつながりに関する活動」に参加しましたか。 (単数回答)

1年間に「人とのつながりに関する活動」に参加したかについてみると、「参加した」が26.4%、「参加していない」が68.2%、「わからない」が5.1%となっています。

年齢別にみると、いずれの年齢においても、「参加していない」が最も多くなっています。

地区別にみると、いずれの地区においても、「参加していない」が最も多くなっています。

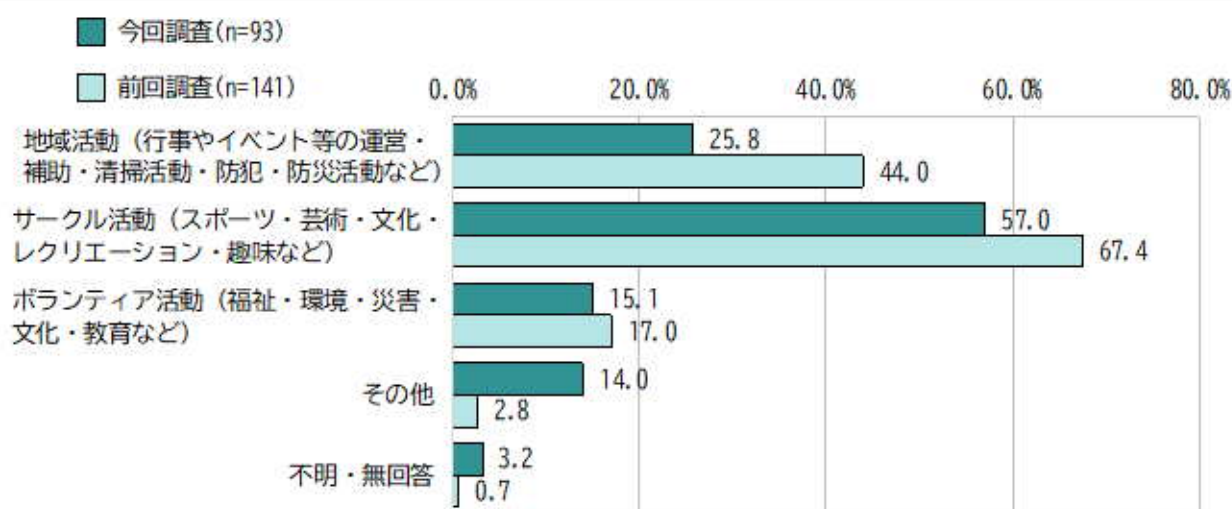


問27で「参加した」と回答した方におたずねします。

問 28 この1年くらいの間に、どのような「人とのつながりに関する活動」に参加しましたか。
(単数回答)

「人とのつながりに関する活動」の内容についてみると、「サークル活動（スポーツ・芸術・文化・レクリエーション・趣味など）」が57.0%と最も多く、次いで「地域活動（行事やイベント等の運営・補助・清掃活動・防犯・防災活動など）」が25.8%、「ボランティア活動（福祉・環境・災害・文化・教育など）」が15.1%となっています。

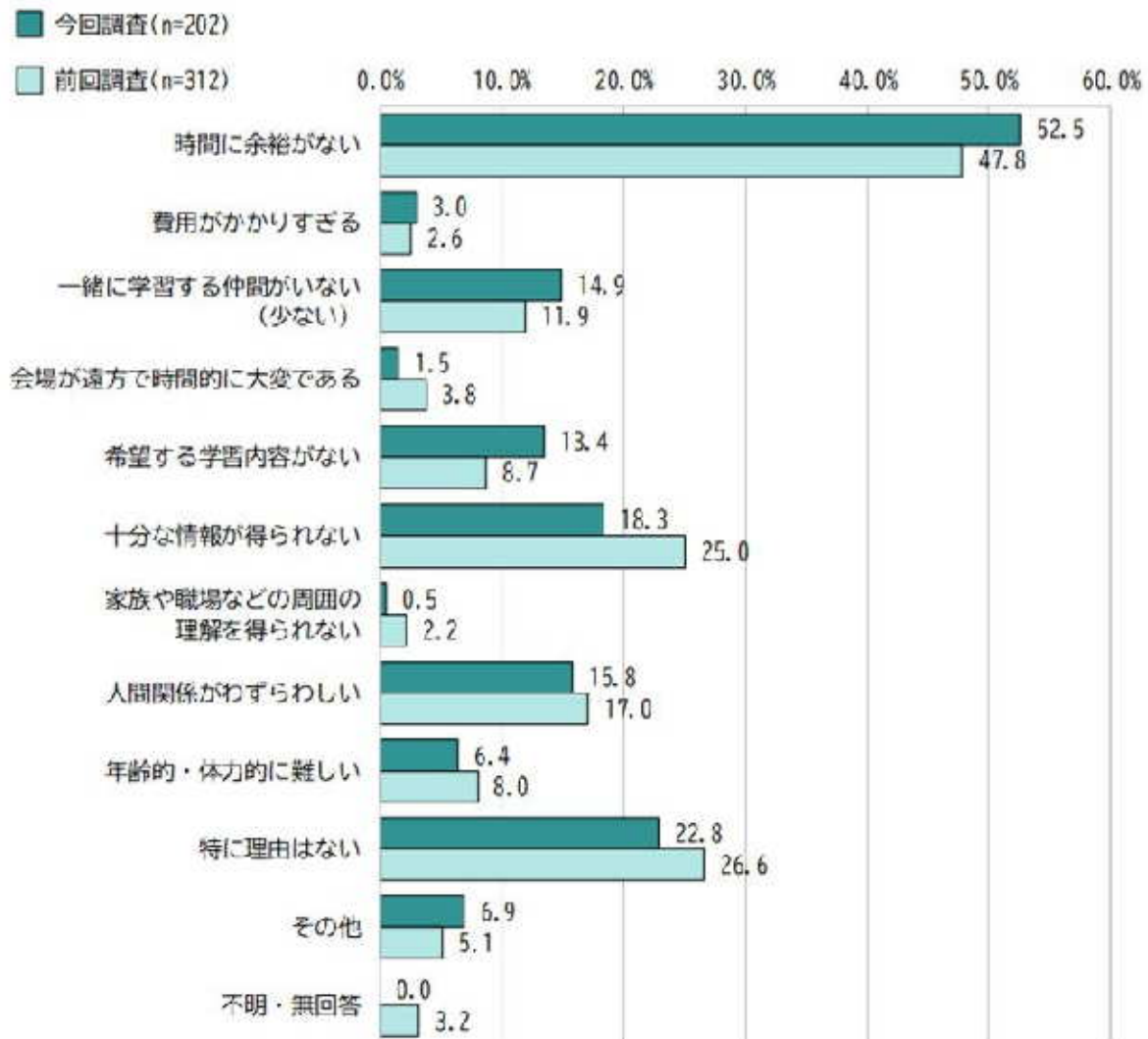
前回調査と比べると、「その他」が増加しており、「地域活動（行事やイベント等の運営・補助・清掃活動・防犯・防災活動など）」「サークル活動（スポーツ・芸術・文化・レクリエーション・趣味など）」が減少しています。



問27で「参加していない」「わからない」と回答した方におたずねします。

問 29 この1年くらいの間に「人とのつながりに関する活動」に参加していない理由は何ですか。
(複数回答)

「人とのつながりに関する活動」に参加していない理由についてみると、「時間に余裕がない」が52.5%と最も多く、次いで「特に理由はない」が22.8%、「十分な情報が得られない」が18.3%となっています。



年齢別にみると、〈17歳〉〈20～29歳〉〈30～39歳〉〈40～49歳〉〈50～59歳〉〈60～69歳〉では、「時間に余裕がない」、〈70～79歳〉では、「年齢・体力的に難しい」「特に理由はない」、〈80歳以上〉では、「年齢・体力的に難しい」が最も多くなっています。また、〈20～29歳〉では、「特に理由はない」が他の年齢に比べて多くなっています。

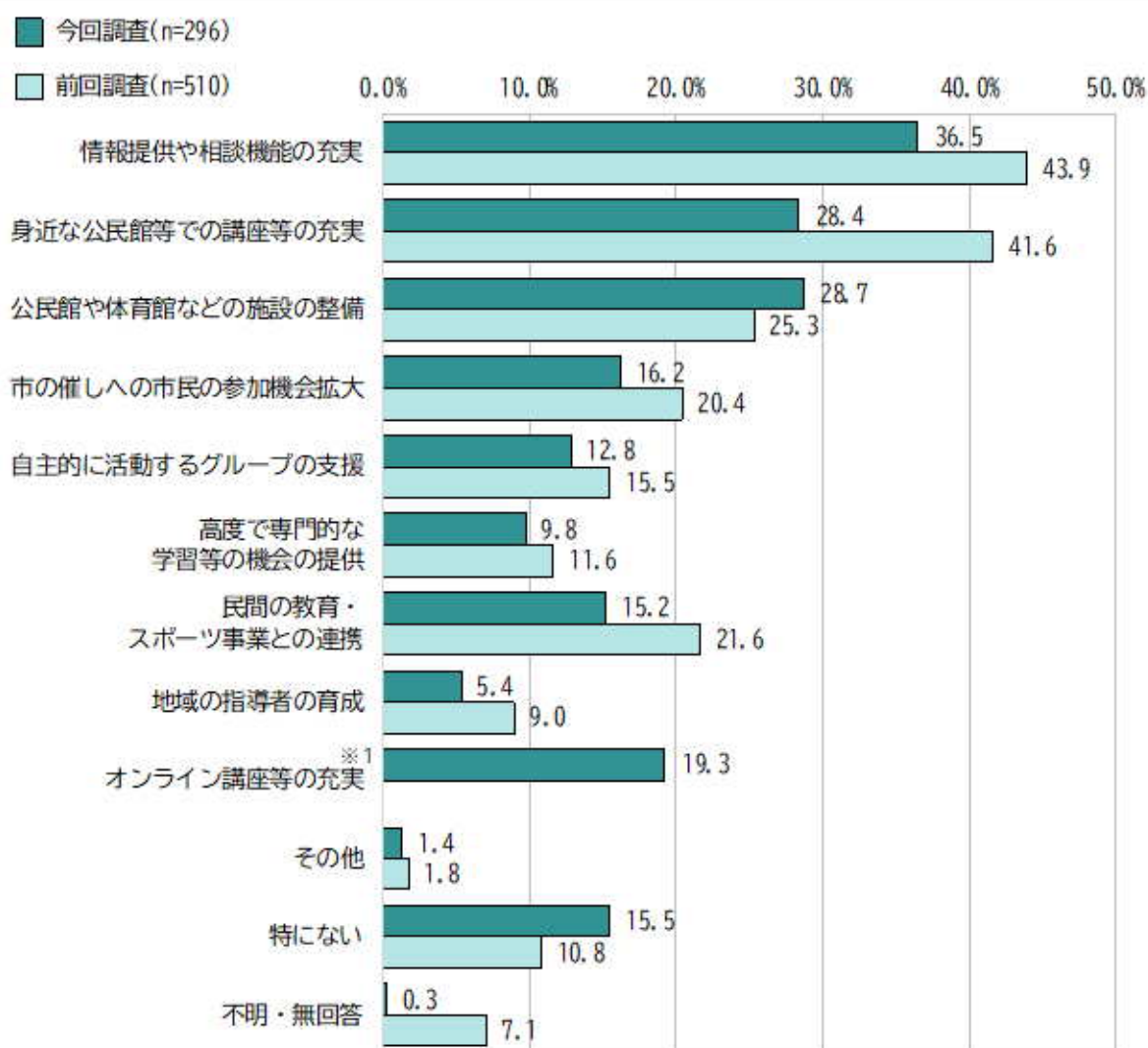
単位：%		時間に余裕がない	費用がかかりすぎる	一緒に学習する仲間がいない（少ない）	会場が遠方で時間的に大変である	希望する学習内容がない	十分な情報が得られない	家族や職場などの周囲の理解を得られない	人間関係がわずらわしい	年齢的・体力的に難しい	特に理由はない	その他	不明・無回答
全体(n=296)		40.9	3.0	13.2	2.0	10.1	14.5	0.3	11.5	5.7	24.0	6.1	12.5
年齢別	17歳 (n=77)	49.4	3.9	18.2	2.6	11.7	16.9	0.0	10.4	1.3	27.3	3.9	7.8
	20～29歳 (n=34)	41.2	2.9	17.6	0.0	11.8	14.7	0.0	8.8	5.9	38.2	8.8	0.0
	30～39歳 (n=37)	48.6	2.7	16.2	5.4	5.4	13.5	2.7	10.8	2.7	21.6	8.1	8.1
	40～49歳 (n=43)	39.5	2.3	11.6	2.3	9.3	20.9	0.0	14.0	0.0	20.9	7.0	9.3
	50～59歳 (n=43)	41.9	7.0	7.0	0.0	11.6	14.0	0.0	11.6	4.7	23.3	7.0	18.6
	60～69歳 (n=36)	41.7	0.0	11.1	0.0	11.1	11.1	0.0	13.9	2.8	16.7	5.6	25.0
	70～79歳 (n=14)	0.0	0.0	7.1	0.0	7.1	7.1	0.0	14.3	21.4	21.4	7.1	35.7
	80歳以上 (n=12)	8.3	0.0	0.0	8.3	8.3	0.0	0.0	8.3	58.3	8.3	0.0	16.7

(9) 市への要望などについて

問 30 朝霞市の生涯学習を充実していくために、市にどのような取り組みを望みますか。
(複数回答)

市の生涯学習を充実していくために、市に望む取り組みについてみると、「情報提供や相談機能の充実」が36.5%と最も多く、次いで「公民館や体育館などの施設の整備」が28.7%、「身近な公民館等での講座等の充実」が28.4%となっています。

前回調査と比べると、「身近な公民館等での講座等の充実」が13.2ポイント減少しています。



※1：今回調査の新規設問

年齢別にみると、〈17歳〉では、「公民館や体育館などの施設の整備」、〈20～29歳〉では、「情報提供や相談機能の充実」「特にない」、〈30～39歳〉〈40～49歳〉〈60～69歳〉では、「情報提供や相談機能の充実」、〈50～59歳〉では、「情報提供や相談機能の充実」「身近な公民館等での講座等の充実」、〈70～79歳〉〈80歳以上〉では、「身近な公民館等での講座等の充実」が最も多くなっています。また、〈60～69歳〉では、「自主的に活動するグループの支援」が他の年齢に比べて多くなっており、〈70～79歳〉では、「情報提供や相談機能の充実」が他の年齢に比べて少なくなっています。

単位：%		情報提供や相談機能の充実	身近な公民館等での講座等の充実	公民館や体育館などの施設の整備	市の催しへの市民の参加機会拡大	自主的に活動するグループの支援	高度で専門的な学習等の機会の提供	市民間の教育・スポーツ事業との連携	地域の指導者の育成	オンライン講座等の充実	その他	特にない	不明・無回答
全体(n=296)		36.5	28.4	28.7	16.2	12.8	9.8	15.2	5.4	19.3	1.4	15.5	0.3
年齢別	17歳 (n=77)	24.7	18.2	41.6	7.8	14.3	10.4	15.6	5.2	7.8	1.3	20.8	0.0
	20～29歳 (n=34)	32.4	8.8	26.5	11.8	11.8	14.7	11.8	2.9	23.5	0.0	32.4	0.0
	30～39歳 (n=37)	51.4	32.4	21.6	21.6	10.8	13.5	13.5	5.4	29.7	2.7	5.4	0.0
	40～49歳 (n=43)	41.9	25.6	34.9	23.3	11.6	7.0	20.9	7.0	23.3	4.7	2.3	0.0
	50～59歳 (n=43)	41.9	41.9	16.3	16.3	9.3	11.6	20.9	0.0	32.6	0.0	9.3	0.0
	60～69歳 (n=36)	52.8	36.1	27.8	19.4	27.8	5.6	11.1	8.3	19.4	0.0	11.1	0.0
	70～79歳 (n=14)	7.1	57.1	7.1	21.4	0.0	0.0	7.1	14.3	0.0	0.0	35.7	7.1
	80歳以上 (n=12)	25.0	41.7	25.0	25.0	0.0	8.3	8.3	8.3	8.3	0.0	25.0	0.0

問 31 最後に、生涯学習活動に関連して市に望むこと、ご意見などがありましたらお聞かせください。

1. 生涯学習全般について (22件)

☆生涯学習をしたいと思うが、市で行っているものは平日ばかりで、土日に休みの人は利用したくてもできません。【女性/60～69歳/会社員】

☆夕方以降でないと参加出来ないのも、オンライン講座や、夕方以降の講座等の選択肢が増えると参加意欲につながります。ご検討お願いします。【女性/40～49歳/会社員】

☆都内でフルタイム勤務をされており、興味のある講座を見かけても平日開催が多いので参加は難しく、土日開催のものがあるといいと思います。地域にももっと知り合いがほしいと思っているのですが、子供もおりませんのでなかなか知り合う機会がありません。【女性/40～49歳/その他】

☆公民館での企画があるが、平日に行われるため興味がある内容でも参加ができません。平日は仕事の方も多く参加が難しいので、できれば土日にしていただけるともっと参加しやすくなるのではないのでしょうか。【女性/50～59歳/パートタイマー】

☆昨今は平日休みの企業が増えてきているにも関わらず、市が開催・紹介しているイベント等が土日に集中している。私も平日休みの企業に務めているので、興味がある講座や催し物があっても参加できない。平日開催の物が増えると嬉しい。【女性/40～49歳/会社員】

☆市が主導となり、もっと生成AIなど新しい取り組みを学ぶ場を設けて欲しい。【男性/50～59歳/会社員】

☆手話の勉強を続けたいが、ある程度のレベルに達しているため通う講座がない。手話通訳を目指す以外に通える講座があると嬉しい。【女性/50～59歳/会社員】

☆子どもと一緒に参加するものや高齢者が対象のものばかりで、私のように中年の独身女性が参加できるものも極端に少ない。【女性/40～49歳/会社員】

☆市の講座は定員があり、人気があるものは倍率2.5倍で半数以上の人が落選で受けれない。週2回や1日2部に増やして継続して受講できるよう要望も出しています。現在開講しているものをニーズに合わせて見直していく体制にして欲しい。【女性/50～59歳/家事専業】

☆コミュニティを作る上で地元の方ばかりではなく新しく入ってくる方々が活動しやすい(入りやすい)ように整備する事は必要かと思えます。また市だけではなく、民間企業やスポーツ事業者の方との連携を強くしていく事も必要かと思えます。【男性/40～49歳/会社員】

☆子育てが終わってからは必要がないので1度も活動などには参加していないのでわかりません。また、フルタイムで仕事をしていると時間がないのと地域の方達との人間関係がとても煩わしいので参加したくありません。プライベートでも付き合わないといけなかったり個人情報が知られるのも良くないと感じています。【女性/60～69歳/会社員】

2. 施設・設備について (14件)

☆図書館分館も本館のように学生が学びやすい雰囲気にしてほしい。狭いのは承知だが、勉強していると冷たい目線で見られる。高齢の方が寝ているよりも学生が勉強した方が座席の使い方としては適切だと思う。Wi-Fiを使えるようにしてくれると図書館で市が開くオンラインの講座とかも受けられるようになると思う。【男性/17歳/学生又は高校生】

☆自分はバスケをしていて、バスケットコートがとても少ないと感じるので、もっとバスケットコートを増やして欲しいです。【男性/17歳/学生又は高校生】

☆生成AI利用に関する費用の補助や、陸上競技場のより利用しやすい時間での開放拡大、高性能な端末購入への補助に対して、視野に入れて検討してほしい。【男性/17歳/学生又は高校生】

☆無償で学習ができるような施設（スペース）をもっと増やしてほしい【女性/17歳/学生又は高校生】

☆自習室や学生が気軽にサークル活動や文化活動を行える施設が少ないように感じる。児童館や公民館をもっと気軽に利用できるように解放してほしい。【男性/17歳/学生又は高校生】

☆町内会館を公民館と同じ様に使用出来たらと思います。黒板とかもあったらいいと思う。調理実習が近くにあったら、田島には近くには内間木公民館があります、利用したいと思います。【女性/80歳以上/無職】

☆自主学习できる場所がもっと欲しい。社会人が勉強できる場所が有料でもいいので提供されると嬉しい。【男性/40～49歳/会社員】

☆図書館で専門的な知識を得られる本などが増えると嬉しいです。個人的なことですが、例えばプログラミング言語を活用できるUnityというゲームを作れるツールを学習できる本など、子供たちにとって「こんな世界もあるんだ。やってみよう、やりたい」など夢を育むことも大切だと思います。私は子供のころにもっと図書館に通っていればよかったと最近思いました。そんな時、色々な選択肢があると未来が広がります。【男性/20～29歳/無職】

☆趣味を活かしてお菓子販売や曜日別で気軽にカフェやランチができるレンタルキッチン付きの施設を作って、地域の高齢者や子育てママ達が気軽に集えるコミュニティを活性化させてほしい。【女性/40～49歳/会社員】

☆学習できる場所を増やして欲しい。または現在の図書館などの学習できる場所を効率的に運用できる仕組みにして欲しい。【男性/40～49歳/会社員】

☆図書館が少し古い感じがします。自習スペースを増やしたり、蔵書以外にも魅力的な設備が欲しいと思う。（VR試聴とか？）【女性/40～49歳/家事専業】

3. 情報発信について（6件）

☆情報提供をもっと伝えて欲しい【女性/17歳/学生又は高校生】

☆市の生涯学習活動をよく知らない。学校や職場での周知や、SNSなどを活用してもよいのでは。【男性/17歳/学生又は高校生】

☆ボランティア活動の実施日や場所をオンラインなどで確認できるツールなどがあると参加しやすいと思います。【男性/20～29歳/無職】

☆『広報あさか』で惹かれた催し・講座は二次元コードから詳細にとんでみたりしますが、ここで得られる情報がもう少し詳しく魅力的だと良いと思います。【女性/50～59歳/家事専業】

☆また、これは生涯学習の中で、朝霞市のマスコットキャラクターのぼぼたんの魅力を発信していくような活動があったら参加したいです。他のゆるキャラに比べてグッズも少ないし、SNSでの発信も少ないので、増やして行って、アニメーションなども作成してもっとキャラを確立すればファンは増えると思います。ぼぼたんの存在をもっと売り出すことは朝霞の発展において、かなり近道だと思い、今のままでは勿体無いと思います。ご検討よろしく願います。【女性/30～39歳/会社員】

4. 高齢社会における生涯学習について（3件）

☆ボケ防止の為にマージャン教室を開催してほしい。【女性/60～69歳/無職】

☆現在介護施設に入居中で何も参加出来ません。【女性/80歳以上/無職】

5. 子育て中の生涯学習について（2件）

☆兄弟が多い世代が多いので、できれば未就園児から参加できるスポーツイベントなどがあると嬉しいです。【女性/30～39歳/パートタイマー】

☆小さい子供がいると、どうしても行動が制限されてしまう。自分の時間がとれなかったり、預けられる場所がないから参加できないことも多々ある。生涯学習をする上で、気軽に子供を預けられる場所がほしい。収入に余裕があるわけではないので、手の届く価格での預け先、学習先があると良い。【女性/30～39歳/家事専業】

6. 児童・生徒の生涯学習について（4件）

☆子どもの教育において、家庭が担う役割で重要なこととはという質問は2つまでしか選択できませんでしたが、個人的には選択肢のうちに重要でないものなどないと思います。【女性/17歳/学生又は高校生】

☆また、生涯学習、学校教育関わらず何かを学ぶことは個人のやる気次第でしかないので、何かをやりたいと思えた人が我慢せず行動できるようにサークル等の間口は多いに越したことはないと思います。ですが、上記の通り個人でやる気を出した人はしがらみがあっても強引に行動に移すので、本気でやりたい人にサポートなんてほとんどいらなないと思います。といっても、それは自分である程度自由にできるお金があったり、環境が整っている場合に限ったことなので、そういったものに恵まれない子どもたちが興味のある事を始めるきっかけを作れたらいいなと思います。【女性/17歳/学生又は高校生】

☆学生の海外留学への支援を充実させてほしいです。学生で海外留学したいけど費用がなくできない人が多いと思うからです。さいたま市などではそのような支援が充実していいなと思いました。国際系に進みたい人が私の周りにも多いのでぜひ検討していただきたいです。【女性/17歳/学生又は高校生】

☆家庭環境によって、学習する機会が得られないお子様も居るので、地域の子供達に学習する機会を均等に提供出来る体制を作ってもらいたいです。居場所作りだけではなく、その先の将来に繋がるスキルを身につける事が出来る場所があればと思います。衣食住を満たすだけではなく、心の成長や学習する事の喜びや学び方を教えてあげられたら良いと思います。私個人としては、教員免許も取得しながら、活用出来ていないので、地域のお子様の学習サポートが出来る場所があれば、お手伝いしたいと思っています。今後は地域の皆様に自分が出来る事をし、少しでもお役に立てればと考えておりますし、そうする事で、新たな学びを得たいと思っています。【女性/50～59歳/公務員】

7. 学習活動の参加支援について（2件）

☆一つ希望することは宮戸地区は中心から離れ遠い。参加したくとも宮戸地区での催しが少ない。特に北朝霞公民館はすべて狭くて使用しにくい。市の中心だけの行事だけでなく市民参加しやすい身近な場所を望む。【女性/80歳以上/その他】

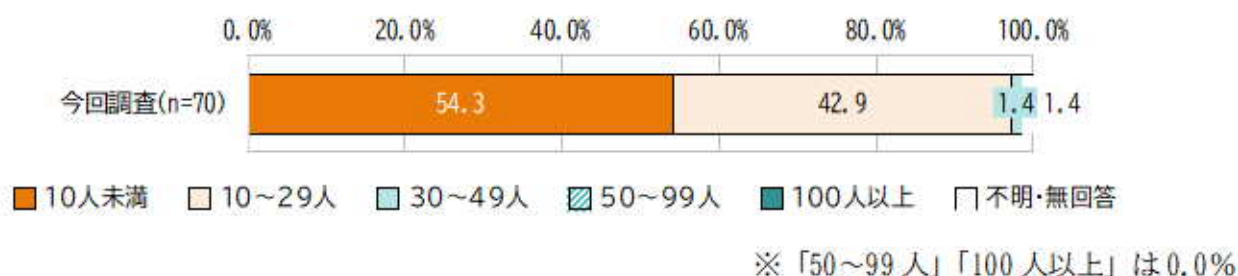
☆博物館・産業文化センター・旧高橋家住宅などでの講座は、魅力的と感じますが。ただ、自身は目が悪く自家用車や自転車を使えないため、交通アクセスの点で二の足を踏んでしまっています。幸町からだと駅に出て乗り換えて…が多いので。黒目川清掃活動などのボランティア活動も同じく。この壁がもう少し低ければと思います。【女性/50～59歳/家事専業】

第4章 生涯学習団体調査の結果

(1) 日ごろの活動について

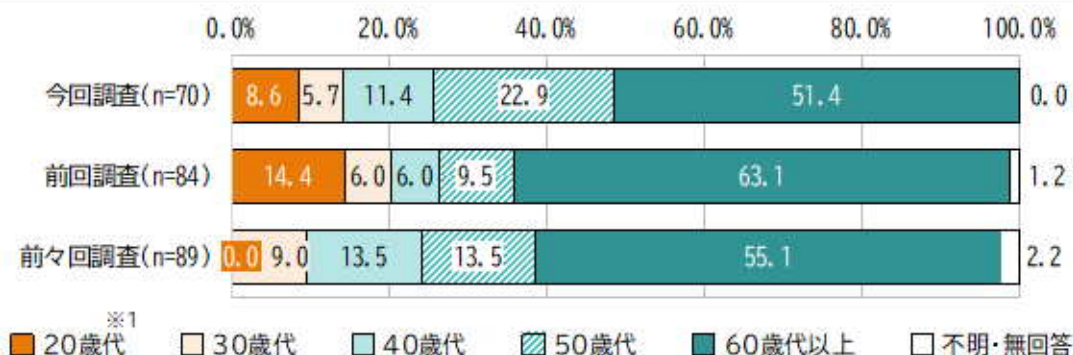
問1 1回の活動に参加される平均の人数はどのくらいですか。 (単数回答)

1回の活動に参加する平均の人数についてみると、「10人未満」が54.3%と最も多く、次いで「10～29人」が42.9%、「30～49人」が1.4%となっています。



問2 会員の平均年齢はいくつですか。 (単数回答)

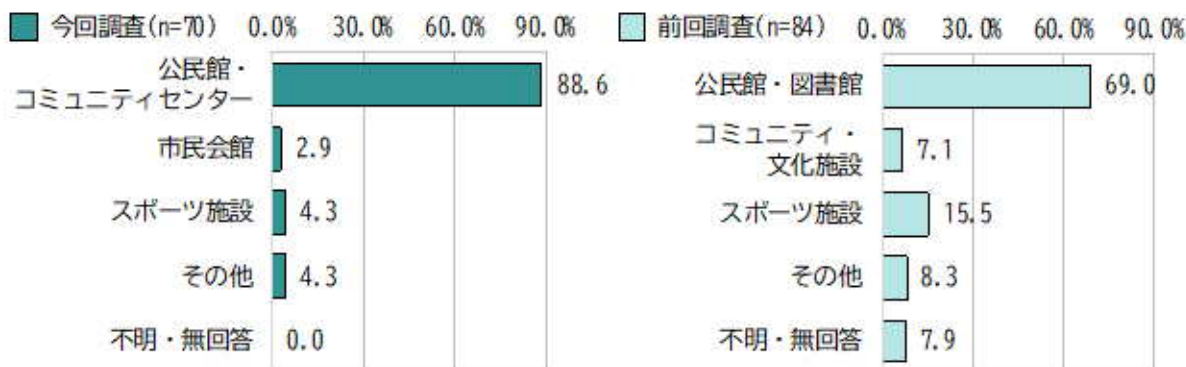
会員の平均年齢についてみると、「60歳代以上」が51.4%と最も多く、次いで「50歳代」が22.9%、「40歳代」が11.4%となっています。



※1：前回調査は「10歳未満」「10歳代」「20歳代」の合算

問3 日ごろ利用している主な施設はどれですか。 (単数回答)

日ごろ利用している主な施設についてみると、「公民館・コミュニティセンター」が88.6%と最も多く、次いで「スポーツ施設」「その他」が4.3%、「市民会館」が2.9%となっています。



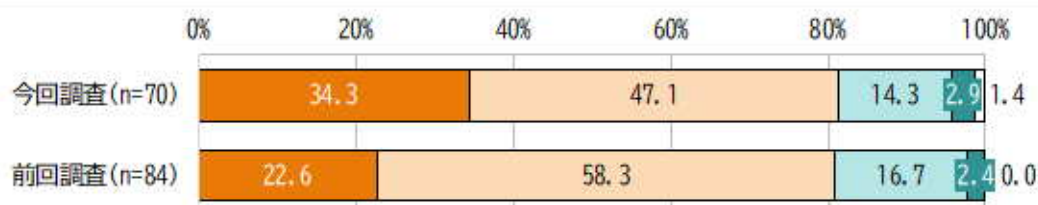
※ 「図書館」「市民センター」「個人宅」は0.0%

問4 よく利用する施設や設備の満足度はどのくらいですか。

(単数回答)

よく利用する施設や設備の満足度についてみると、「おおむね満足している」が47.1%と最も多く、次いで「非常に満足している」が34.3%、「やや不満である」が14.3%となっています。また、「非常に満足している」と「おおむね満足している」を合わせた『満足している』は81.4%となっています。

前回調査と比べると、「非常に満足している」が11.7ポイント増加しており、「おおむね満足している」が11.2ポイント減少しています。



■ 非常に満足している □ おおむね満足している □ やや不満である ■ 非常に不満である □ 不明・無回答

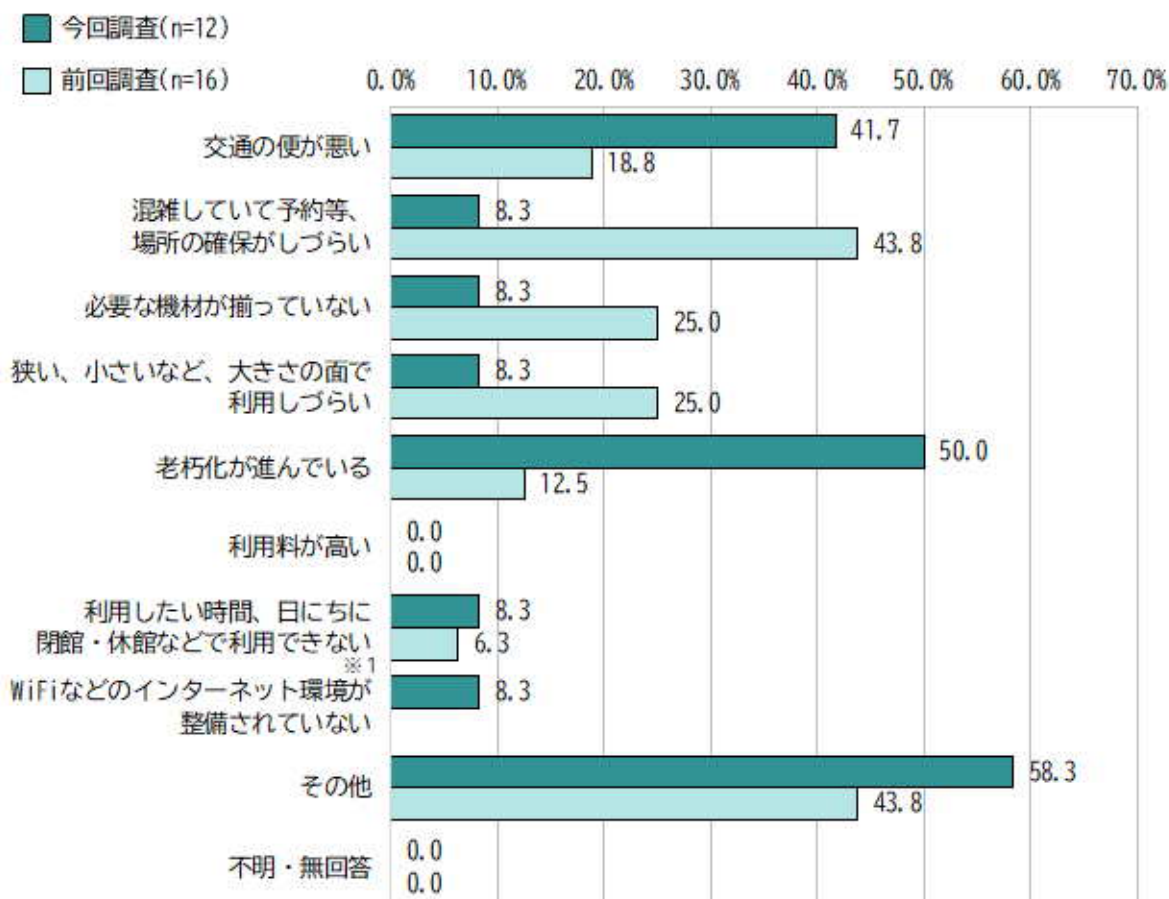
問4で「やや不満である」「非常に不満である」と回答した団体におたずねします。

問5 施設や設備に不満を感じる理由はなんですか。

(複数回答)

施設や設備に不満を感じる理由についてみると、「その他」が58.3%と最も多く、次いで「老朽化が進んでいる」が50.0%、「交通の便が悪い」が41.7%となっています。

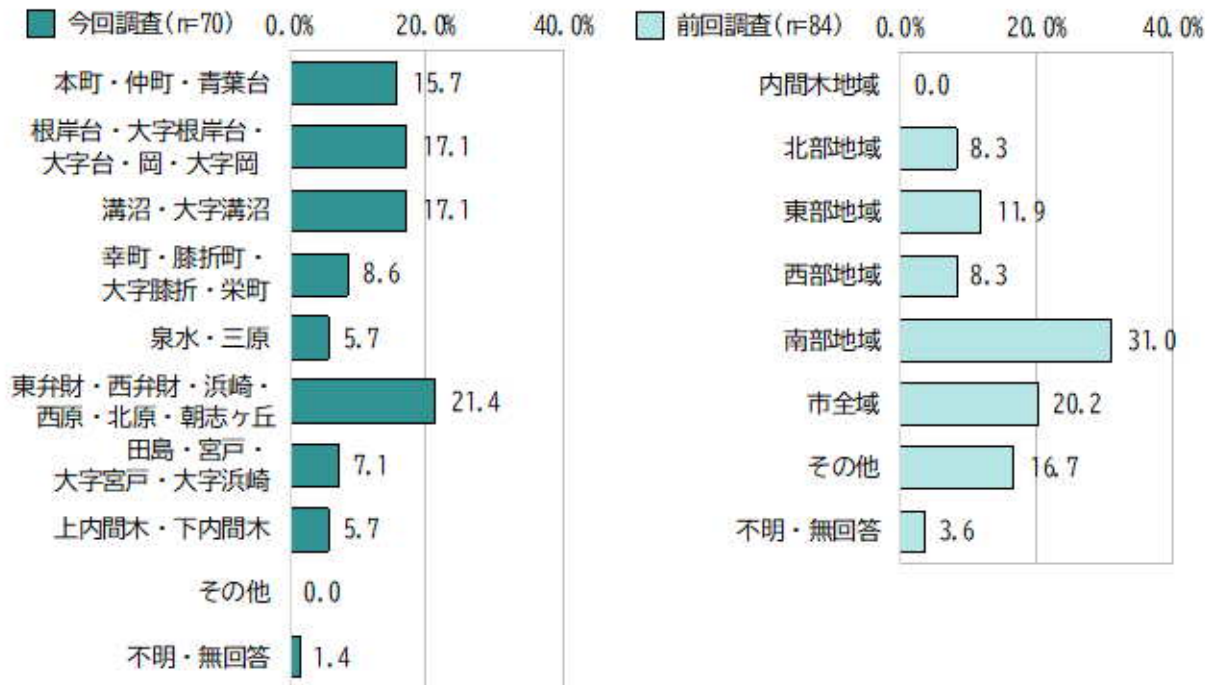
前回調査と比べると、「交通の便が悪い」「老朽化が進んでいる」「その他」が増加しており、「混雑していて予約等、場所の確保がしづらい」「必要な機材が揃っていない」「狭い、小さいなど、大きさの面で利用しづらい」が減少しています。



問6 日ごろ活動されている主な地域はどこですか。

(単数回答)

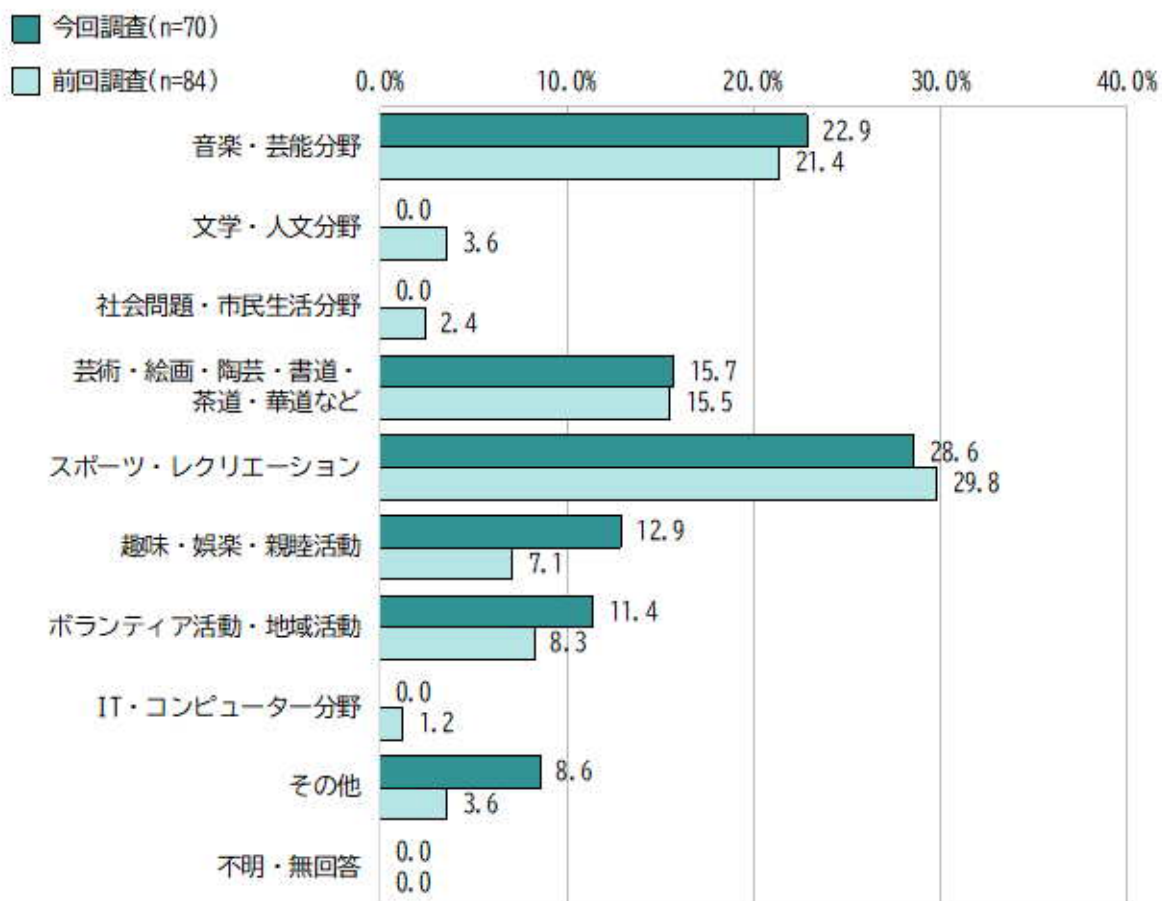
日ごろ活動している主な地域についてみると、「東弁財・西弁財・浜崎・西原・北原・朝志ヶ丘」が21.4%と最も多く、次いで「根岸台・大字根岸台・大字台・岡・大字岡」「溝沼・大字溝沼」が17.1%、「本町・仲町・青葉台」が15.7%となっています。



問7 主な活動の分野はどれですか。

(単数回答)

主な活動の分野についてみると、「スポーツ・レクリエーション」が28.6%と最も多く、次いで「音楽・芸能分野（コーラス・器楽演奏・舞踊・演劇など）」が22.9%、「芸術・絵画・陶芸・書道・茶道・華道など」が15.7%となっています。

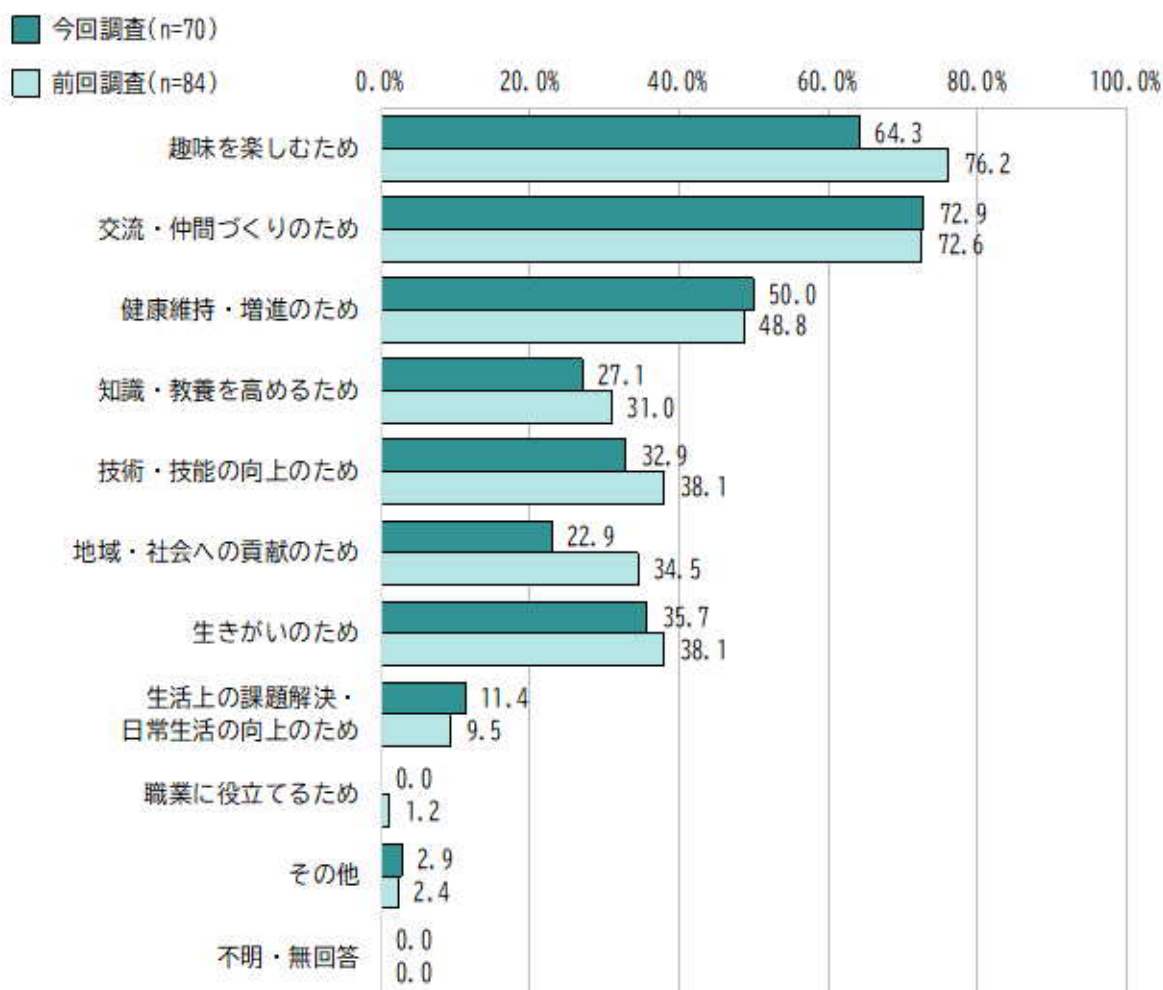


問8 活動の目的はなんですか。

(複数回答)

活動の目的についてみると、「交流・仲間づくりのため」が72.9%と最も多く、次いで「趣味を楽しむため」が64.3%、「健康維持・増進のため」が50.0%となっています。

前回調査と比べると、「趣味を楽しむため」「地域・社会への貢献のため」が減少しています。



問9 主な活動時間はいつですか。

(単数回答)

主な活動時間についてみると、「午前」が40.0%と最も多く、次いで「午後」が35.7%、「夜間」が14.3%となっています。



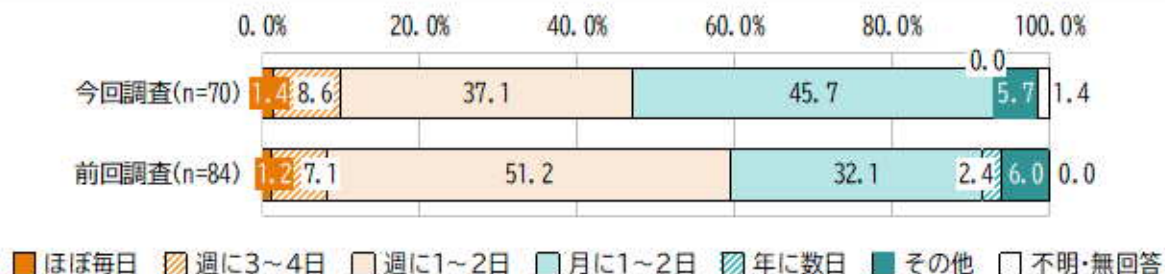
※1：前回調査はなし

問 10 活動頻度はどのくらいですか。

(単数回答)

活動頻度についてみると、「月に1～2日」が45.7%と最も多く、次いで「週に1～2日」が37.1%、「週に3～4日」が8.6%となっています。

前回調査と比べると、「月に1～2日」が13.6ポイント増加しており、「週に1～2日」が14.1ポイント減少しています。

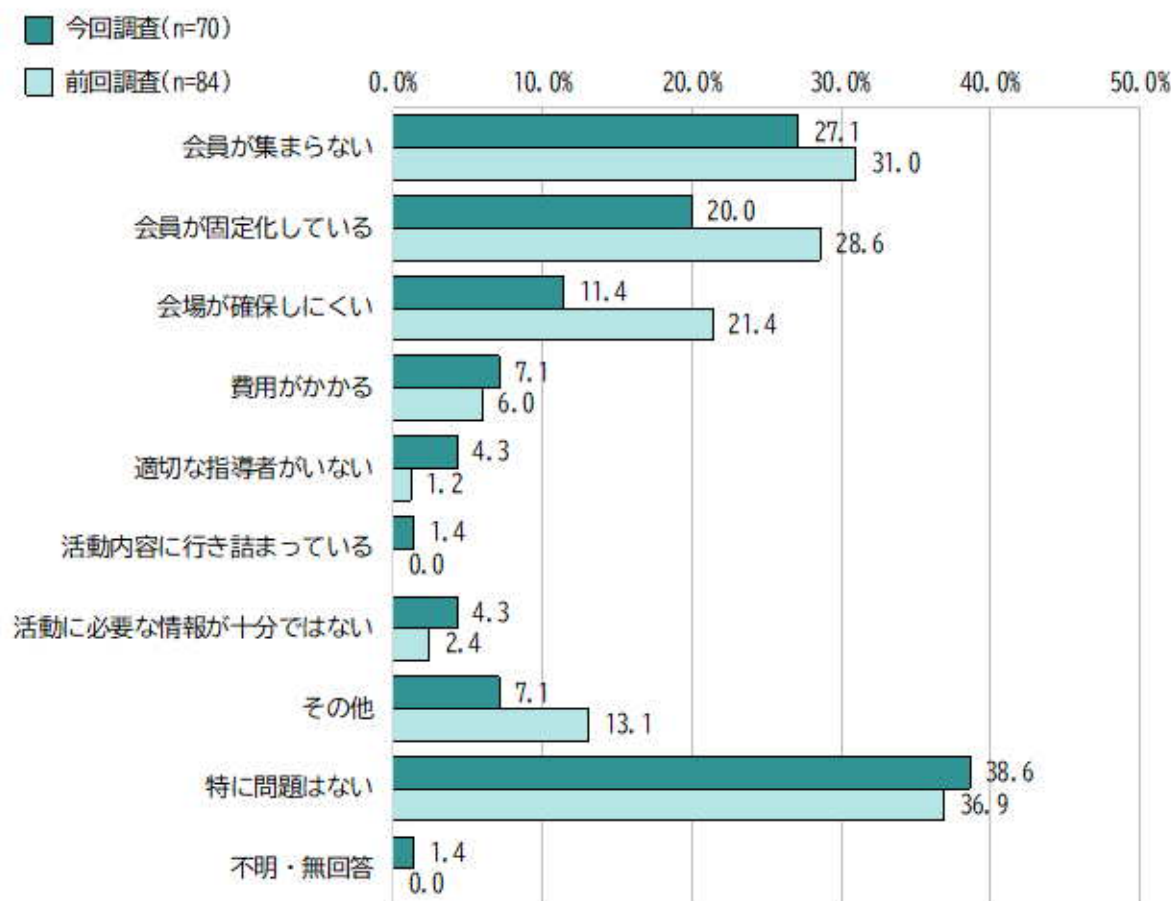


問 11 活動における課題はなんですか。

(複数回答)

活動における課題についてみると、「特に問題はない」が38.6%と最も多く、次いで「会員が集まらない」が27.1%、「会員が固定化している」が20.0%となっています。

前回調査と比べると、「会場が確保しにくい」が10.0ポイント減少しています。



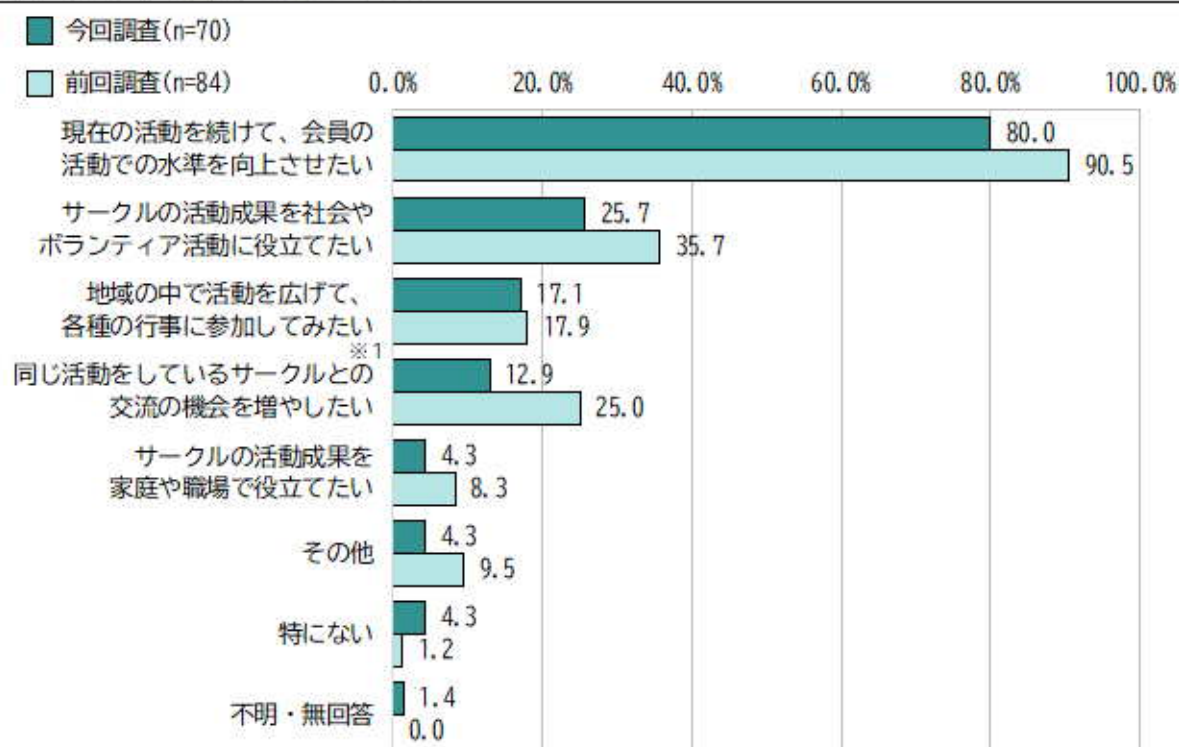
(2) 今後の活動について

問 12 今後の活動の進め方についてはどのようにお考えですか。

(複数回答)

今後の活動の進め方についてみると、「現在の活動を続けて、会員の活動での水準を向上させたい」が80.0%と最も多く、次いで「サークルの活動成果を社会やボランティア活動に役立てたい」が25.7%、「地域の中で活動を広げて、各種の行事に参加してみたい」が17.1%となっています。

前回調査と比べると、「現在の活動を続けて、会員の活動での水準を向上させたい」「サークルの活動成果を社会やボランティア活動に役立てたい」「同じ活動をしているサークルとの交流の機会を増やしたい」が減少しています。



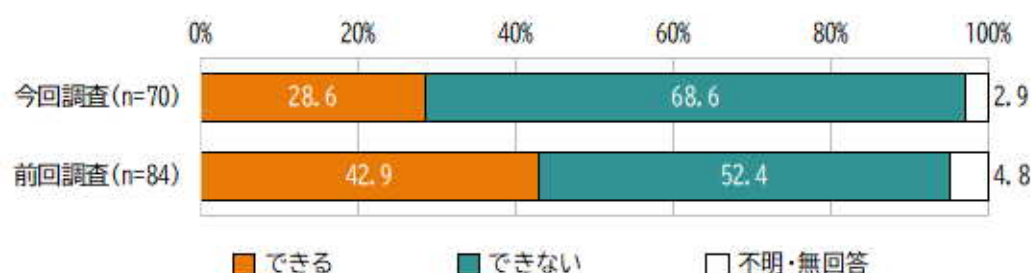
※1：前回調査は「同じ活動をしている団体・サークルとの交流の機会を増やしたい」

問 13 貴団体から市の生涯学習事業に講師を派遣することは可能ですか。

(単数回答)

市の生涯学習事業に講師を派遣することについてみると、「できる」が28.6%、「できない」が68.6%となっています。

前回調査と比べると、「できる」が14.3ポイント減少しています。



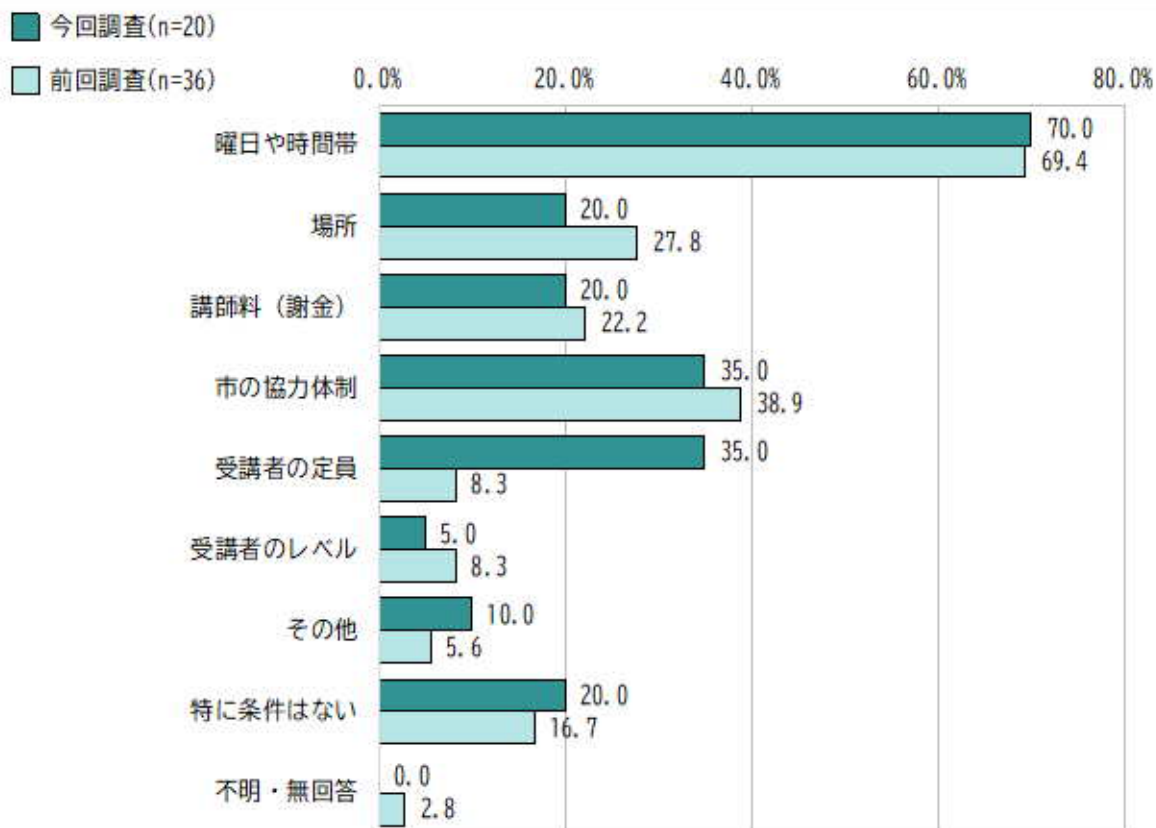
問13で「できる」と回答した団体におたずねします。

問 14 講師を派遣する場合、特に配慮してほしい条件はなんですか。

(複数回答)

講師を派遣する場合、特に配慮してほしい条件についてみると、「曜日や時間帯」が70.0%と最も多く、次いで「市の協力体制」「受講者の定員」が35.0%、「場所」「講師料(謝金)」「特に条件はない」が20.0%となっています。

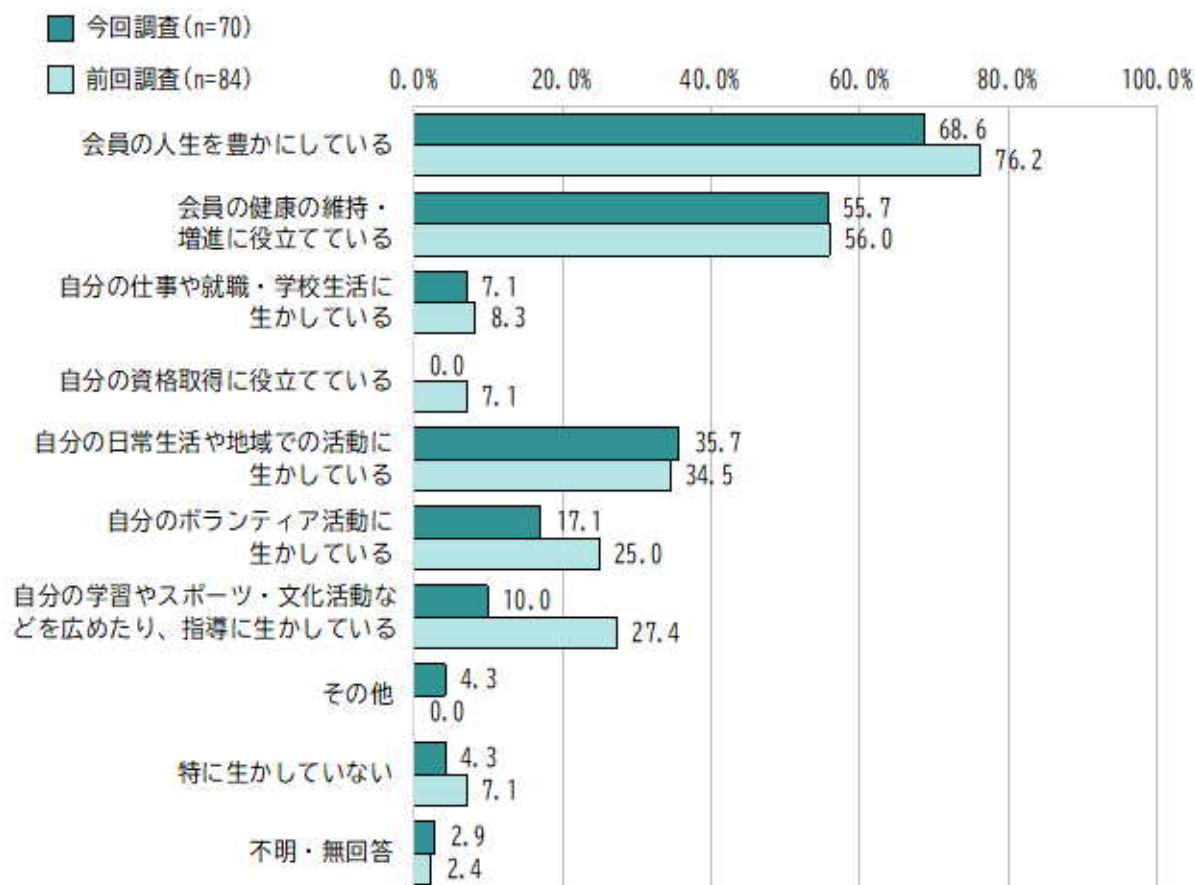
前回調査と比べると、「受講者の定員」が26.7ポイント増加しています。



問 15 生涯学習で身につけたことや活動成果はどのように生かしていますか。 (複数回答)

生涯学習で身につけたことや活動成果をどのように生かしているかについてみると、「会員の人生を豊かにしている」が68.6%と最も多く、次いで「会員の健康の維持・増進に役立っている」が55.7%、「自分の日常生活や地域での活動に生かしている」が35.7%となっています。

前回調査と比べると、「自分の学習やスポーツ・文化活動などを広めたり、指導に生かしている」が17.4ポイント減少しています。



問 16 最後に、生涯学習活動に関連して市に望むこと、ご意見などがありましたらお聞かせください。

1. 生涯学習全般について (13件)

☆障害者の地域参加において、一般市民との相互理解にはまだ大きな距離があると感じます。現状、市民の方から「障害者はかわいそうだから支援すべき」「特別だから融通しなくては」といった意識が見受けられます。支援の必要性は認めつつも、もっとフラットに一市民として自然に受け入れられる関係性が理想です。また、そこにはご家庭の意識改革も必要です。例えば、市内障害者施設で働く人材を地域と障害者の間に立つ「橋渡し役」として活用すること、現場を熟知した職員がコーディネーターとなることでよりスムーズな交流が可能になるのではと思います。また、障害者施設の横のつながりを強化することはもっと必要と思います。例えば参加施設による合同実行委員会を設立し、施設対抗スポーツ大会や芸術作品展、音楽発表会などを企画してはどうでしょうか。施設の枠を超え企画段階から共に創り上げる活動を通じて各施設も支援のあり方や地域参加のあり方を考える機会になるのではと思います。

☆公民館を利用する子どもが以前に比べ大幅に減りました。その為、活動を見学に来る事が無く小学生の会員が増えません。何か子ども達を呼び込む魅力のあるコンテンツがあるといいなあと思います。

☆施設を利用しているのは高齢者や児童が多く、どんどん辞めていくサークルが多く、もう少し足の便が良ければと願う。

☆活動における課題として、高齢化が進み、意思疎通ができない人もいる。

☆どの会も高齢化で人が少なくなっている増員する為の計画をたてているが、なかなか難しい。

☆今後はフレイル対策等にも講座があるとよいと思います。

☆小中学生対象で、生け花を教えています。朝霞市内の小中学生に是非伝統文化（茶道や着付け等含む）を体験できる機会を設けて欲しいです。朝霞の学校だから伝統文化を体験出来るになると良いなと思います。

2. 施設・設備について (13件)

☆高齢の会員も増え施設にエレベーターがないことが、活動の妨げとなっている。多目的トイレもない公共施設がありそこから整備してほしい。

☆高齢化にともない施設の改築。特にエレベーターの設置を希望します。

☆複数のサークルで公民館などを利用していますが、なかなか活動日が取れません。施設を増やして欲しいです。

☆ダンス、舞踊はある程度広い場所が必要なのだが鏡等が足りない。

☆ミニテニスを楽しくさせて頂いてとても感謝しております。東公民館だけはネットの具合が悪すぎて、鉄に当たり怪我人がいつか出るのではないかと危惧しています。

3. 情報発信について (4件)

☆教育委員会と市役所各課との連携がもっと見える様になるといいと思います。広報でのPRの際、公共施設以外を会場にすると掲載が難しいということもなく、広く取り上げてほしい。

☆生涯学習活動の市民へのアピール。

☆市民伝言板について、掲載が途中の行で終わり、上の行で始まるような事はわかりにくいのでいかがなものでしょうか。余白があったのに残念です。

☆幅広い分野の活動を広く知らせてほしい。

第5章 事業所調査の結果

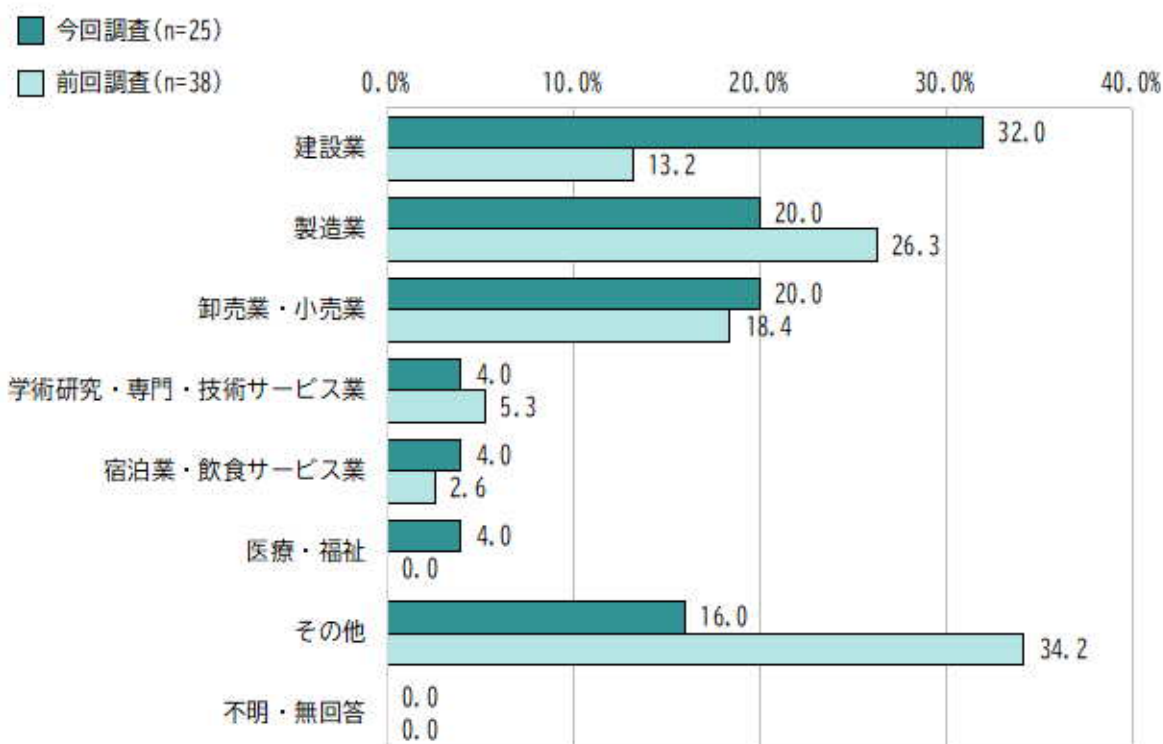
(1) 事業所について

問1 業種をお答えください。

(単数回答)

業種についてみると、「建設業」が32.0%と最も多く、次いで「製造業」「卸売業・小売業」が20.0%、「その他」が16.0%となっています。

前回調査と比べると、「建設業」が18.8ポイント増加しており、「その他」が18.2ポイント減少しています。

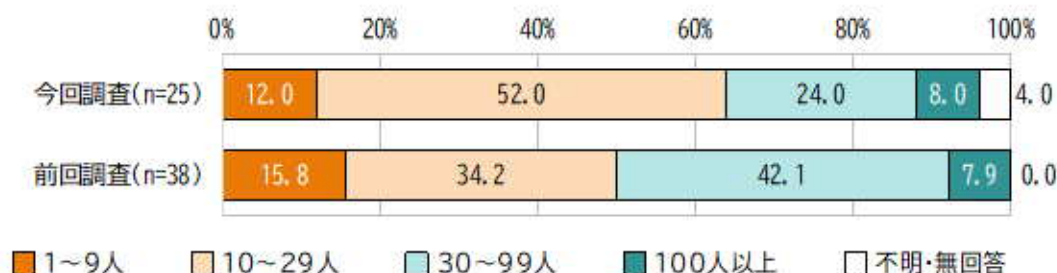


問2 従業員規模をお答えください。

(単数回答)

従業員規模についてみると、「10～29人」が52.0%と最も多く、次いで「30～99人」が24.0%、「1～9人」が12.0%となっています。

前回調査と比べると、「10～29人」が17.8ポイント増加しており、「30～99人」が18.1ポイント減少しています。

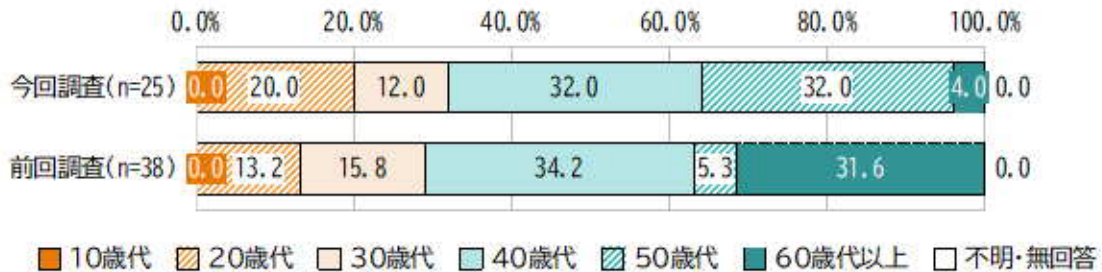


問3 従業員の年齢で、最も多い世代は何歳代ですか。

(単数回答)

最も多い従業員の世代についてみると、「40歳代」「50歳代」が32.0%と最も多く、次いで「20歳代」が20.0%となっています。

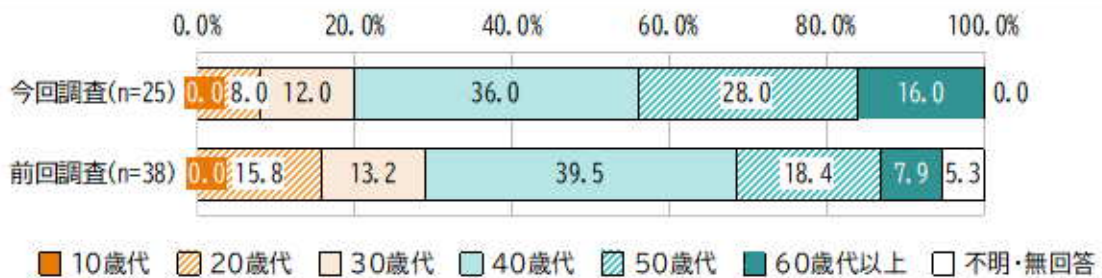
前回調査と比べると、「50歳代」が26.7ポイント増加しており、「60歳代」が27.6ポイント減少しています。



問4 従業員の年齢で、2番目に多い世代は何歳代ですか。

(単数回答)

2番目に多い従業員の世代についてみると、「40歳代」が36.0%と最も多く、次いで「50歳代」が28.0%、「60歳代以上」が16.0%となっています。

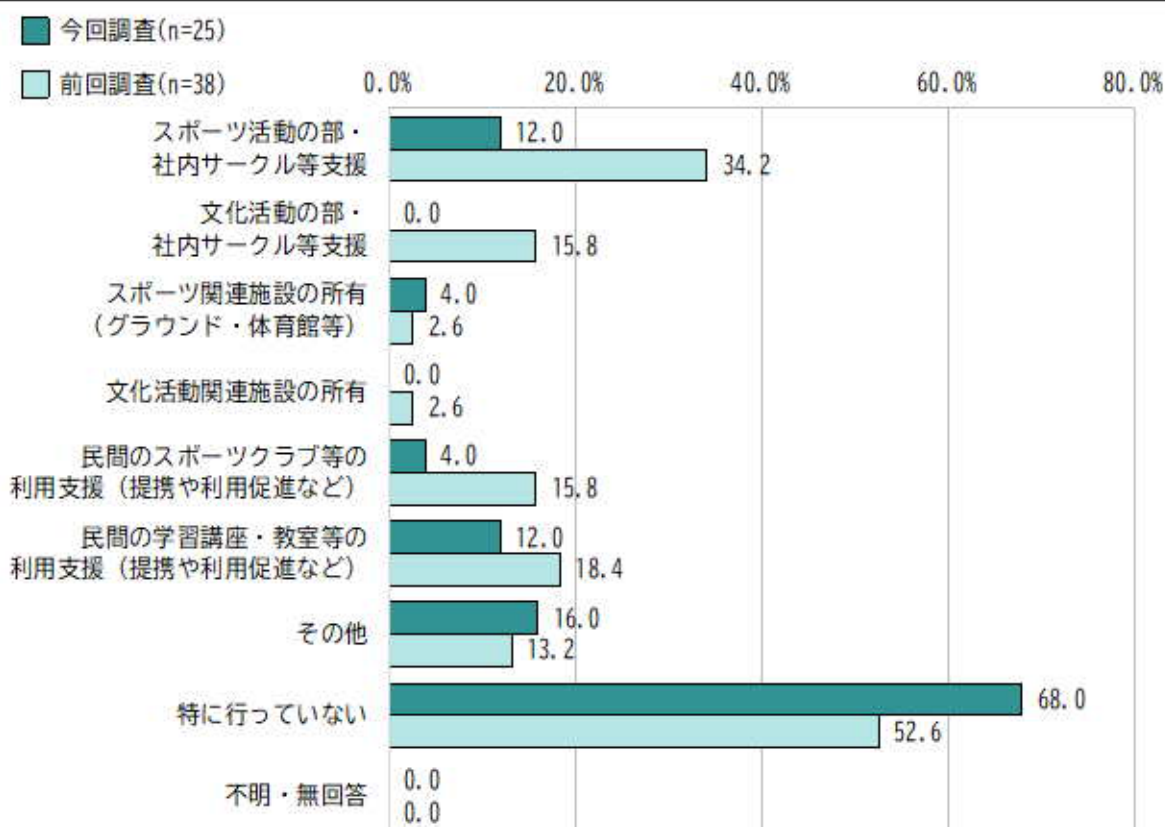


(2) 事業所における生涯学習活動の状況等について

問5 福利厚生・余暇対策等で、次のような取り組みを行っていますか。 (複数回答)

福利厚生・余暇対策等で行っている取り組みについてみると、「特に行っていない」が68.0%と最も多く、次いで「その他」が16.0%、「スポーツ活動の部、社内サークル等支援」が12.0%となっています。

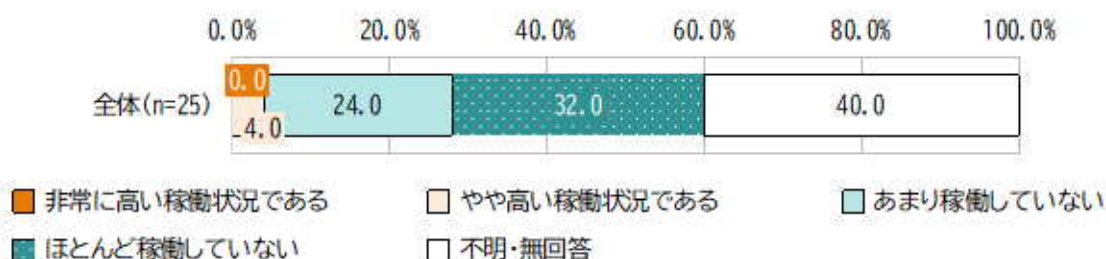
前回調査と比べると、「特に行っていない」が15.4ポイント増加しており、「スポーツ活動の部・社内サークル等支援」「文化活動の部・社内サークル等支援」「民間のスポーツクラブ等の利用支援（提携や利用促進など）」が減少しています。



問6と問7は、福利厚生・余暇対策としての設備を所有している事業所におたずねします。(※)

問6 所有している施設や設備の稼働状況はどうか。 (単数回答)

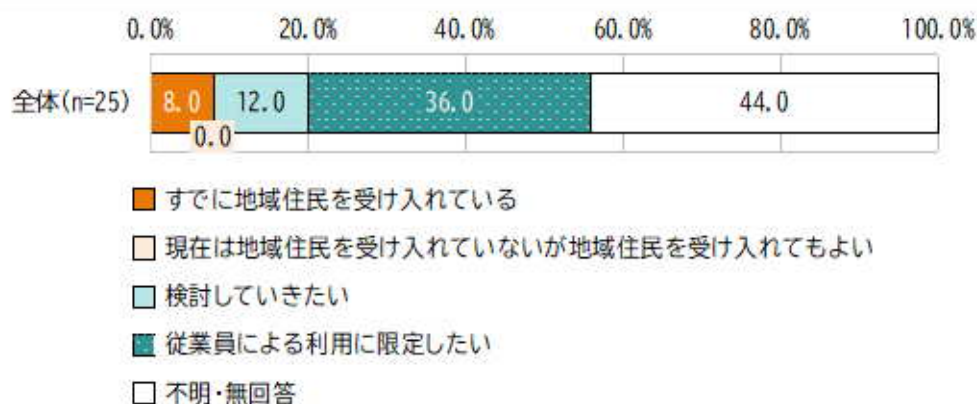
所有している施設や設備の稼働状況についてみると、「ほとんど稼働していない」が32.0%と最も多く、次いで「あまり稼働していない」が24.0%、「やや高い稼働状況である」が4.0%となっています。



※集計の都合上、設備を所有していないと思われる事業所も含めて掲載しています。

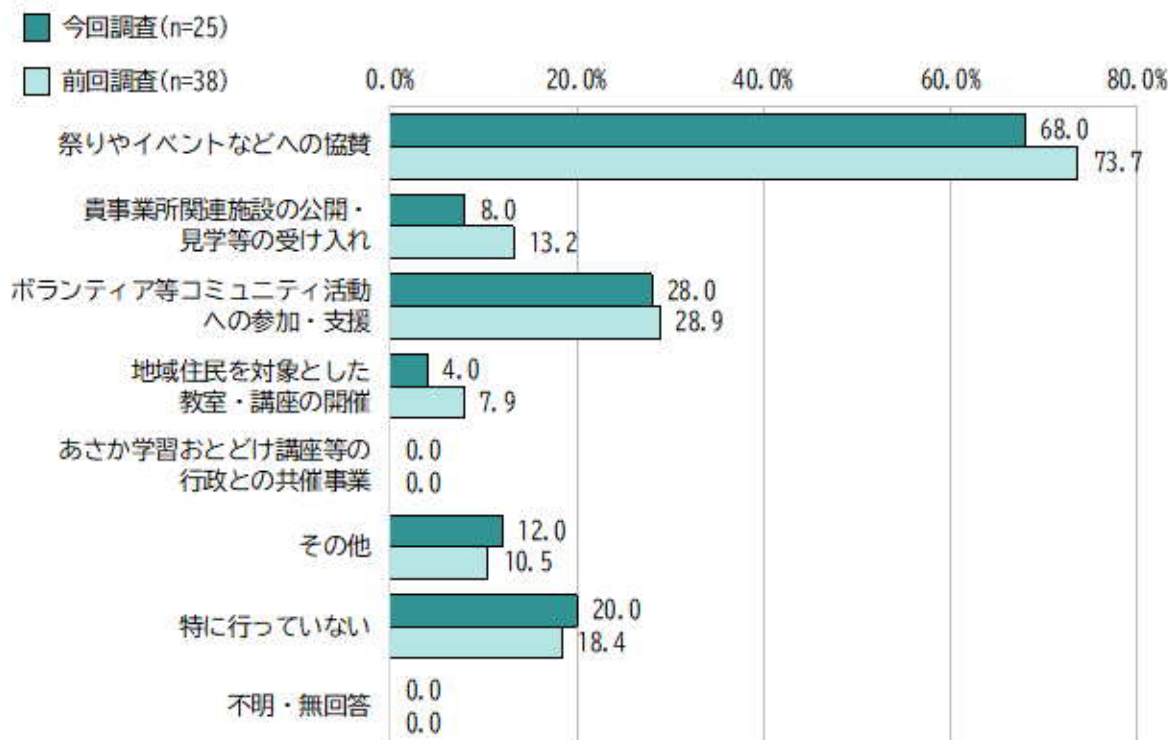
問7 所有する各種施設や設備を地域へ開放することについて、どうお考えですか。（単数回答）

所有する各種施設や設備を地域へ開放することへの考えについてみると、「従業員による利用に限定したい」が36.0%と最も多く、次いで「検討していきたい」が12.0%、「すでに地域住民を受け入れている」が8.0%となっています。



問8 所在地域とのつながりとして、どのような取り組みを行っていますか。（複数回答）

所在する地域とのつながりについてみると、「祭りやイベントなどへの協賛」が68.0%と最も多く、次いで「ボランティア等コミュニティ活動への参加・支援」が28.0%、「特に行っていない」が20.0%となっています。

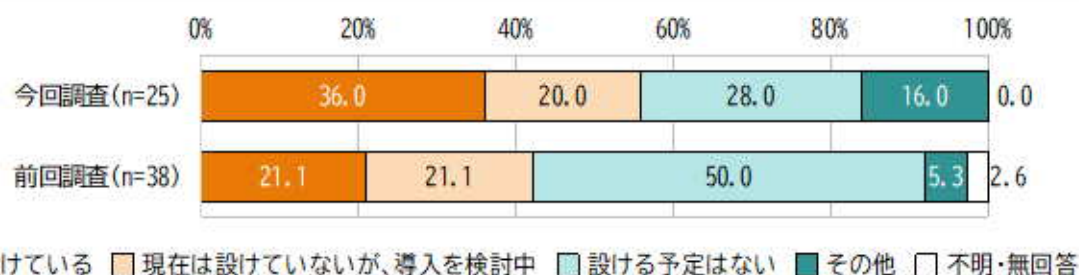


(3) 従業員と生涯学習活動について

問9 従業員が資格取得など、職業能力の開発のために休暇を取得できる制度を設けていますか。
(単数回答)

従業員の職業能力の開発のために休暇を取得できる制度を設けているかについてみると、「設けている」が36.0%と最も多く、次いで「設ける予定はない」が28.0%、「現在は設けていないが、導入を検討中」が20.0%となっています。

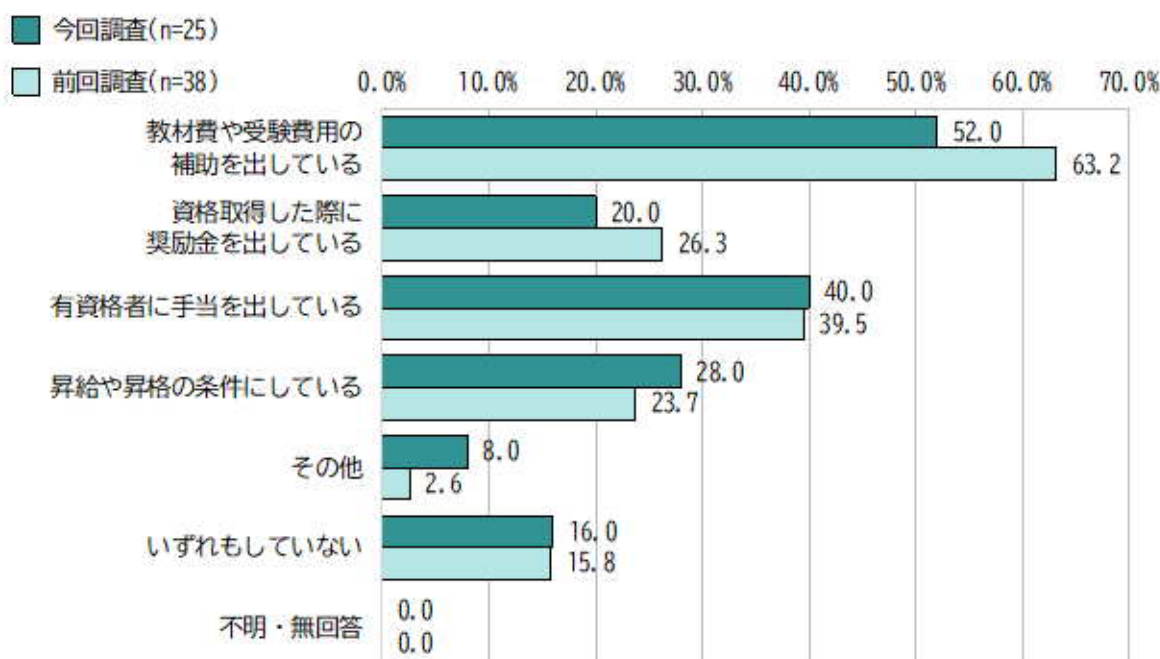
前回調査と比べると、「設けている」「その他」が増加しており、「設ける予定はない」が32.0ポイント減少しています。



問10 従業員が資格を取得することに対する支援や奨励を行っていますか。
(複数回答)

従業員が資格を取得することに対する支援や奨励の状況についてみると、「教材費や受験費用の補助を出している」が52.0%と最も多く、次いで「有資格者に手当を出している」が40.0%、「昇給や昇格の条件にしている」が28.0%となっています。

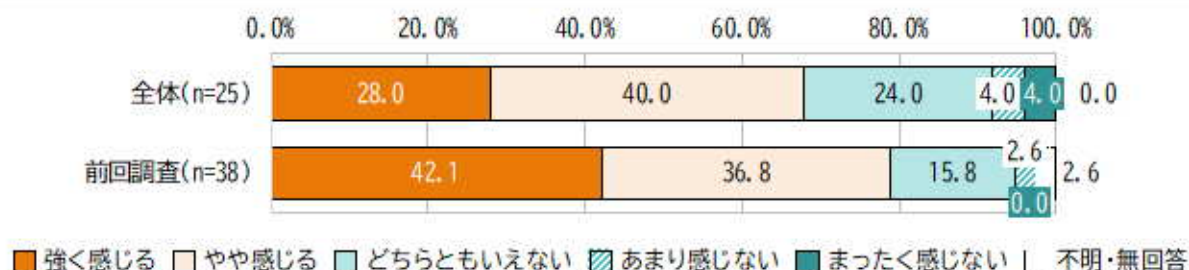
前回調査と比べると、「教材費や受験費用の補助を出している」が11.2ポイント減少しています。



問 11 業務に必要なかを問わず、従業員に対するさまざまな教育・学習を充実させる必要性を感じますか。 (単数回答)

従業員に対するさまざまな教育・学習を充実させる必要性についてみると、「やや感じる」が40.0%と最も多く、次いで「強く感じる」が28.0%、「どちらともいえない」が24.0%となっています。

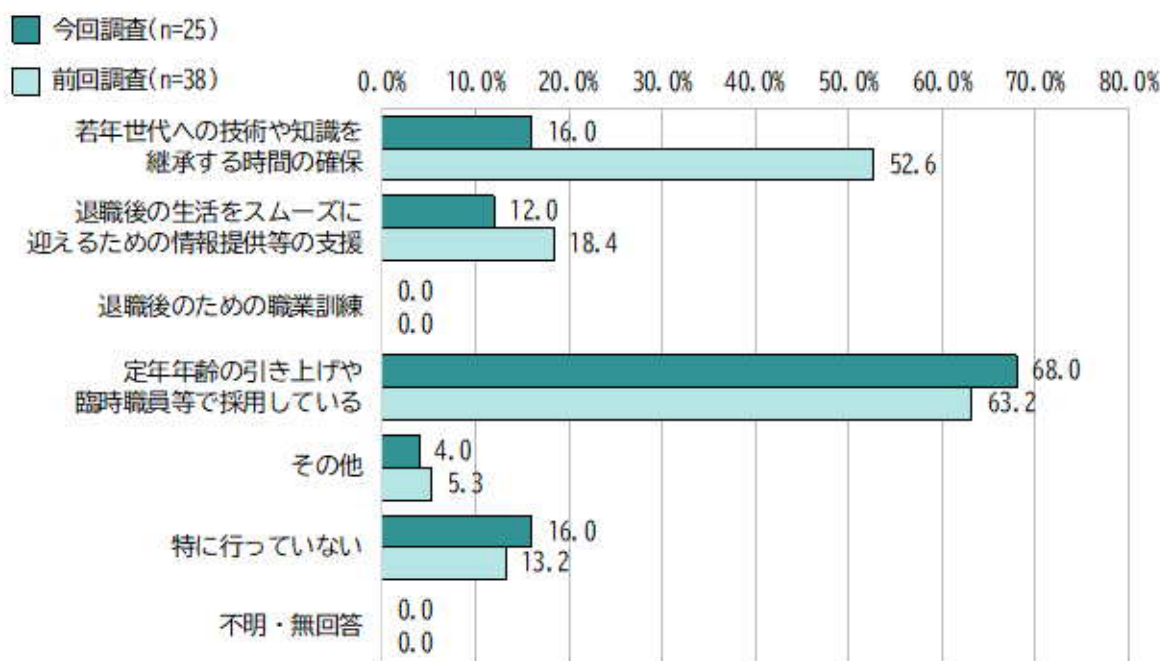
前回調査と比べると、「強く感じる」が14.1ポイント減少しています。



問 12 定年を迎えて、退職される方にどのような取り組みを行っていますか。 (複数回答)

定年を迎えて退職する方への取り組みについてみると、「定年年齢の引き上げや臨時職員等で採用している」が68.0%と最も多く、次いで「若年世代への技術や知識を継承する時間の確保」「特に行っていない」が16.0%となっています。

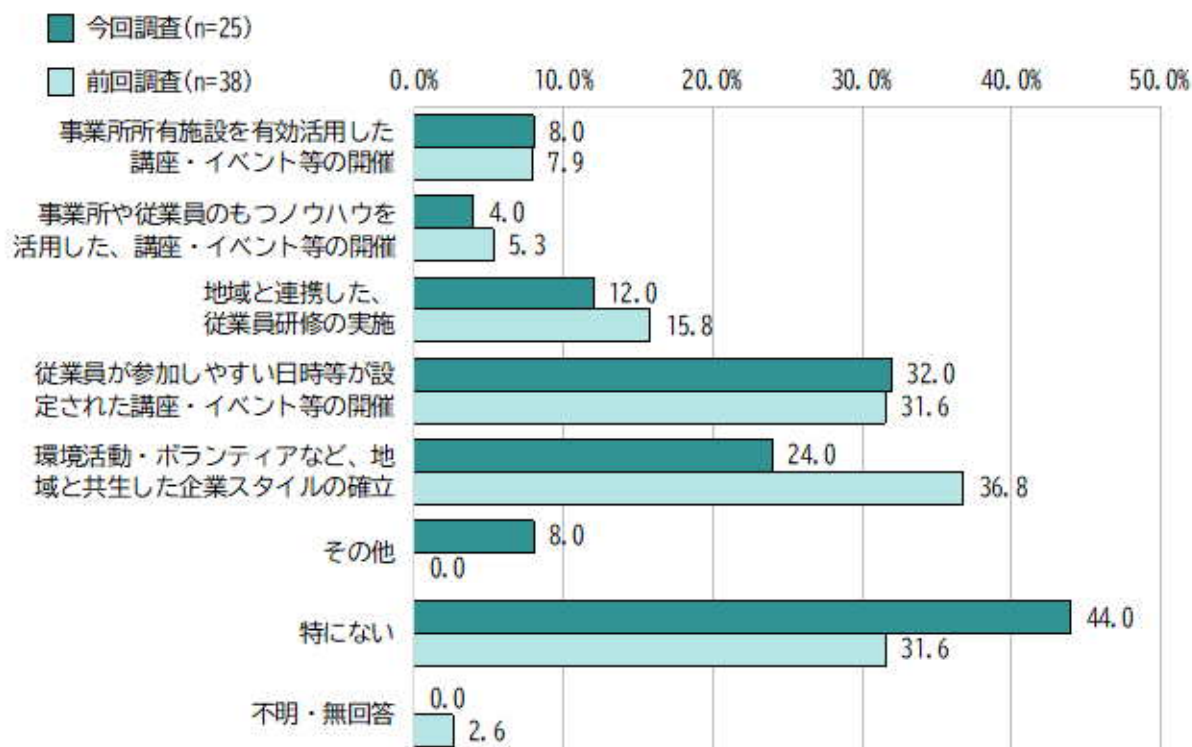
前回調査と比べると、「若年世代への技術や知識を継承する時間の確保」が36.6ポイント減少しています。



(4) 朝霞市との連携について

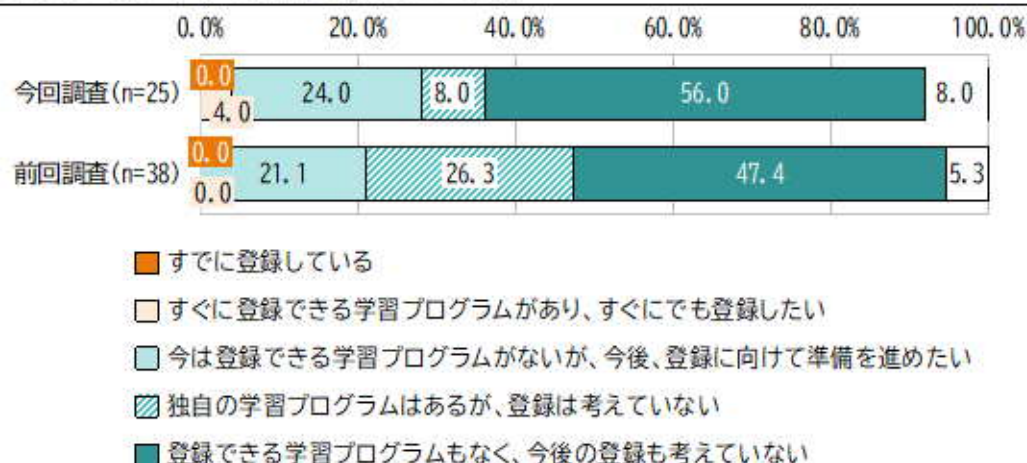
問 13 事業所と市行政の連携策について、興味、関心があるものはどのようなものがありますか。
(複数回答)

事業所と市行政の連携策について、興味、関心があるものについてみると、「特にない」が44.0%と最も多く、次いで「従業員が参加しやすい日時等が設定された講座、イベント等の開催」が32.0%、「環境活動、ボランティアなど、地域と共生した企業スタイルの確立」が24.0%となっています。前回調査と比べると、「特にない」が12.4ポイント増加しており、「環境活動・ボランティアなど、地域と共生した企業スタイルの確立」が12.8ポイント減少しています。



問 14 「あさか学習おとどけ講座」の企業メニューへの登録について、どのようにお考えですか。
(単数回答)

「あさか学習おとどけ講座」の企業メニューへの登録についてみると、「登録できる学習プログラムもなく、今後の登録も考えていない」が56.0%と最も多く、次いで「今は登録できる学習プログラムがないが、今後、登録に向けて準備を進めたい」が24.0%、「独自の学習プログラムはあるが、登録は考えていない」が8.0%となっています。



問 15 貴事業所が生涯学習に関連して市に望むこと、ご意見などがありましたらお聞かせください。

1. 今後の生涯学習について (3件)

- ☆ボランティアを通じて地域社会との繋がりを強固なものにしたい。
- ☆少子高齢化が進むなか、孤独な人が増えていくことで、地域で孤立する方が予想されますので、誰もが参加しやすいイベントや講座が必要だと思えます。
- ☆ITリテラシーの強化や情報の取捨選択能力を引き上げることが重要と思う。

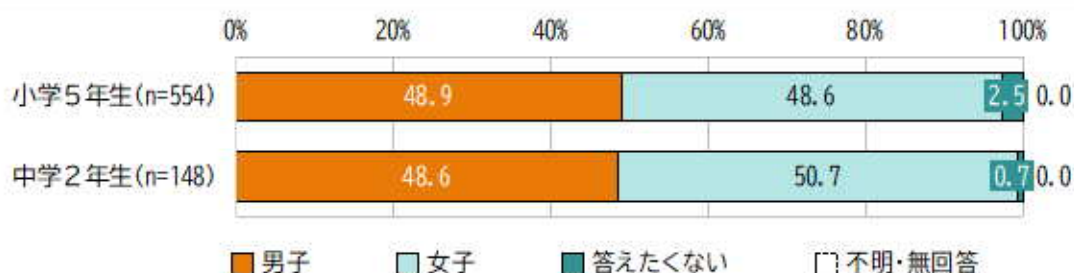
第6章 小中学生調査の結果

(1) 回答者自身について

問1 あなたの性別をお答えください。

(単数回答)

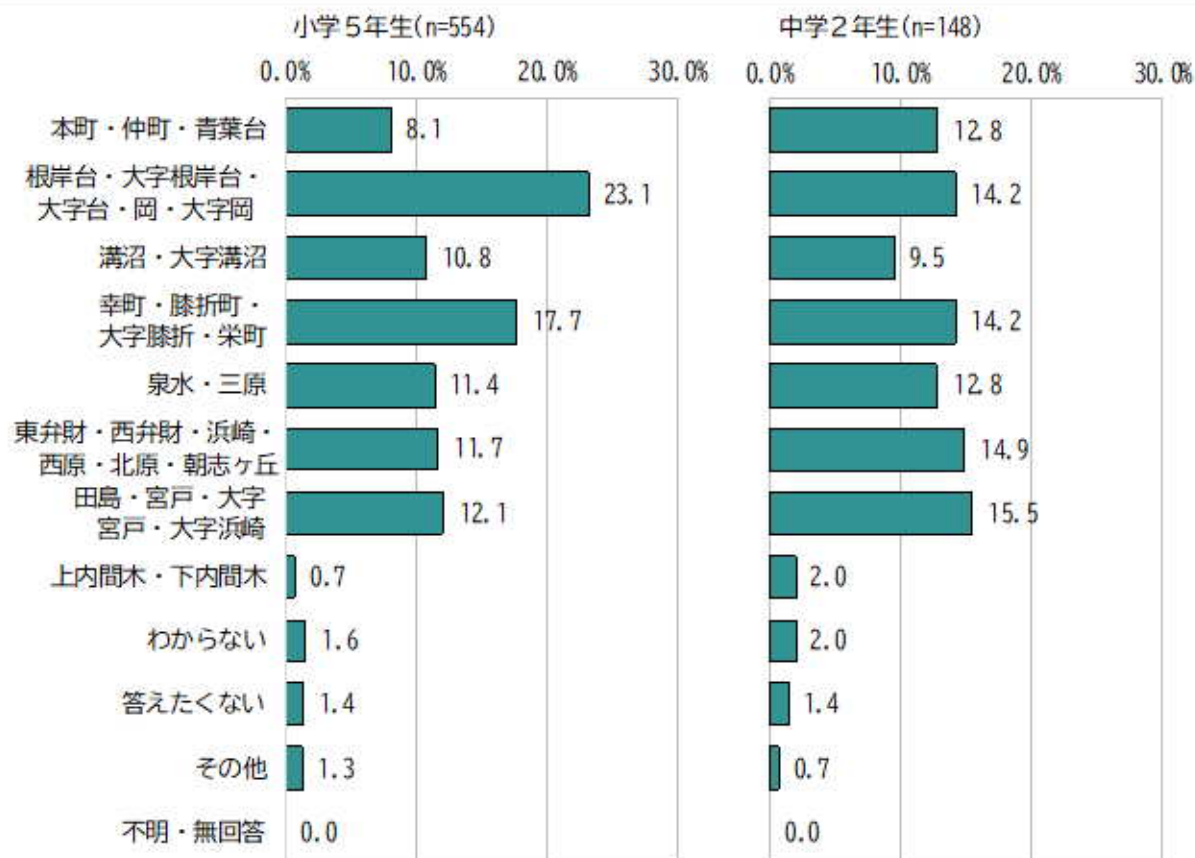
性別についてみると、小学5年生では、「男子」が48.9%、「女子」が48.6%、「答えたくない」が2.5%、中学2年生では、「男子」が48.6%、「女子」が50.7%、「答えたくない」が0.7%となっています。



問2 あなたのお住まいの地区をお答えください。

(単数回答)

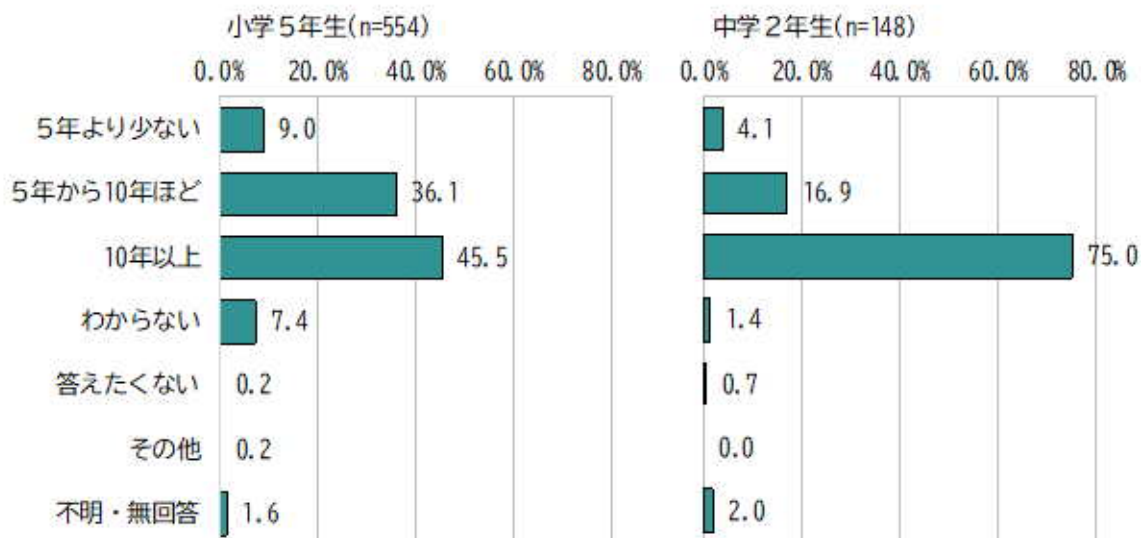
住んでいる地区についてみると、小学5年生では、「根岸台・大字根岸台・大字台・岡・大字岡」が23.1%と最も多く、次いで「幸町・膝折町・大字膝折・栄町」が17.7%、「田島・宮戸・大字宮戸・大字浜崎」が12.1%、中学2年生では、「田島・宮戸・大字宮戸・大字浜崎」が15.5%と最も多く、次いで「東弁財・西弁財・浜崎・西原・北原・朝志ヶ丘」が14.9%、「根岸台・大字根岸台・大字台・岡・大字岡」「幸町・膝折町・大字膝折・栄町」が14.2%となっています。



問3 朝霞市に住み始めてからの年数をお答えください。

(単数回答)

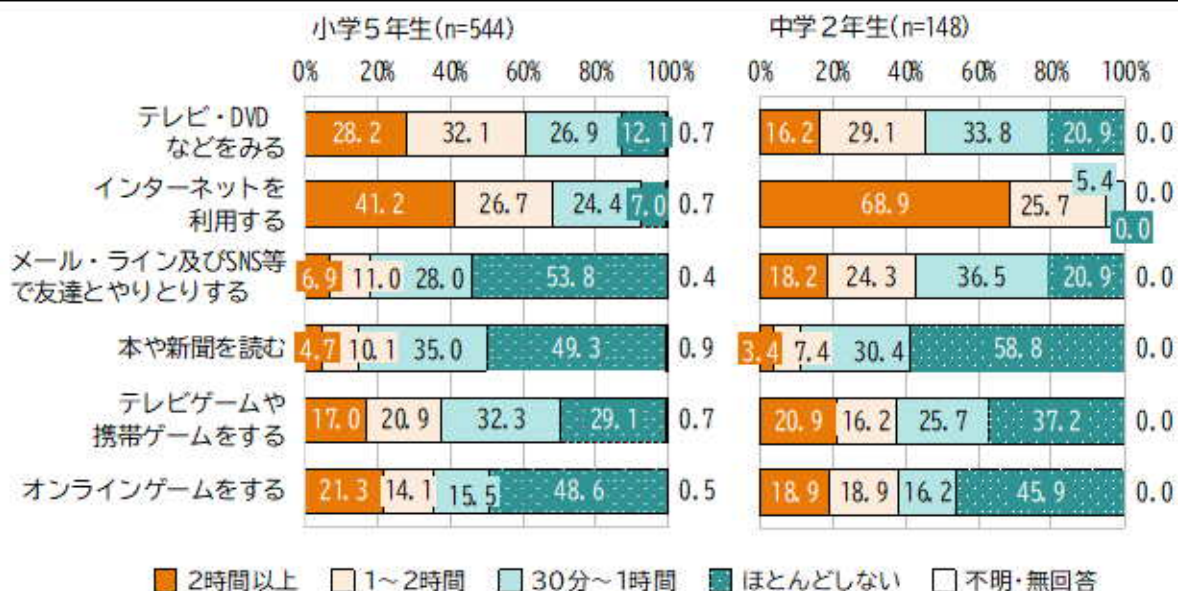
朝霞市に住んでいる年数についてみると、小学5年生では、「10年以上」が45.5%と最も多く、次いで「5年から10年ほど」が36.1%、「5年より少ない」が9.0%、中学2年生では、「10年以上」が75.0%と最も多く、次いで「5年から10年ほど」が16.9%、「5年より少ない」が4.1%となっています。



(2) ふだんの過ごし方や生涯学習活動に関する状況について

問4 ふだんの生活で、次のようなことを1日に平均してどのくらいの時間、行っていますか。
(単数回答)

1日に行っている活動の平均時間についてみると、「インターネットを利用する」では、「2時間以上」と回答した割合が、小学5年生で41.2%、中学2年生で68.9%となっています。また、「オンラインゲームをする」では、「2時間以上」と回答した割合が、小学5年生で21.3%、中学2年生で18.9%となっています。



小学5年生の結果を前回調査や前々回調査と比較すると、「テレビ・DVDなどをみる」の時間は減少傾向にある一方、「インターネット（パソコン・スマートフォン・タブレットなど）を利用する」「メール・ライン及びSNS等（パソコン・スマートフォン・タブレットなど）で友達とやりとりする」の時間が増加していることがうかがえます。

中学2年生の結果を前回調査や前々回調査と比較すると、小学5年生同様に「テレビ・DVDなどをみる」の時間は減少傾向にある一方、「インターネット（パソコン・スマートフォン・タブレットなど）を利用する」「メール・ライン及びSNS等（パソコン・スマートフォン・タブレットなど）で友達とやりとりする」の時間が増加していることがうかがえます。

小学5年生

今回調査(n=554) 前回調査(n=617) 前々回調査(n=1,064)		2時間以上	1～2時間	30分～ 1時間	ほとんど しない	不明・ 無回答
テレビ・DVDなどをみる	今回調査	28.2	32.1	26.9	12.1	0.7
	前回調査	36.8	34.0	22.0	6.5	0.6
	前々回調査	44.0	33.3	19.6	2.9	0.2
インターネット（パソコン・スマートフォン・タブレットなど）を利用する	今回調査	41.2	26.7	24.4	7.0	0.7
	前回調査	7.3	12.8	27.2	51.4	1.3
	前々回調査	3.0	10.2	27.3	58.5	0.9
メール・ライン及びSNS等（パソコン・スマートフォン・タブレットなど）で友達とやりとりする	今回調査	6.9	11.0	28.0	53.8	0.4
	前回調査	1.1	1.0	10.2	85.6	2.1
	前々回調査	1.5	2.8	13.1	81.0	1.6
本や新聞を読む	今回調査	4.7	10.1	35.0	49.3	0.9
	前回調査	7.5	10.2	44.4	36.5	1.5
テレビゲームや携帯ゲーム（オンラインゲームを除く）をする	今回調査	17.0	20.9	32.3	29.1	0.7
	前回調査	16.0	20.1	34.2	29.0	0.6
オンラインゲームをする	今回調査	21.3	14.1	15.5	48.6	0.5
新規設問						

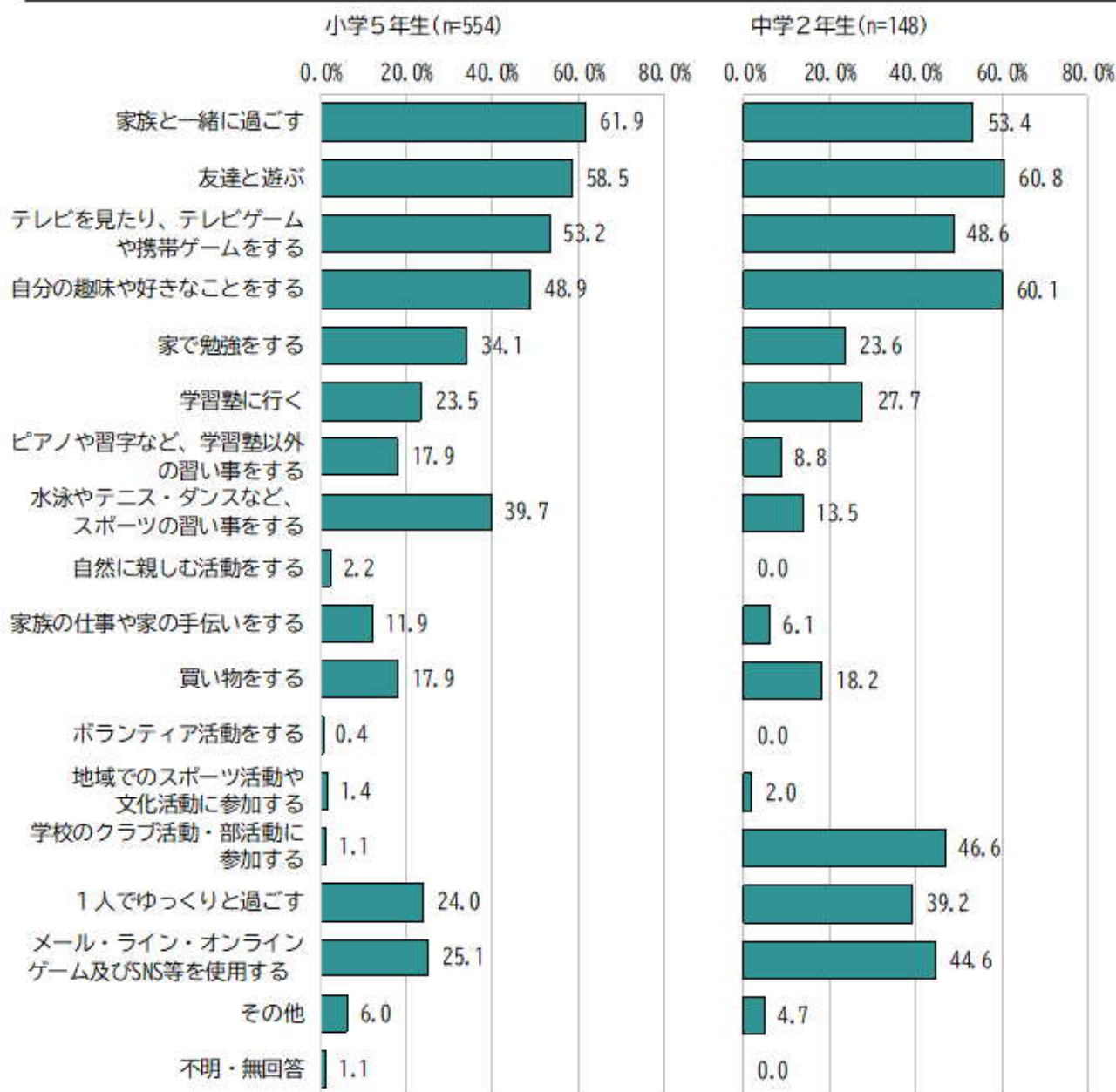
中学2年生

今回調査(n=148) 前回調査(n=536) 前々回調査(n=518)		2時間以上	1～2時間	30分～ 1時間	ほとんど しない	不明・ 無回答
テレビ・DVDなどをみる	今回調査	16.2	29.1	33.8	20.9	0.0
	前回調査	37.1	36.0	19.4	7.1	0.4
	前々回調査	48.8	32.2	12.9	4.8	1.2
インターネット（パソコン・スマートフォン・タブレットなど）を利用する	今回調査	68.9	25.7	5.4	0.0	0.0
	前回調査	24.4	23.3	31.5	20.3	0.4
	前々回調査	14.9	15.8	27.2	41.1	1.0
メール・ライン及びSNS等（パソコン・スマートフォン・タブレットなど）で友達とやりとりする	今回調査	18.2	24.3	36.5	20.9	0.0
	前回調査	17.5	17.2	31.7	33.0	0.6
	前々回調査	18.5	11.4	30.9	38.0	1.2
本や新聞を読む	今回調査	3.4	7.4	30.4	58.8	0.0
	前回調査	6.3	12.1	31.2	49.6	0.7
テレビゲームや携帯ゲーム（オンラインゲームを除く）をする	今回調査	20.9	16.2	25.7	37.2	0.0
	前回調査	19.4	22.4	25.4	32.1	0.7
オンラインゲームをする	今回調査	18.9	18.9	16.2	45.9	0.0
新規設問						

問5 放課後や休みの日は、どのように過ごすことが多いですか。

(複数回答)

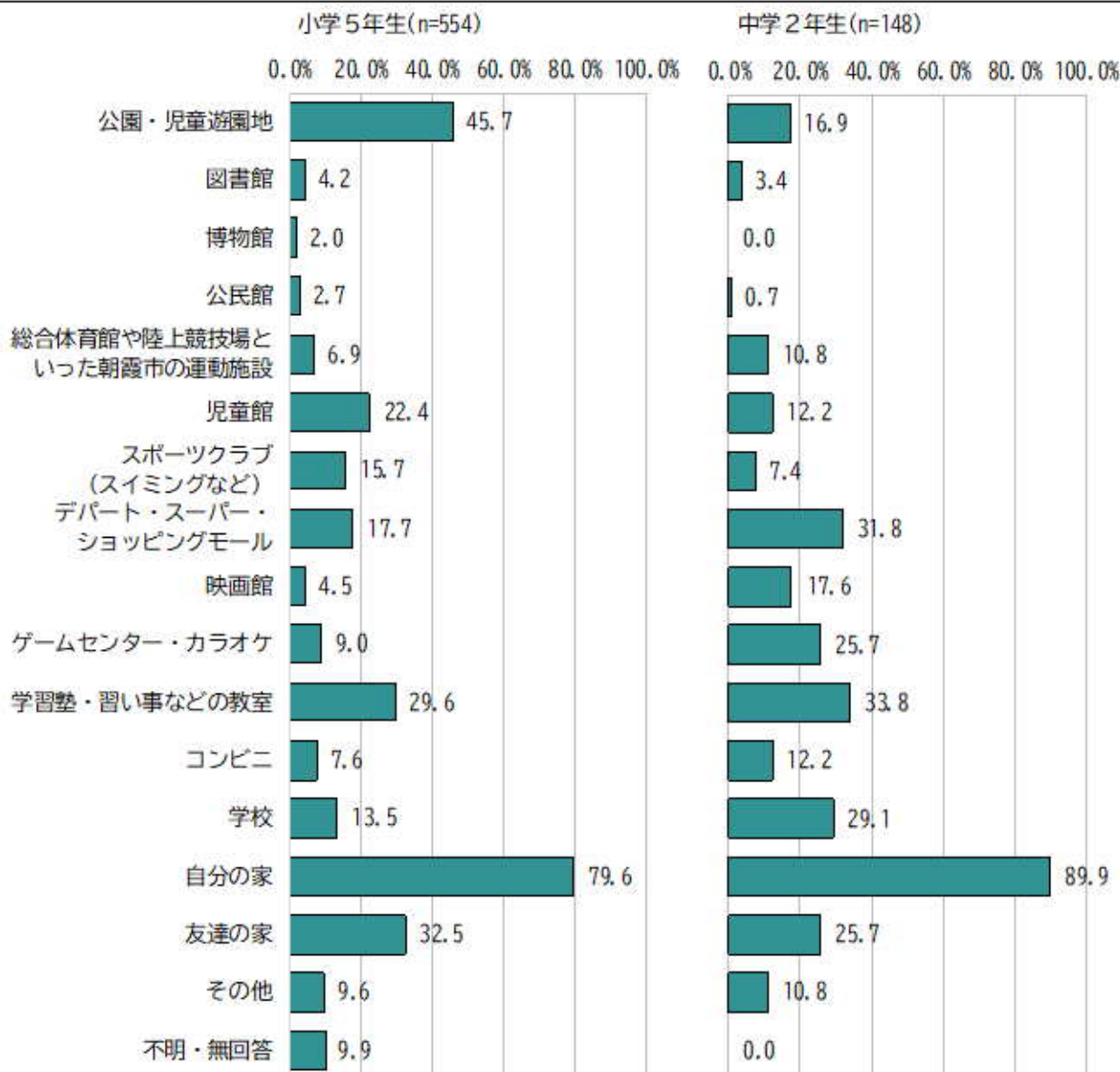
放課後や休みの日の過ごし方についてみると、小学5年生では、「家族と一緒に過ごす」が61.9%と最も多く、次いで「友達と遊ぶ」が58.5%、「テレビを見たり、テレビゲームや携帯ゲーム（オンラインゲームを除く）をする」が53.2%、中学2年生では、「友達と遊ぶ」が60.8%と最も多く、次いで「自分の趣味や好きなことをする」が60.1%、「家族と一緒に過ごす」が53.4%となっています。



問6 放課後や休みの日は、どのような場所で過ごすことが多いですか。

(複数回答)

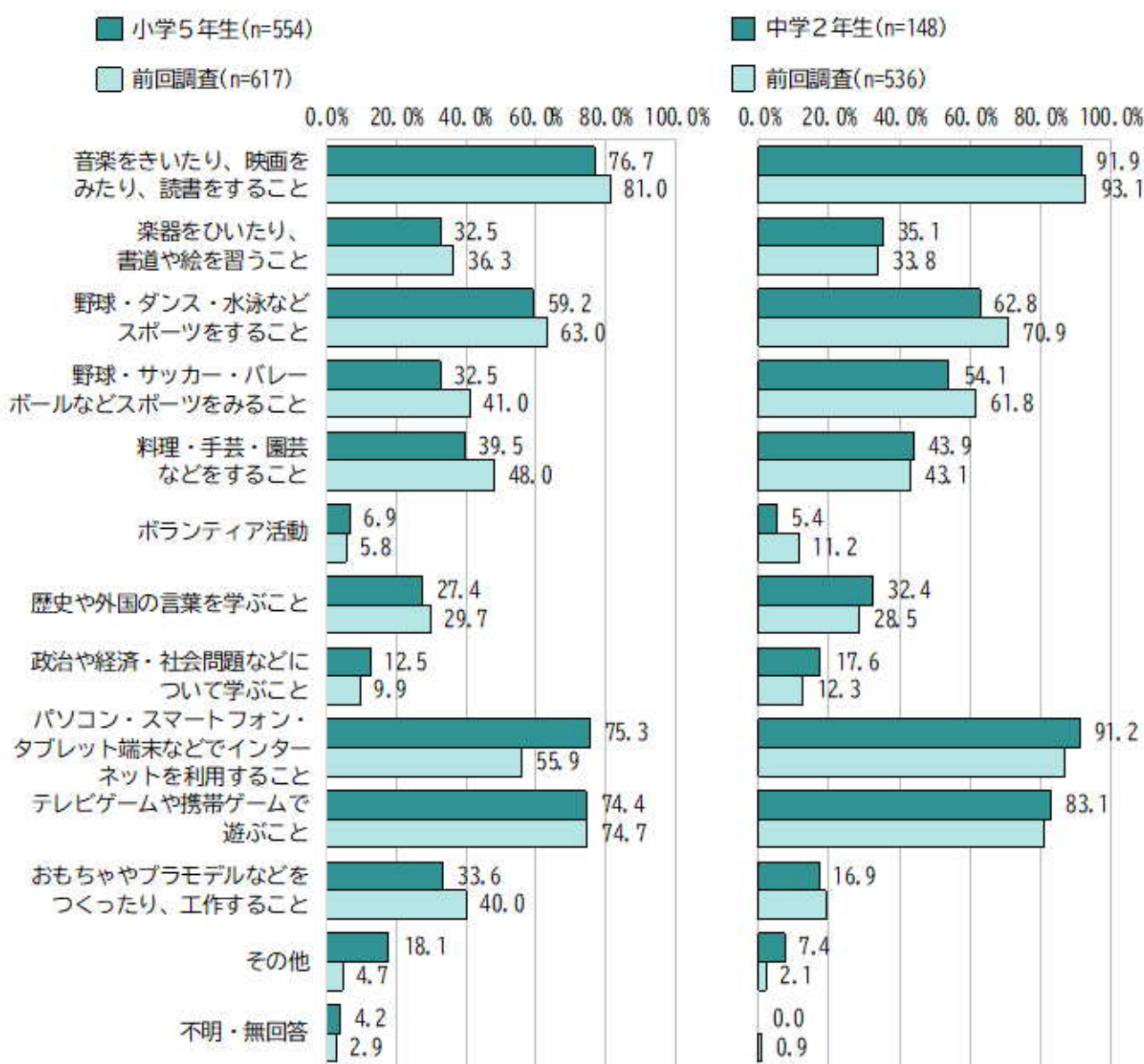
放課後や休みの日を過ごす場所についてみると、小学5年生では、「自分の家」が79.6%と最も多く、次いで「公園・児童遊園地」が45.7%、「友達の家」が32.5%、中学2年生では、「自分の家」が89.9%と最も多く、次いで「学習塾・習い事などの教室」が33.8%、「デパート・スーパー・ショッピングモール」が31.8%となっています。



問7 この1年間に以下のようなことをしましたか。ただし、学校の授業で行ったものはのぞきます。
(複数回答)

1年間に行った活動についてみると、小学5年生では、「音楽をきいたり、映画をみたり、読書をする事」が76.7%と最も多く、次いで「パソコン・スマートフォン・タブレット端末などでインターネットを利用すること」が75.3%、「テレビゲームや携帯ゲームで遊ぶこと」が74.4%、中学2年生では、「音楽をきいたり、映画をみたり、読書をする事」が91.9%と最も多く、次いで「パソコン・スマートフォン・タブレット端末などでインターネットを利用すること」が91.2%、「テレビゲームや携帯ゲームで遊ぶこと」が83.1%となっています。

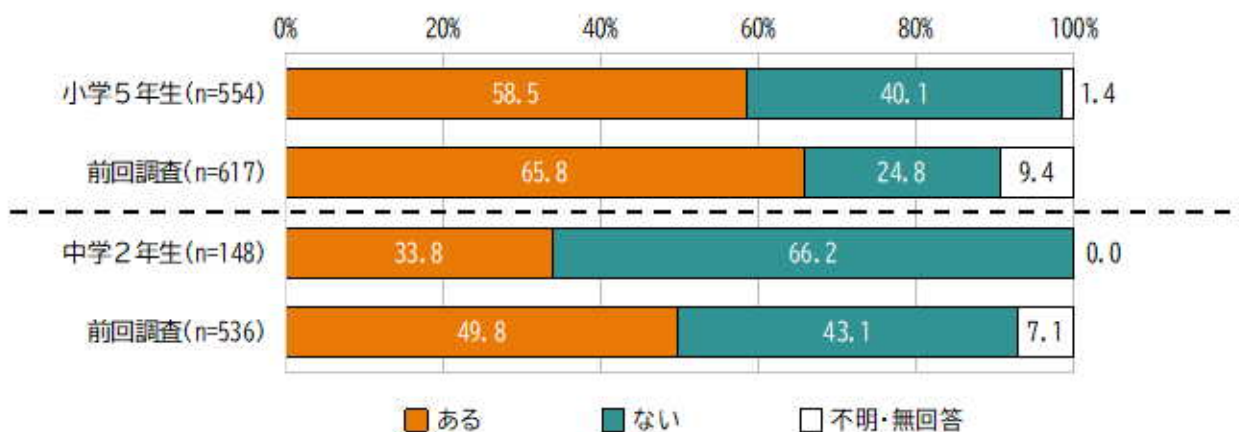
前回調査と比べると、小学5年生では、「パソコン・スマートフォン・タブレット端末などでインターネットを利用すること」「その他」が増加しています。



問8 児童館、公民館、図書館、博物館、体育館、陸上競技場などで行うイベントや教室に参加していますか。 (単数回答)

朝霞市の施設で行うイベントや教室への参加についてみると、小学5年生では、「ある」が58.5%、「ない」が40.1%、中学2年生では、「ある」が33.8%、「ない」が66.2%となっています。

前回調査と比べると、小学5年生では、「ない」が減少していますが、中学2年生では、「ある」が減少して、「ない」が増加しています。

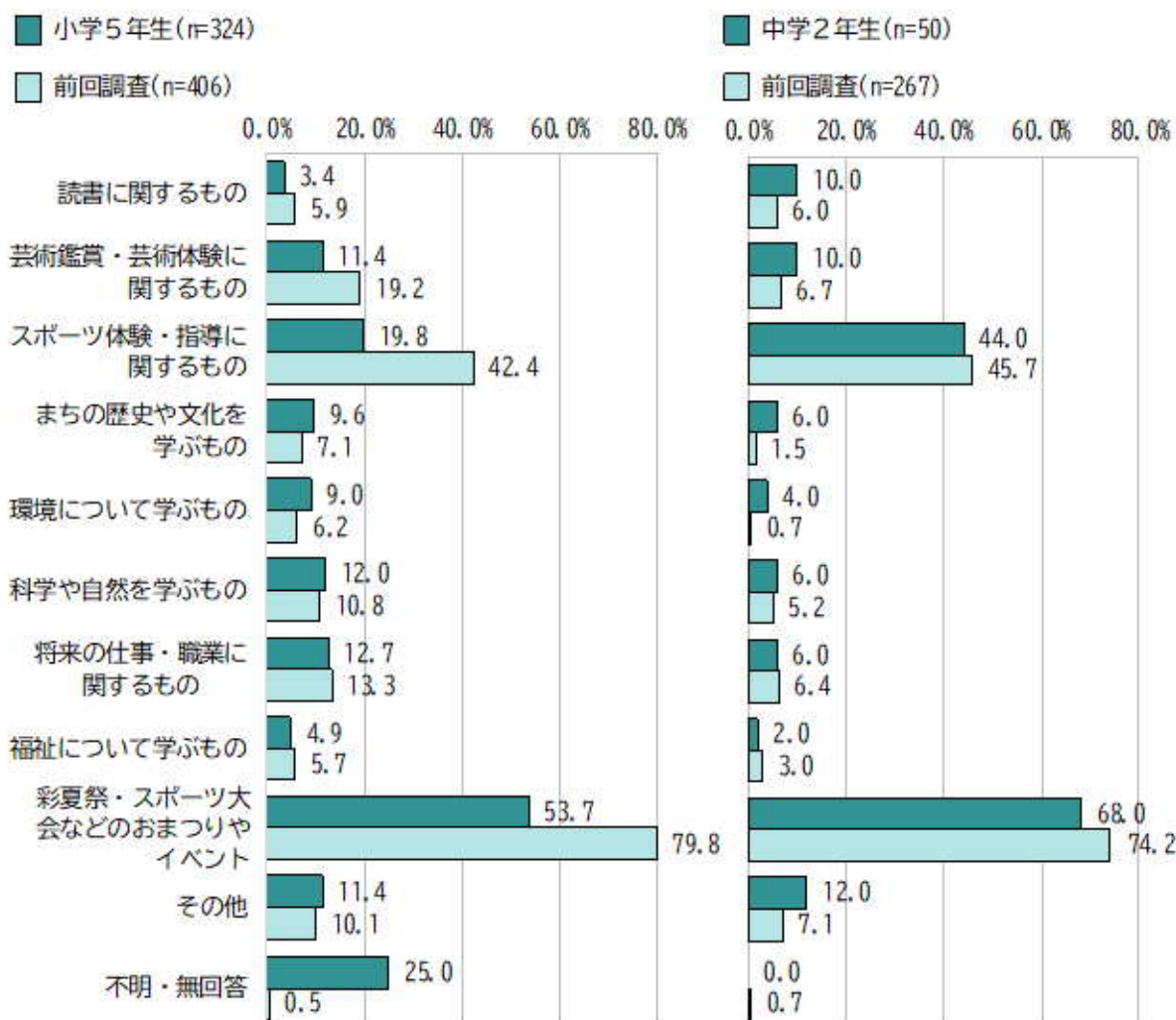


問9・問10は、問8で「ある」と回答した方におたずねします。

問9 あなたが参加したイベントや教室はどのような内容のものでしたか。 (複数回答)

参加したイベントや教室の内容についてみると、小学5年生では、「彩夏祭・スポーツ大会などのおまつりやイベント」が53.7%と最も多く、次いで「スポーツ体験・指導に関するもの」が19.8%、「将来の仕事・職業に関するもの」が12.7%、中学2年生では、「彩夏祭・スポーツ大会などのおまつりやイベント」が68.0%と最も多く、次いで「スポーツ体験・指導に関するもの」が44.0%、「その他」が12.0%となっています。

前回調査と比べると、小学5年生では、「スポーツ体験・指導に関するもの」「彩夏祭・スポーツ大会などのおまつりやイベント」が減少しています。

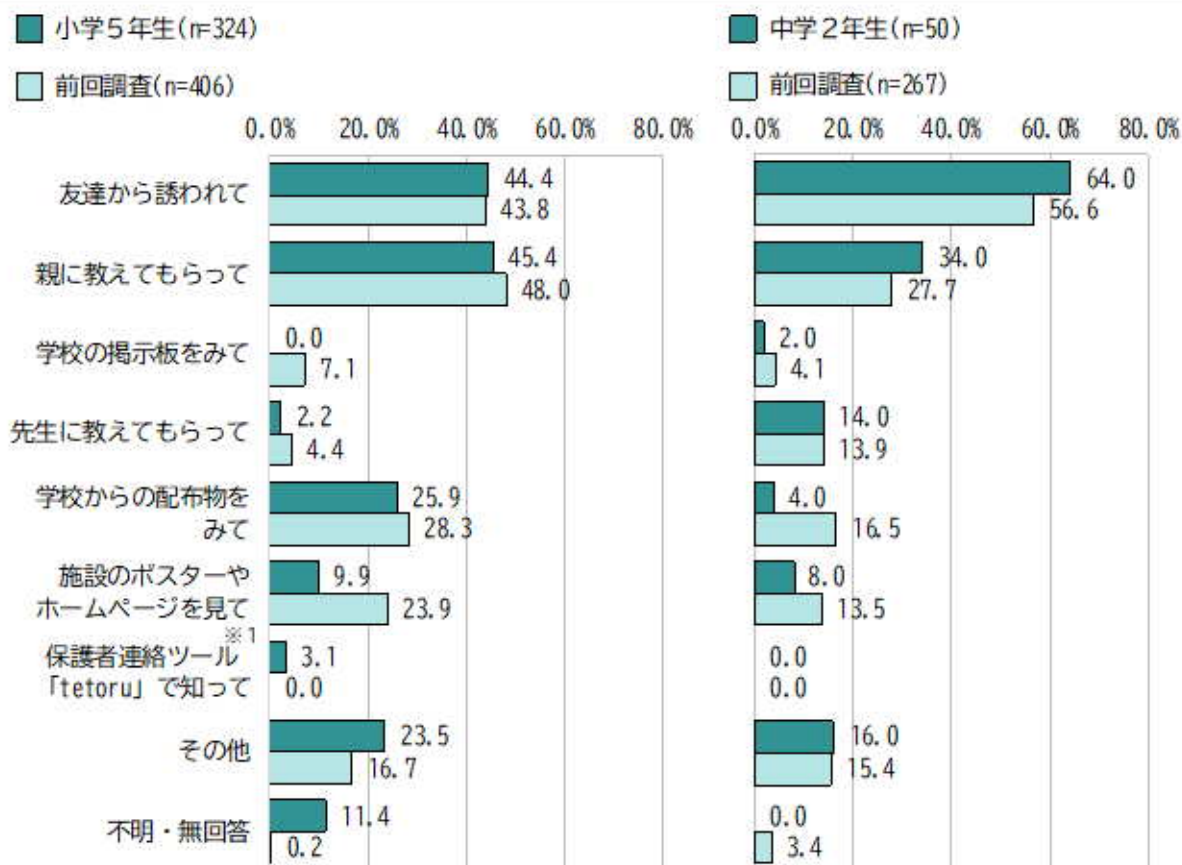


問10 どのようなことがきっかけで、イベントや教室に参加しましたか。

(複数回答)

イベントや教室に参加したきっかけについてみると、小学5年生では、「親に教えてもらって」が45.4%と最も多く、次いで「友達から誘われて」が44.4%、「学校からの配布物をみて」が25.9%、中学2年生では、「友達から誘われて」が64.0%と最も多く、次いで「親に教えてもらって」が34.0%、「その他」が16.0%となっています。

前回調査と比べると、小学5年生では、「施設のポスターやホームページを見て」、中学2年生では、「学校からの配布物をみて」が、それぞれ減少しています。



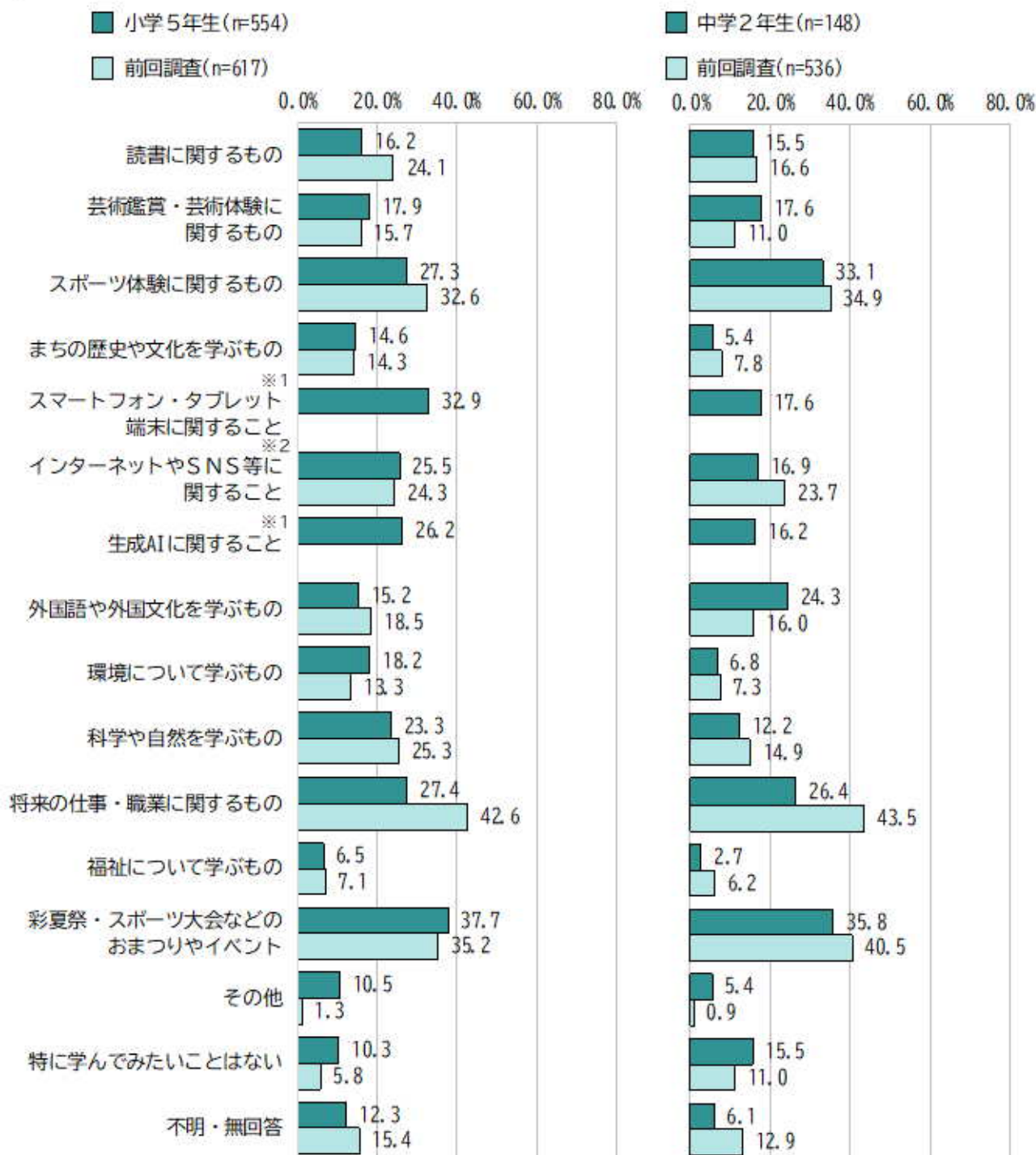
※1：今回調査の新規設問

問 11 次のうち、学んでみたいもの、参加してみたいものはなんですか。

(複数回答)

学んでみたいもの、参加してみたいものについてみると、小学5年生では、「彩夏祭・スポーツ大会などのおまつりやイベント」が37.7%と最も多く、次いで「スマートフォン・タブレット端末に関すること」が32.9%、「将来の仕事・職業に関するもの」が27.4%、中学2年生では、「彩夏祭・スポーツ大会などのおまつりやイベント」が35.8%と最も多く、次いで「スポーツ体験に関するもの」が33.1%、「将来の仕事・職業に関するもの」が26.4%となっています。

前回調査と比べると、小中学生ともに、「将来の仕事・職業に関するもの」が減少しています。



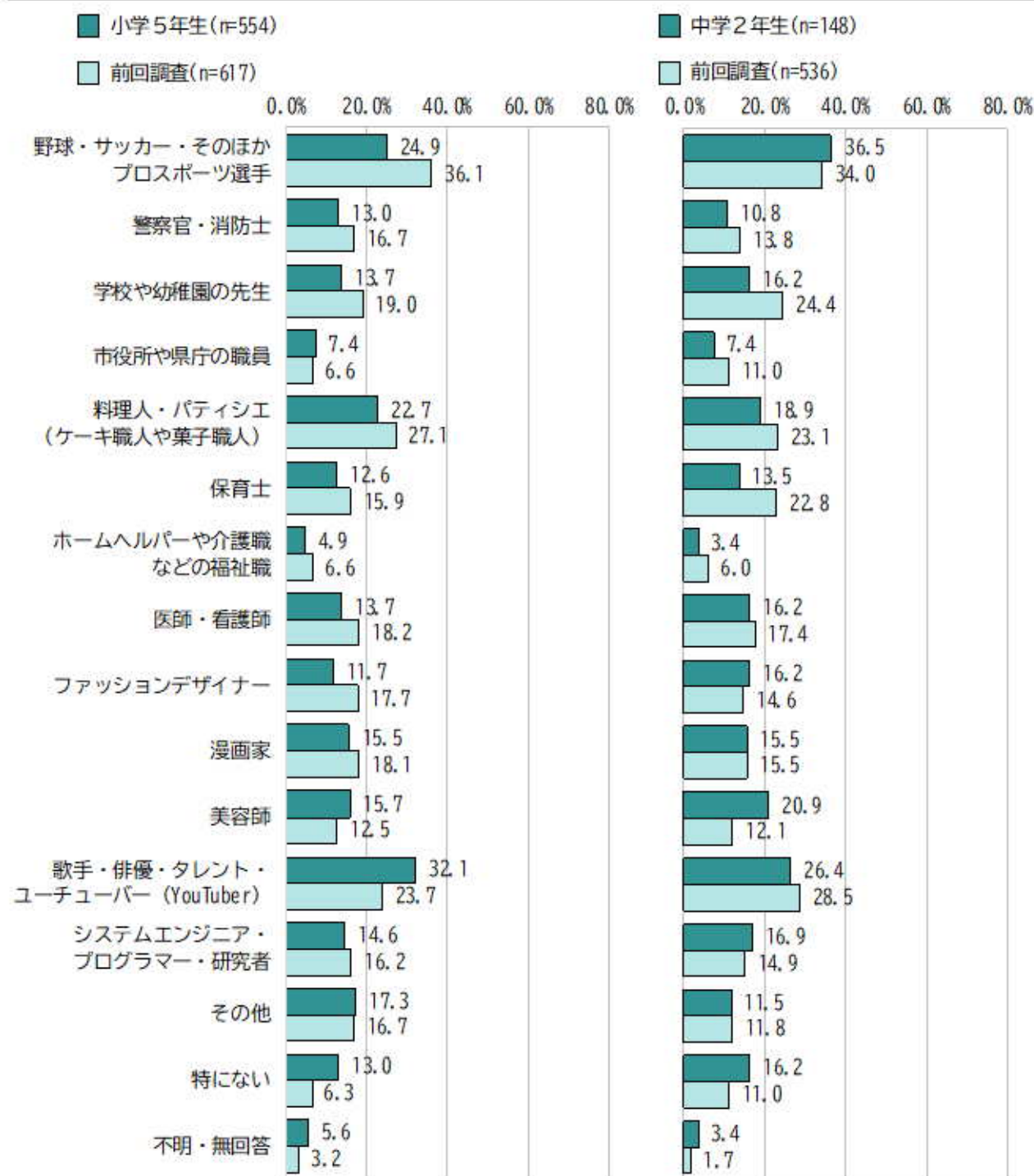
※1：今回調査の新規設問

※2：前回調査は「パソコンやインターネットに関するもの」

問 12 次のうち、どの職業の人の話を聞いたり、仕事のことを教えてもらったりしたいと思いますか。
(複数回答)

話を聞いてみたい職業についてみると、小学5年生では、「歌手・俳優・タレント・ユーチューバー (YouTuber)」が32.1%と最も多く、次いで「野球・サッカー・そのほかプロスポーツ選手」が24.9%、「料理人・パティシエ (ケーキ職人や菓子職人)」が22.7%、中学2年生では、「野球・サッカー・そのほかプロスポーツ選手」が36.5%と最も多く、次いで「歌手・俳優・タレント・ユーチューバー (YouTuber)」が26.4%、「美容師」が20.9%となっています。

前回調査と比べると、小学5年生では、「野球・サッカー・そのほかプロスポーツ選手」が減少しています。



問 13 最後に、生涯学習のことについて、ご意見などがありましたら自由に記入してください。

1. 生涯学習全般について (24件)

- ☆生涯学習のことを学校の授業でも学んでみたいです。【小学5年生】
- ☆生涯学習についてボランティア活動や習い事はとても素敵だと思いました。【小学5年生】
- ☆もっと気安くイベントや、教室に参加できるようにしてほしいです。【小学5年生】
- ☆「ショウガイ」学習というと先に障害が思い浮かんでしまうので名前を少し変えた方がいいと思う。【中学2年生】
- ☆学校での生涯学習がもっと増えたら良いなと思います。【中学2年生】

2. 生涯学習活動の内容について (56件)

- ☆もっと彩夏祭のようなイベントを増やして欲しい。それに学習要素を少し盛り込めばいいと思う。【小学5年生】
- ☆もっといろんなジャンルを体験できるイベントや、年齢不問のイベントがあったらいいと思う。【小学5年生】
- ☆毎年彩夏祭で踊るけど踊ってる時やおどった後が暑いからステージにサーキュレーターを用意して欲しい、またところどころに涼しい場所を作って欲しい。【小学5年生】
- ☆彩夏祭の範囲をもっと広げて欲しい。【小学5年生】
- ☆彩夏祭などの大きいお祭りを増やしてほしいし、子供も屋台を出せる様にしてほしい！【小学5年生】
- ☆朝霞市で、どこかが不自由な人でも楽しいイベントとかを作って欲しい。そうすることで、彩夏祭とかを誰でも楽しめると思います。【小学5年生】
- ☆絵（デジタルイラストの書き方）に関するイベントを開いてほしい。【小学5年生】
- ☆陸上競技場でマラソン大会をしたいです。祭りとかをもうちょっと増やしておいしいです。スポーツ大会を増やしてほしいです。【小学5年生】
- ☆自分が学んでみたい教科が学べる教室などがあったらいいなと思いました。【小学5年生】
- ☆AIについての授業が欲しいです【小学5年生】
- ☆もっと義務教育にプログラミング（scratch等）を取り込んでほしい。そして年に一度（クラスごとに日程は変わる）、プログラマーの人が来て、scratchなどについて教える授業を作ってほしい。【小学5年生】
- ☆総合の時間などでボランティアの手伝いなどあまり行わないこと、学校生活のなかでは学べないことに触れたり、体験できる機会を用意してほしい。【中学2年生】
- ☆クラブチームで時間ギリギリなのでもう少し学校を早く切り上げて帰させてほしいです。【中学2年生】
- ☆休日にわざわざ学びに行く人は少ないと思うので、学校の授業で取り入れてたらいいいと思います。【中学2年生】

3. 施設・設備について (6件)

- ☆朝霞市には大きな図書館があり、さまざまな本があるのでありがたい。ただ、本屋があったのがなくなってしまった（潰れてしまった）ので、書店を作って欲しい。【小学5年生】
- ☆朝霞市では自由にスポーツができるところが少ないから増やしてほしい。【中学2年生】
- ☆勉強のしやすい環境を作ってほしい。施設など【中学2年生】

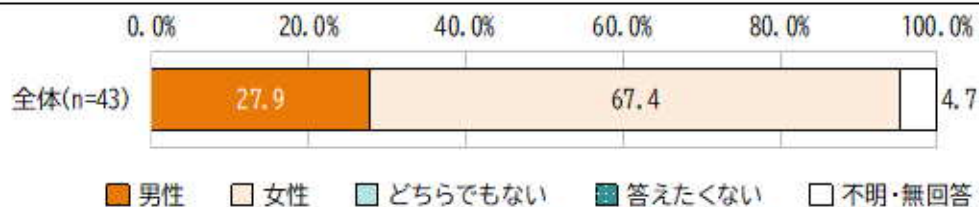
第7章 施設利用者調査の結果

(1) 回答者自身について

問1 あなたの性別をお答えください。

(単数回答)

回答者の性別についてみると、「男性」が27.9%、「女性」が67.4%となっています。

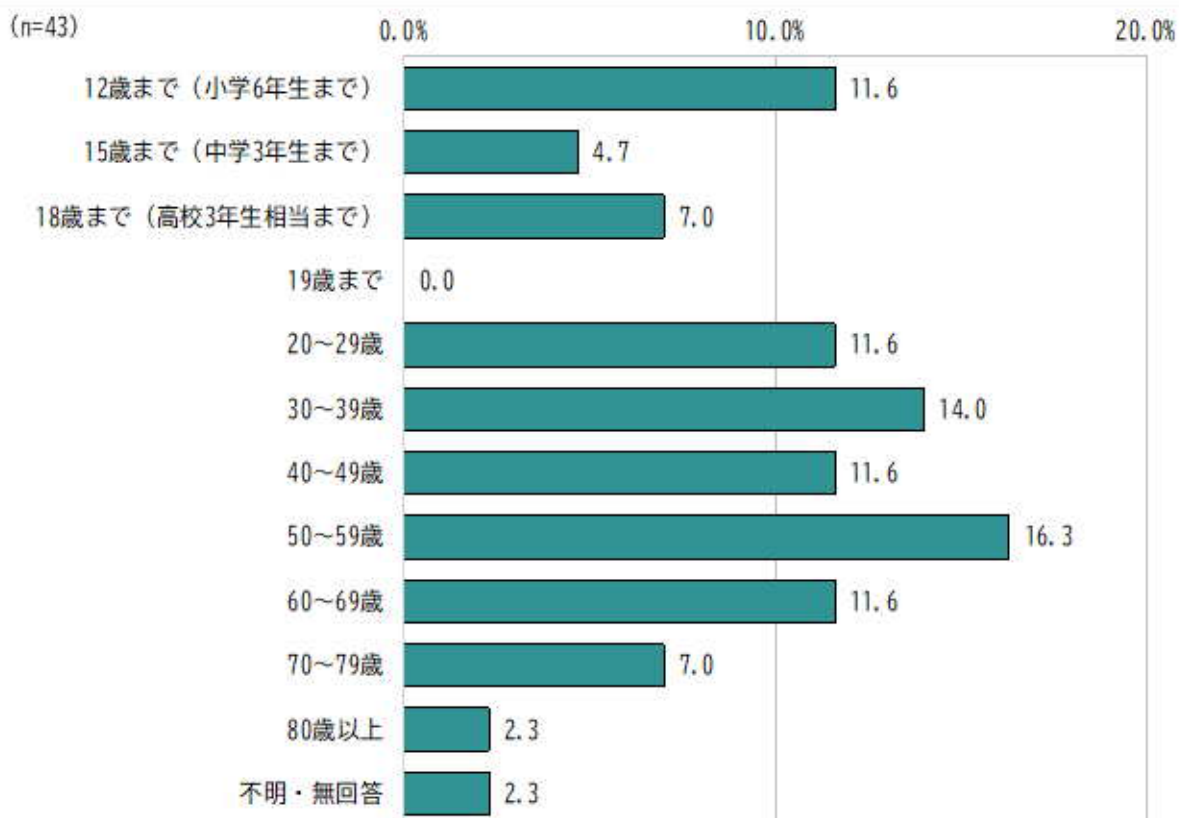


※「どちらでもない」「答えたくない」は0.0%

問2 あなたの年齢をお答えください。

(単数回答)

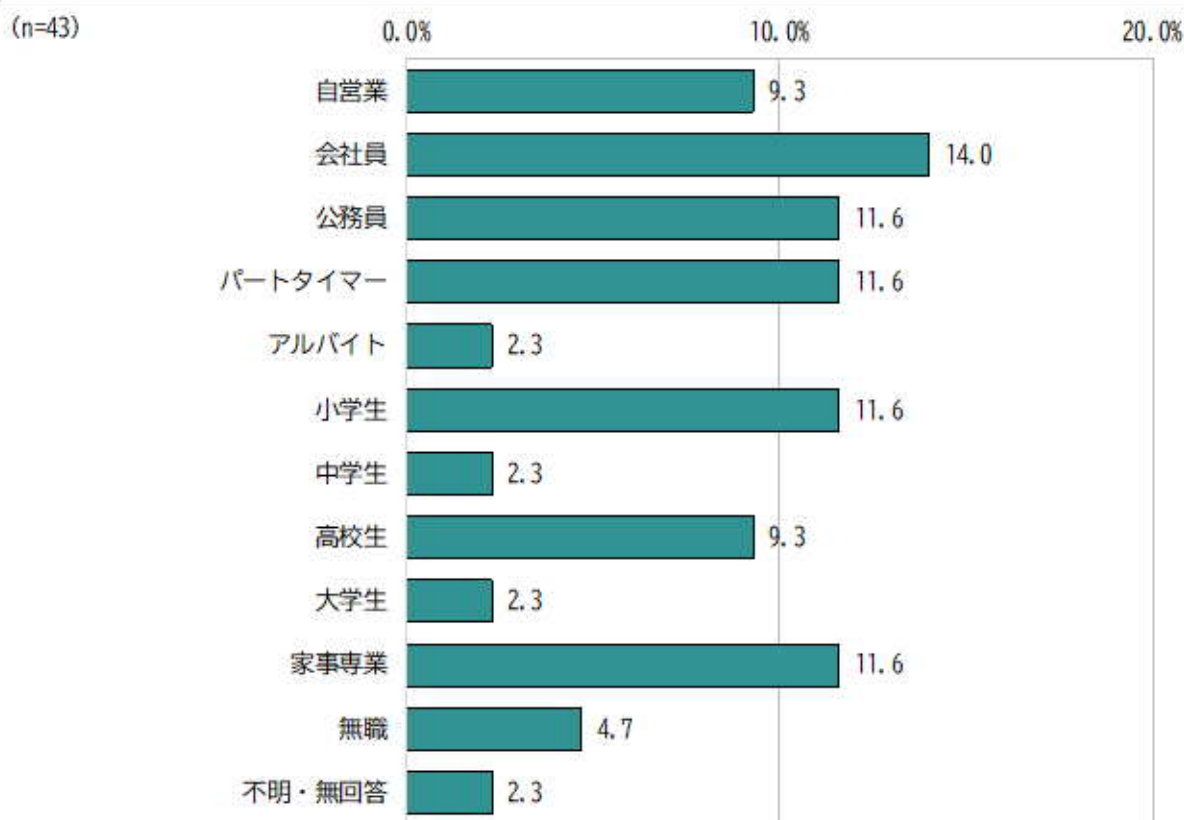
回答者の年齢についてみると、「50～59歳」が16.3%と最も多く、次いで「30～39歳」が14.0%、「12歳まで（小学6年生まで）」「20～29歳」「40～49歳」「60～69歳」が11.6%となっています。



問3 あなたの現在の職業は、次のどれにあてはまりますか。

(単数回答)

回答者の職業についてみると、「会社員」が14.0%と最も多く、次いで「公務員」「パートタイマー」「小学生」「家事専業」が11.6%、「自営業」「高校生」が9.3%となっています。



※「農業」「会社や団体の役員」「内職」「自由業」「専門学生」「その他」は0.0%

問4 あなたの従業地・通学地をお答えください。

(単数回答)

従業地・通学地についてみると、「朝霞市内」が46.5%と最も多く、次いで「東京都内」が16.3%、「自宅」「県内の他市町村」が14.0%となっています。

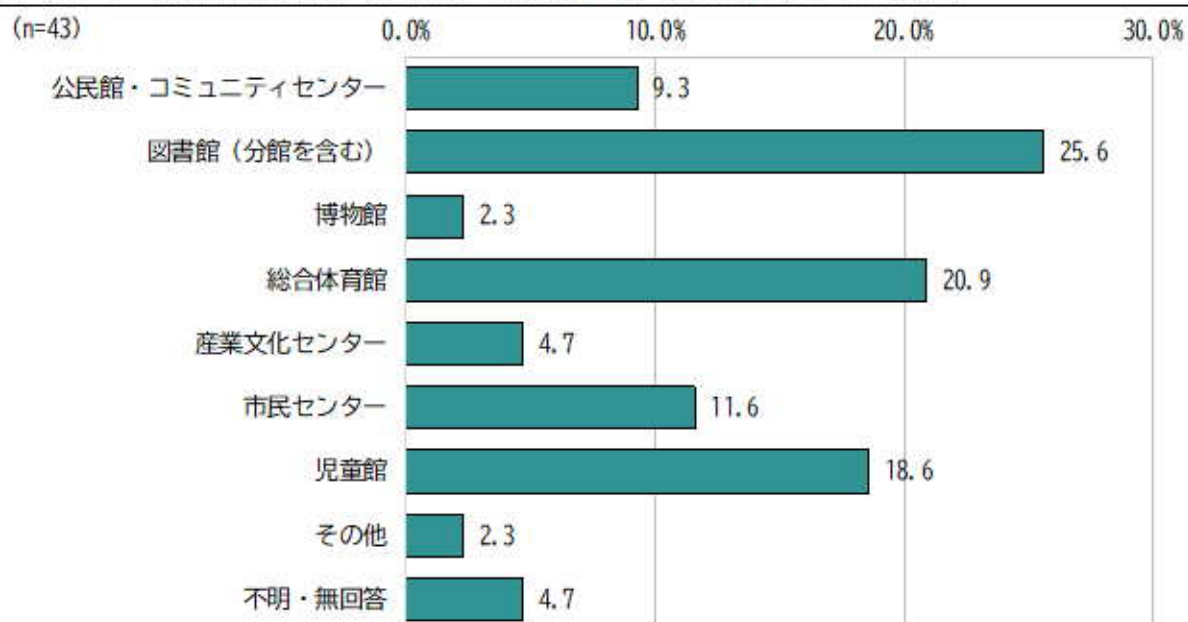


(2) 生涯学習活動の状況等について

問5 日ごろ利用している主な公共施設はどれですか。

(単数回答)

日ごろ利用している主な公共施設についてみると、「図書館（分館を含む）」が25.6%と最も多く、次いで「総合体育館」が20.9%、「児童館」が18.6%となっています。

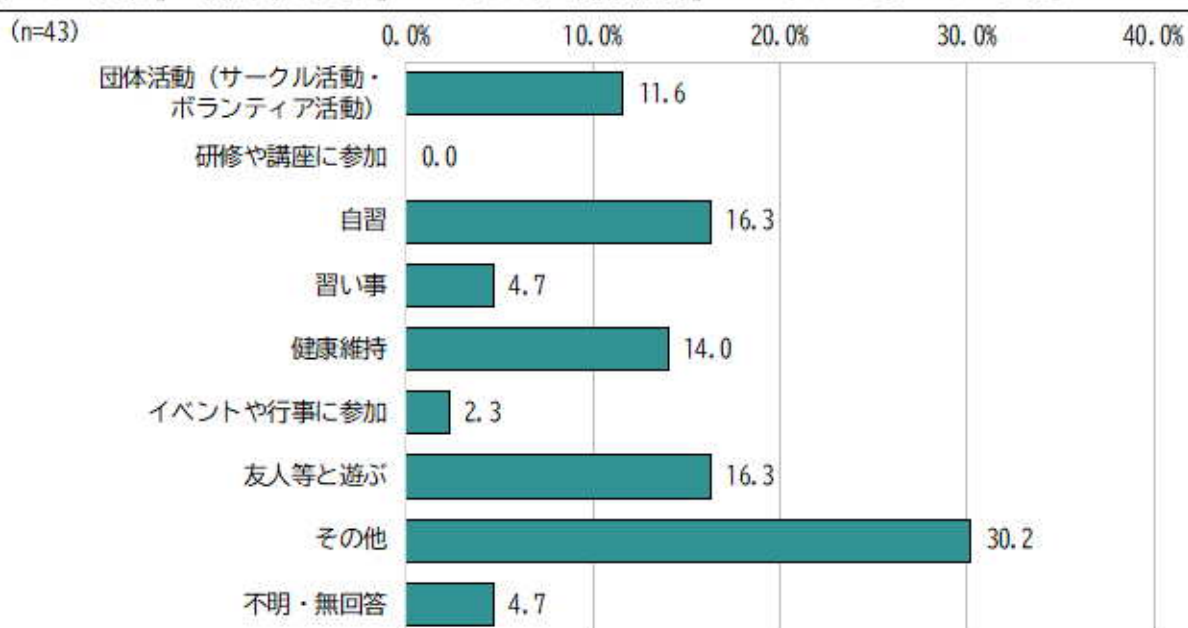


※「武道館」「陸上競技場」「テニスコート」「市民会館」は0.0%

問6 日ごろ利用している公共施設を利用する目的はどれですか。

(単数回答)

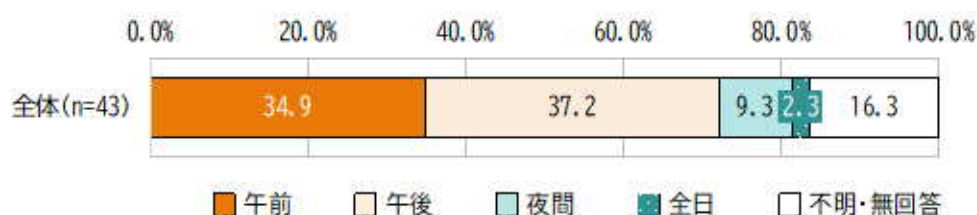
日ごろ利用している公共施設を利用する目的についてみると、「その他」が30.2%と最も多く、次いで「自習」「友人等と遊ぶ」が16.3%、「健康維持」が14.0%となっています。



問7 公共施設を利用する時間はいつですか。

(単数回答)

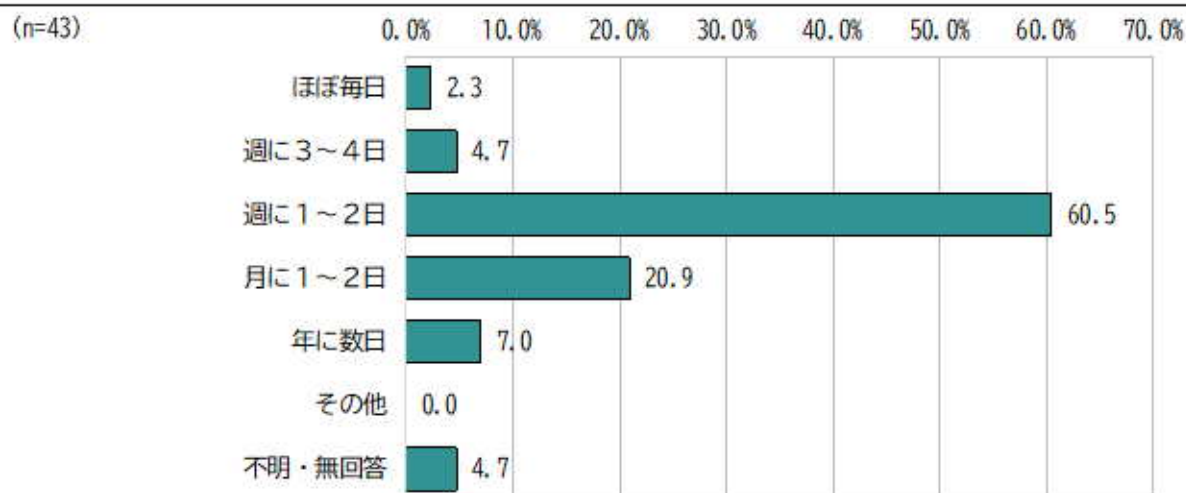
公共施設を利用する時間についてみると、「午後」が37.2%と最も多く、次いで「午前」が34.9%、「夜間」が9.3%となっています。



問8 公共施設を利用する頻度はどのくらいですか。

(単数回答)

公共施設を利用する頻度についてみると、「週に1～2日」が60.5%と最も多く、次いで「月に1～2日」が20.9%、「年に数日」が7.0%となっています。



問9 よく利用する公共施設や設備の満足度はどのくらいですか。

(単数回答)

よく利用する公共施設や設備の満足度についてみると、「おおむね満足している」が44.2%と最も多く、次いで「非常に満足している」が41.9%、「やや不満である」が7.0%となっています。



非常に満足している □ おおむね満足している □ やや不満である □ 非常に不満である □ 不明・無回答

問9で「やや不満である」「非常に不満である」と回答した方におたずねします。

問10 施設・設備に不満を感じる理由は何ですか。 (複数回答)

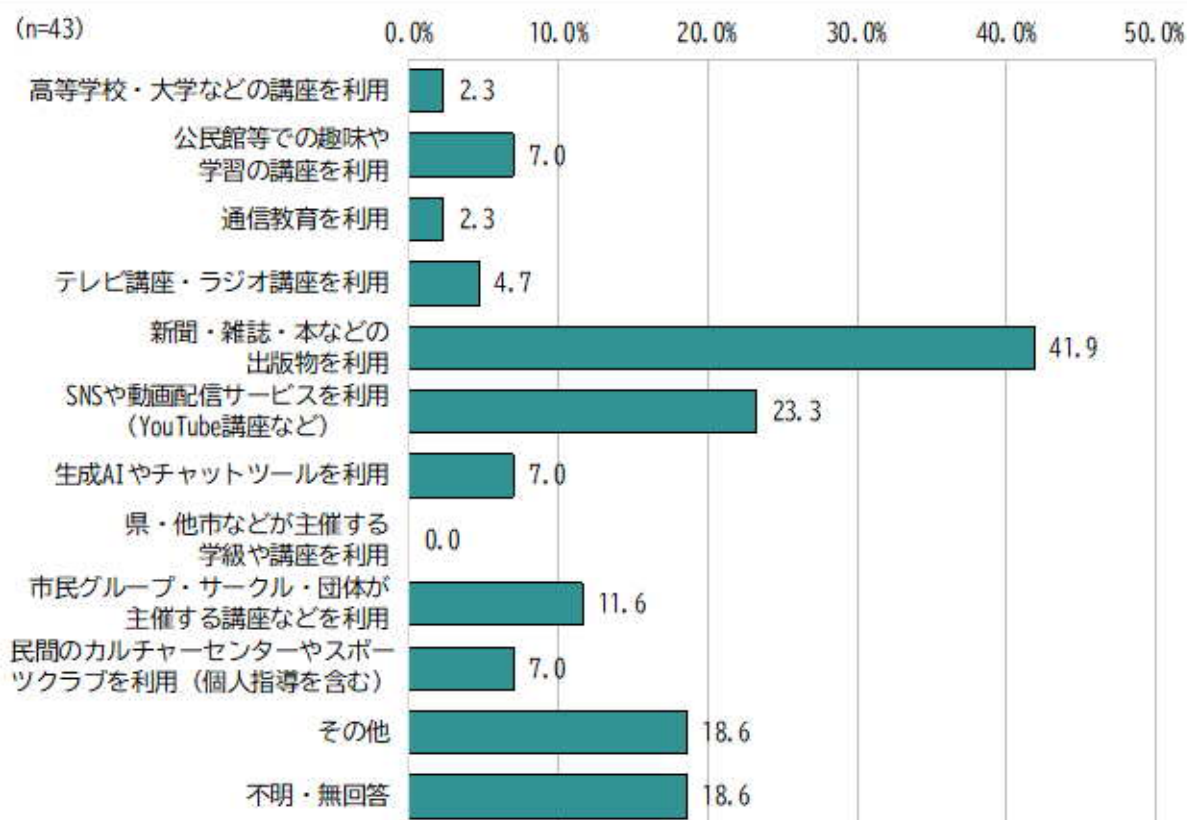
施設・設備に不満を感じる理由についてみると、「混雑していて予約等、場所の確保がしづらい」「その他」が50.0%と最も多く、次いで「交通の便が悪い」「必要な機材が揃っていない」が25.0%となっています。



※「狭い・小さいなど、大きさの面で利用しづらい」「老朽化が進んでいる」「利用料が高い」「利用したい時間・日にちに閉館・休館などで利用できない」「WiFiなどのインターネット環境が整備されていない」は0.0%

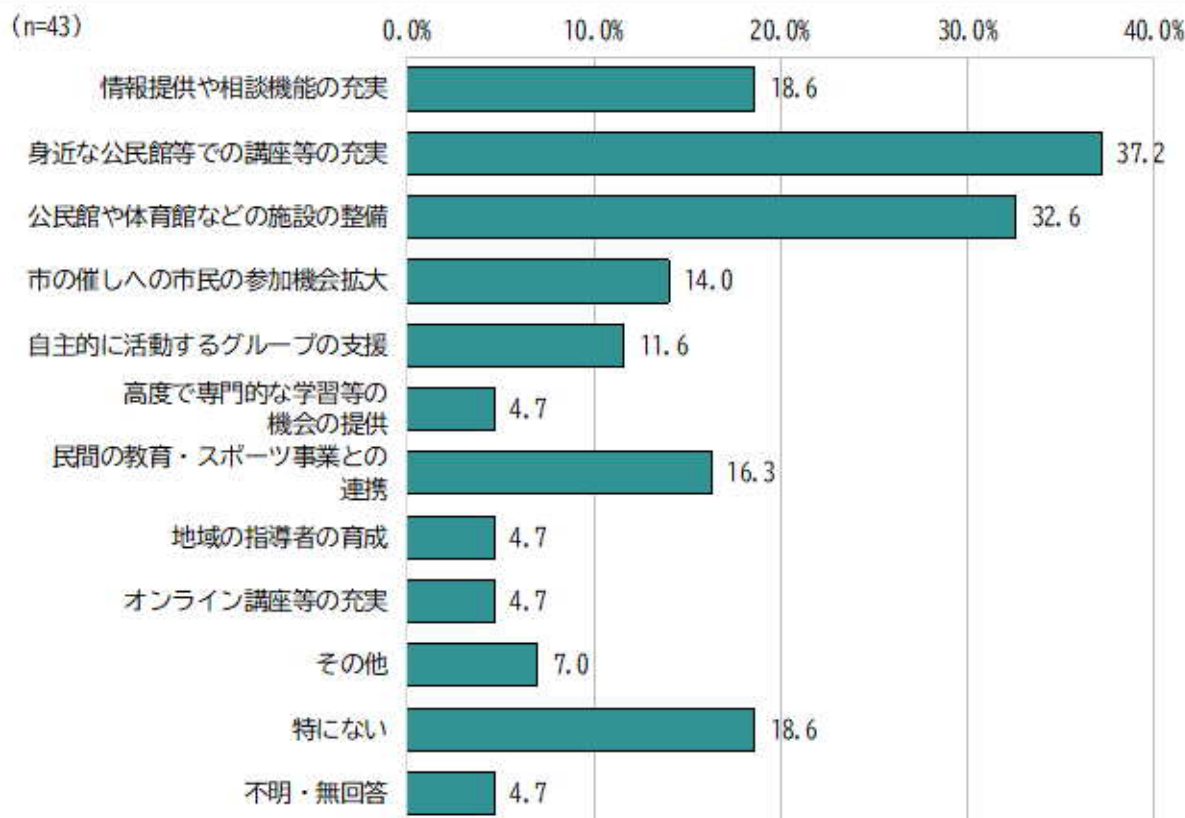
問11 あなたは、どのような手段・方法で学習していますか。 (複数回答)

学習の手段・方法についてみると、「新聞・雑誌・本などの出版物を利用」が41.9%と最も多く、次いで「SNSや動画配信サービスを利用 (YouTube講座など)」が23.3%、「その他」が18.6%となっています。



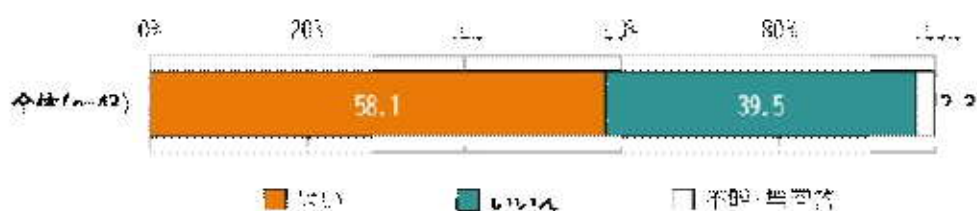
問 12 朝霞市の生涯学習を充実していくために、市にどのような取り組みを望みますか。
(複数回答)

市の生涯学習を充実していくために市に望む取り組みについてみると、「身近な公民館等での講座等の充実」が37.2%と最も多く、次いで「公民館や体育館などの施設の整備」が32.6%、「情報提供や相談機能の充実」「特にない」が18.6%となっています。



問 13 直近1年間で、人とのつながりに関する活動をしましたか。
(単数回答)

直近1年間に人とのつながりに関する活動をしたかについてみると、「はい」は58.1%、「いいえ」が39.5%となっています。



問 14 以下の項目について、記述式でご回答いただきました。

1. 生涯学習に関する情報をどこから得たいと思いますか。(8件)

- ☆地域新聞
- ☆図書館の掲示板、掲示物
- ☆市町村、鉄道関係
- ☆ネット、本、参考書、詳しい人
- ☆市の広報誌、コンパスなど、紙媒体
- ☆インターネット
- ☆HP

2. 生涯学習をする場合、市からどのような情報が必要ですか。(8件)

- ☆各分野の入門や体験講座
- ☆大きなテーマでのくくりでの集まり、意見交換コミュニティ
- ☆講座の情報、内容が多岐に渡っているとよい
- ☆分かりやすい説明（どうゆうふうで学習すればいいのか）
- ☆どんな生涯学習団体が、いつどこでどんな活動をしているのか、会員募集しているのか。

3. 人とのつながりに関する活動をしていない理由は何ですか。(8件)

- ☆機会がないから。
- ☆目的の喪失
- ☆高校が忙しく他のことに手が回らない
- ☆役割とかがありそうでめんどくさそうだから
- ☆子育て中のため
- ☆コミュニケーションが苦手だから

令和8年度第4次朝霞市生涯学習計画策定に関するスケジュール及び審議内容について

資料4

■令和8年度スケジュール

☞ 第4次朝霞市生涯学習計画(計画期間は令和9年度から18年度)を令和7年度及び8年度の2ヶ年で策定

年 月	令和8年									令和9年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
社会教育委員会議				第1回			第2回			第3回		第4回
生涯学習推進会議				第1回			第2回			第3回		第4回
アンケート・ヒアリング結果 (完成版)				提示								
計画素案				提示			提示					
計画案										提示		
教育委員会定例会報告			●			●			●			●
市民コメント 職員コメント								約1ヶ月 実施				

■会議の審議内容(予定)

会議	日程(目安)	内容
第1回生涯学習推進会議	7月中下旬	・(仮称)第4次朝霞市生涯学習計画アンケート、ヒアリング結果(完成版) ・(仮称)第4次朝霞市生涯学習計画素案
第1回社会教育委員会議	7月下旬	
第2回生涯学習推進会議	10月中下旬	・(仮称)第4次朝霞市生涯学習計画素案 ※第1回会議結果を踏まえて
第2回社会教育委員会議	10月下旬	
第3回生涯学習推進会議	1月中下旬	・(仮称)第4次朝霞市生涯学習計画案 ※第2回会議結果及び市民コメント並びに職員コメントを踏まえて
第3回社会教育委員会議	1月下旬	
第4回生涯学習推進会議	3月下旬	・(仮称)第4次朝霞市生涯学習計画確定
第4回社会教育委員会議	3月下旬	

令和8年度行政組織機構改革について

1 行政組織機構改革の目的

- ・本市の行政組織機構は、時代のニーズに合わせた機構改革を実施し、現在に至っている。地方自治体を取り巻く環境は、めまぐるしく変化しており、新たな行政課題に的確に対応できる組織体制の構築を図っていく必要がある。
- ・今回の行政組織機構改革の主な内容は、地域共生社会に向けた仕組みづくりや市民の健康推進体制の充実、さらなるこども施策へ対応していくため、組織体制を構築するもの。

2 行政組織機構改革の概要

(1) 福祉部とこども・健康部の2部を、福祉部、健康部、こども部の3部へ再編

- ①福祉部…国が進める地域共生社会の実現を目指すことから、高齢者、障害者、生活困窮者の包括的な相談及び支援の体制を構築する地域共生社会課と、社会福祉と高齢者の見守りや給付等の事務をまとめる高齢者・地域福祉課などに再編する。
- ②健康部…人生百年時代を謳歌できる健康長寿なまちを目指し、妊産婦及び乳幼児から始める健康施策と連動して成人期以降の健康施策を一体的に取り組むため、保険部門と介護部門を合わせた健康部を設置する。
- ③こども部…こども家庭庁が発足し、こどもの居場所づくりをはじめとするこども施策を重点的に取り組む必要があることから、こども関連部署をまとめたこども部を設置する。

(2) まちづくり推進課の係名の変更及び分掌事務の見直し

現行の区画整理係の業務を都市計画係に移管、新たにウォークブル推進係を設置して課内の業務を再編する。

3 関係例規の改正

- (1) 部室設置条例（施行予定日：令和8年4月1日）
- (2) 事務分掌規則（施行予定日：令和8年4月1日）
- (3) 事務決裁規程（施行予定日：令和8年4月1日）
- (4) 部課名変更に伴う関連条例、規則等（施行予定日：令和8年4月1日）

4 今後のスケジュール

令和7年第4回市議会	部室設置条例の議案提出 補正予算の議案提出（レイアウト等の変更に必要な経費）
令和8年第1回市議会	関係条例の議案提出
令和8年 3月	広報等により市民へ周知
4月	行政組織機構改革の実施

【参考】 令和8年4月行政組織機構改革 比較表

令和7年4月1日現在	令和8年4月1日現在	令和7年4月1日現在	令和8年4月1日現在
福祉部 福祉部長 福祉相談課 課長・補佐 地域福祉係 福祉相談係 生活支援課 課長・補佐 生活支援総務係 生活支援第1係 生活支援第2係 生活支援第3係 障害福祉課 課長・補佐 障害給付係 障害福祉係 長寿はつらつ課 課長・補佐 高齢者支援係 地域包括ケア推進係 介護保険係 介護認定係 ねんりんピック室 室長 ねんりんピック係	福祉部 福祉部長 地域共生社会課 課長・補佐 地域共生推進係 福祉相談支援係 高齢者・地域福祉課 課長・補佐 社会福祉係 高齢者あんしん係 ねんりんビック室 室長 ねんりんピック係 障害福祉課 課長・補佐 障害給付係 障害者支援係 生活支援課 課長・補佐 生活支援総務係 生活支援第1係 生活支援第2係 生活支援第3係 生活支援第4係 <small>新</small>	子ども・健康部 子ども・健康部長 子ども未来課 課長・補佐 子ども未来係 子ども給付係 保育課 課長・補佐 保育総務係 保育支援係 保育係 保育園計 浜崎保育園 東朝霞保育園 溝沼保育園 本町保育園 根岸台保育園 北朝霞保育園 北朝霞保育園分園 柴町保育園 泉水保育園 さくら保育園 健康づくり課 課長・補佐 健康推進係 予防係 子ども家庭センター 室長・補佐 母子保健係 子ども相談係 保険年金課 課長・補佐 国民健康保険係 高齢者医療係 保健事業係 国民年金係	健康部 健康部長 健康づくり課 課長・補佐 健康推進係 保健事業係 予防係 国民年金課 課長・補佐 国民健康保険給付係 国民健康保険風課係 高齢者医療係 国民年金係 介護保険課 課長・補佐 介護保険係 介護認定係 子ども部 子ども部長 子ども未来課 課長・補佐 子ども支援係 子ども育成係 子ども給付係 子ども家庭課 課長・補佐 子ども家庭総務係 <small>新</small> 子ども相談係 子ども保健係 保育課 課長・補佐 保育総務係 保育入所係 施設給付係 保育園計 浜崎保育園 東朝霞保育園 溝沼保育園 本町保育園 根岸台保育園 北朝霞保育園 北朝霞保育園分園 柴町保育園 泉水保育園 さくら保育園

令和7年4月1日現在	令和8年4月1日現在
都市建設部 都市建設部長 まちづくり推進課 課長・補佐 都市計画係 区画整理係 交通政策係	都市建設部 都市建設部長 まちづくり推進課 課長・補佐 都市計画係 交通政策係 ウォーカーブル推進係 <small>新</small>

以下、略